

NEC プロジェクター

# ViewLight<sup>®</sup>

ビューライト

NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/  
NP-ME402XJL/NP-MC332WJL

## 取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために  
ご使用前に必ずお読みください

1. 添付品や名称を確認する ●
2. 映像を投写する (基本操作) ●
3. 便利な機能 ●
4. ビューワーを使用する ●
5. オンスクリーンメニュー ●
6. 機器と接続する ●
7. ネットワークと接続する ●
8. 本体のお手入れ／ランプの交換 ●
9. 付録 ●

1

2

3

4

5

6

7

8

9

取扱説明書の最新版は、当社ホームページに掲載しています。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

# はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターや DVD プレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。NP-ME382UJL を主にして説明しています。

- 本書で説明している機種名

NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/NP-ME402XJL/NP-MC332WJL

- 機種名について

プロジェクター本体では、機種名を「NP-ME382U」、「NP-ME372W」、「NP-ME402X」または「NP-MC332W」と表記しています。

取扱説明書では、機種名の末尾に「JL」を付けて表記しています。

この装置は、クラスB 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。




本機を安全にお使いいただくために、ご使用前の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。  
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

# 警告

## 電源コードは日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。  
添付の電源コードは国内使用専用です。日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。  
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

## 電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - ・ コードの上に重い物をのせない
  - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
  - い
  - ・ コードの上を敷物などで覆わない
  - ・ コードを傷つけない、加工しない
  - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - ・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

## 故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

## 水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
  - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

# 警告

## 次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・ 暖房の近くや振動の多い所
  - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
  - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
  - ・ 調理台や加湿器のそば

## 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



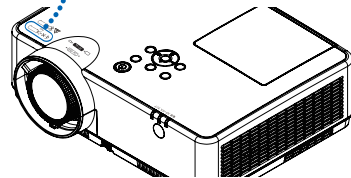
- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

## プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター天面に、次の図記号を表示しています。この図記号は、本機が IEC62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。RG2 IEC 62471-5:2015.

## 動作中にレンズをふさがない



- 動作中にレンズにレンズキャップをししないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- レンズやフィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

## 警告

### ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は [137 ページ](#) をご覧ください。

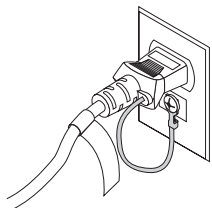
### 天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
- 天吊りの設置をしたときは、本機にぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。

## 注意

### 機器のアースは確実にしてください



- このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。
- このプロジェクターは電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されている 3 芯プラグ機器です。添付の電源コードはアース付き 2 芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。

### お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

### 電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

### 移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

## ⚠ 注意

### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

### 通風口をふさがない



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

### 投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります。やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



### ソフトケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

### 電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・ 指定以外の電池は使用しない
  - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター、または自治体にお問い合わせください。

### 点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

# お願い

## 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。  
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。  
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。  
故障の原因となります。
  - ・ 強い磁界が発生する場所
  - ・ 腐食性のガスが発生する場所
- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0 ～ 10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（12時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - ・ コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピューター側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約1700m以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。  
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。  
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて  
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。  
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。



- 持ち運びについて
  - ・ 添付のソフトケースに収納して運んでください。
  - ・ レンズに傷が付かないように必ず添付のレンズキャップを取り付けてください。
  - ・ 振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
  - ・ ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。  
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。

## ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入/切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。  
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風口から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

## 電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 廃棄について

- 本体の廃棄について  
本体を廃棄する場合には、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- ランプの廃棄について  
事業系（法人のお客様）：  
ランプには水銀が含まれています。ランプを廃棄する場合には、廃棄物処理法等に則り適正な処理を行ってください。  
家庭系（個人のお客様）：  
ランプには水銀が含まれています。ランプを廃棄する場合には、お住まいの自治体（市町村）または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

## 投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。  
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

## 本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

### ① スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）

- ▶ 外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」か「スリープ」に変更してください。

#### 注意

- 「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が動きません。  
コンピュータ出力端子、音声出力端子、USB-B ディスプレイ端子、LAN 機能、メール通知機能、DDC/CI（Virtual Remote Tool）
- 「ネットワークスタンバイ」に設定していても、LAN が 3 分間リンクダウンすると、自動的に「ノーマル」に変わります。

詳しくは、[101 ページ](#)をご覧ください。

### ② オートパワーオフ（工場出荷時の設定：1 時間）

- ▶ 外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。

#### 注意

- 「1:00」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 1 時間続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。

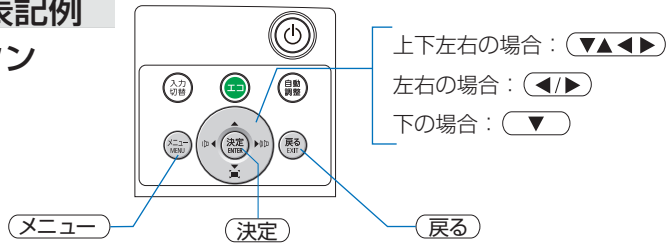
# 本書の表記について

## マークの意味

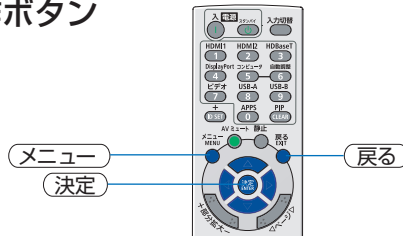
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
	特定の機種についての説明を表しています。

## 操作ボタンの表記例

### ●本体の操作ボタン

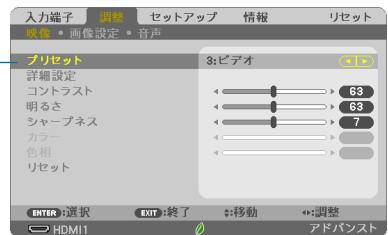


### ●リモコンの操作ボタン



## メニュー項目の表記例

「プリセット」



### 参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

# 目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください	3
お願い	8
本書の表記について	11
目次	12

## 1. 添付品や名称を確認する ..... 14

1-1. 特長	14
1-2. 添付品の確認	16
1-3. 本体各部の名称	18
1-4. リモコン各部の名称	22

## 2. 映像を投写する（基本操作） ..... 26

2-1. 映像を投写する流れ	26
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	27
2-3. 本機の電源を入れる	28
2-4. 入力信号を選択する	30
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	33
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）	36
2-7. コンピューターの映像を自動調整する	38
2-8. 本機の音量を調整する	39
2-9. 本機の電源を切る	40
2-10. あとかたづけ	41

## 3. 便利な機能 ..... 42

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	42
3-2. 動画を静止画にする（静止）	42
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	43
3-4. エコモードと省エネ効果	44
3-5. 投写画面の歪みを調整する（4点補正／ピンクッション補正）	47
3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する	50
3-7. USB ケーブルを接続して本機のリモコンでコンピューターのマウス 操作を行う（リモートマウス）	53
3-8. USB ケーブルを経由して画像を投写する（USB ディスプレイ）	54
3-9. スクリーンに斜め方向から投写する（Image Express Utility Lite の幾何学補正）	56

## 4. ビューワーを使用する ..... 59

4-1. ビューワーでできること	59
4-2. USB メモリー内の画像を投写する（基本操作）	61
4-3. スライド画面の操作	65
4-4. ファイルリスト画面の操作	66
4-5. オプションメニュー	68
4-6. ロゴデータ（背景の画像）を変更する	69

<b>5. オンスクリーンメニュー</b> .....	<b>71</b>
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作 .....	71
5-2. オンスクリーンメニュー一覧 .....	75
5-3. 入力端子 .....	79
5-4. 調整 .....	80
5-5. セットアップ .....	88
5-6. 情報 .....	104
5-7. リセット .....	106
<b>6. 機器と接続する</b> .....	<b>107</b>
6-1. コンピューターと接続する .....	107
6-2. ディスプレイと接続する .....	110
6-3. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する .....	112
6-4. 有線 LAN と接続する .....	115
6-5. 無線 LAN と接続する (別売) .....	116
<b>7. ネットワークと接続する</b> .....	<b>118</b>
7-1. 本機をネットワークと接続してできること .....	118
7-2. MultiPresenter と接続する .....	119
7-3. ネットワーク設定 .....	121
7-4. HTTP を使用したウェブブラウザーによる操作 .....	128
<b>8. 本体のお手入れ／ランプの交換</b> .....	<b>132</b>
8-1. フィルターの清掃 .....	132
8-2. レンズの清掃 .....	135
8-3. キャビネットの清掃 .....	136
8-4. ランプとフィルターの交換 .....	137
<b>9. 付 録</b> .....	<b>143</b>
本機とスクリーンの設定 .....	143
対応解像度一覧 .....	149
仕様 .....	151
外観図 .....	153
コンピューター映像入力端子のピン配列と信号名 .....	157
ASCII コントロールコマンドについて .....	158
バックグラウンドロゴを変更する (Virtual Remote Tool) .....	160
故障かな?と思ったら .....	162
インジケーター表示一覧 .....	167
トラブルチェックシート .....	172
別売品／商標について .....	174
<b>保証と修理サービス (必ずお読みください)</b> .....	<b>175</b>
<b>NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内</b> .....	<b>裏表紙</b>

# 1. 添付品や名称を確認する

## 1-1. 特長

### ● クイックパワーオフ、ダイレクトパワーオフ

パワーオフ後に冷却ファンが回転しないので、すばやく片付けることができます（クイックパワーオフ）。

また、投写中に AC 電源を切断することができます（ダイレクトパワーオフ）。

AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

### ● スタンバイ時の消費電力が 0.18 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.18 ワットになります。

### ● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメーター表示

使用中の消費電力を抑えるため、「オートエコ」、「エコ 1」、「エコ 2」という 3 種類のエコモードを搭載しています。さらに、エコモード設定時の省エネ効果を CO<sub>2</sub> 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメーター）。

### ● ランプ交換時間が最大 15000 時間

エコモード（エコ 2）を設定して使用すると、ランプ交換時間<sup>(注 1)</sup>が延ばせます。

<sup>(注 1)</sup> 保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合もあります。

### ● HDMI 入力端子を 2 系統装備し、デジタル映像信号を投写可能

HDMI 入力端子を 2 系統装備しており、デジタル映像信号を投写することができます。また、HDMI 入力端子は音声信号にも対応しています。

本機の HDMI 入力端子は、HDCP に対応しています。

### ● 有線 LAN / 無線 LAN 対応

LAN ポート（RJ-45）を装備しており有線 LAN に接続してコンピューターから本機へ画像を伝送したり、コンピューターから本機を制御したりできます。

また、別売の無線 LAN ユニットを本機に取り付けると、無線 LAN に接続できます。

### ● インテリジェントコネクションでかんたん接続

MultiPresenter アプリケーションをインストールしたコンピューターやスマートフォンと、PIN コードを使ってかんたんに接続できます。

### ● 16 ワットのモノラルスピーカー内蔵

広い会議室や教室で視聴していただけるように、16 ワットのモノラルスピーカーを内蔵しています。

### ● コントロール ID が登録できるリモコンを標準添付

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコンでプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

### ● USB ディスプレイ

コンピューターとプロジェクターを市販の USB ケーブルを使って接続すると、コンピューターの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。そのとき、コンピューターケーブルを接続する必要はありません。

## ● オートパワーオン／オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入／切る機能があります。

- ・ダイレクトパワーオン … 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- ・オートパワーオン …… 本機がスタンバイ状態のときコンピューター信号または HDMI 信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- ・オートパワーオフ …… 設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- ・オフタイマー …… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

## ● 無断使用や盗難を防止する機能を装備

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

- ・セキュリティキーワード …… オンスクリーンメニューの「セキュリティ」でキーワードを設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。
- ・盗難防止用ロック …… 本機は、ケンジントンセキュリティワイヤーを接続することができます。
- ・セキュリティバー …… 本機は、一般的なセキュリティケーブル（またはワイヤー）を通す機構を装備しています。

## ● アドバンスド・アキューブレンド機能により WUXGA<sup>(注2)</sup> までの解像度に対応

NP-ME382UJL は UWXGA (1920 × 1200 ドット)、NP-ME372WJL/NP-MC332WJL は WXGA (1280 × 800 ドット)、NP-ME402XJL は XGA (1024 × 768 ドット) にリアル対応しています。アドバンスド・アキューブレンド機能により WUXGA (1920 × 1200 ドット) の入力信号までカバーしています。

(注2) WXGAモードオン時

## ● 便利なアプリケーションソフトに対応

当社のアプリケーションソフト (NaViSet Administrator 2、Virtual Remote Tool など) に対応しています。NaViSet Administrator 2 は、コンピューターとプロジェクターを有線 LAN で接続して、コンピューター側からプロジェクターの様々な機能を制御するソフトウェアです。Virtual Remote Tool は、コンピューターの画面上に仮想のリモコンを表示し、有線 LAN で接続したプロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの簡単な制御を行うソフトウェアです。また、本機のバックグラウンドロゴを変更する機能があります。(▶160 ページ)

各ソフトウェアは、当社のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

## ● CRESTRON ROOMVIEW に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピューターやコントローラから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。


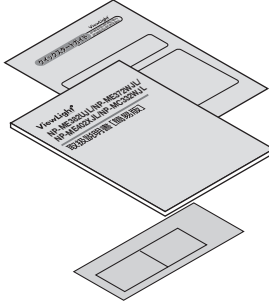
## 1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p><b>プロジェクター (本機)</b> コンピューターやDVDプレーヤーなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p><b>レンズキャップ (24F55631)</b> 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。</p> <p><b>レンズキャップ用ストラップ 1本 (24J23901)</b></p>
	<p><b>リモコン (7N901181)</b> 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときには、添付の単4乾電池2本をセットしてください。(▶24ページ)</p> <p><b>単4乾電池 (リモコン用) 2本</b> 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p><b>電源コード (アース付き) (7N080129)</b> AC100Vのコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p><b>コンピューターケーブル (ミニ D-Sub 15ピン) (7N520089)</b> コンピューターの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。(▶27, 107ページ)</p>
	<p><b>ストラップ 1本 (24J41711)</b> 別売の無線LANユニット装着時に、落下や盗難を防止するために取り付けます。</p>
	<p><b>ソフトケース (24BS8391)</b> 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。</p>

次ページに続く



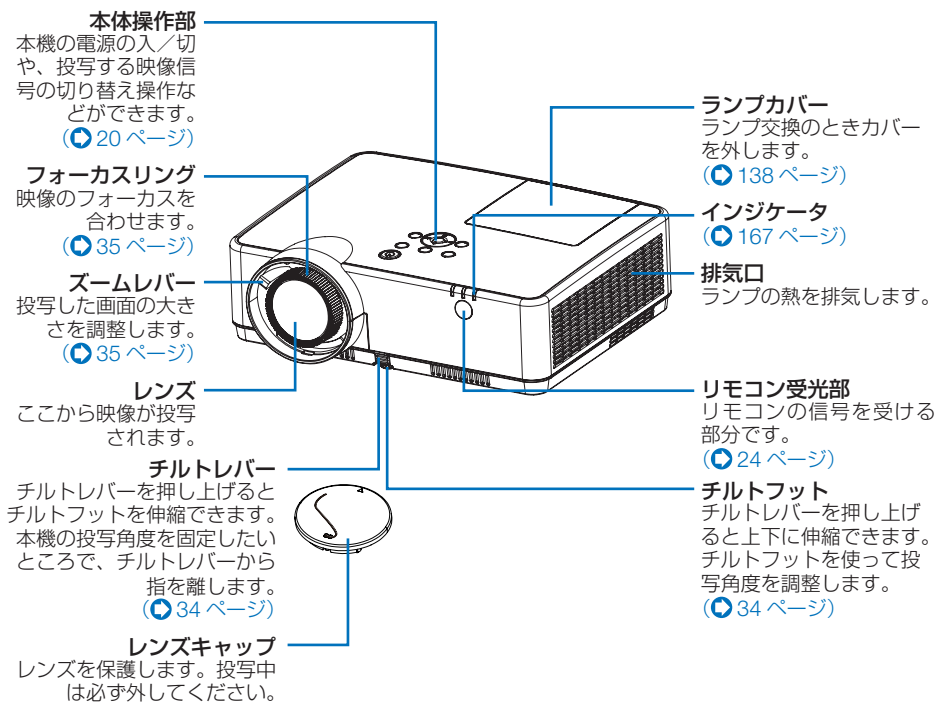
	<p><b>NEC Projector CD-ROM (7N952822)</b> 取扱説明書（本書）が PDF（Portable Document Format）形式で収録されています。</p>
	<p><b>クイックスタートガイド (7N8N9441)</b> 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p><b>取扱説明書【簡易版】 (7N8N9422)</b> 安全のために守っていただきたいこと、ランプ交換、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p><b>保証書</b> プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p>

**参考**

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

# 1-3. 本体各部の名称

## 本体前面

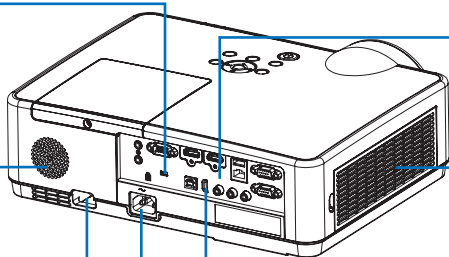


## 本体背面

**盗難防止用ロック**  
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。詳しくは下記の**参考**をご覧ください。

**スピーカー（モノラル）**  
音声入力端子から入力された音声を出します。  
(▶ 39 ページ)

**セキュリティバー**  
セキュリティケーブル（またはワイヤー）を取り付けます。本機のセキュリティバーは、直径4.6mmの太さのものまで対応しています。




**接続端子部**  
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。  
(▶ 21 ページ)

**吸気口／フィルター**  
内部にほこりやゴミが入るのを防止します。  
(▶ 132, 141 ページ)

**ストラップ取り付け穴**  
無線 LAN ユニットの落下や盗難を防止するため、添付のストラップを通します。

**AC IN 端子**  
添付の電源コードを接続します。  
(▶ 27 ページ)

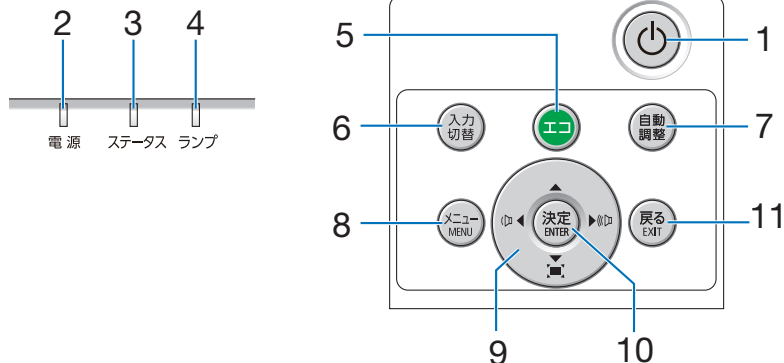
### 参考

- 盗難防止用ロックについて   
盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

<http://www.kensington.com/>

対応製品については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 本体操作部



### 1 電源ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。  
電源を切る (スタンバイ状態) ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度電源ボタンを押します。

### 2 電源インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。  
([28](#), [167 ページ](#))  
電源が切れている (スタンバイ状態) ときは赤色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

### 3 ステータスインジケータ

電源が切れているとき (スタンバイ状態) は消灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。  
本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。  
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。  
([167 ページ](#))

### 4 ランプインジケータ

ランプの交換時期がきたときやエコを選択していることをお知らせします。  
([167 ページ](#))

### 5 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。  
([44 ページ](#))

### 6 (入力切替) ボタン

入力信号を検出します。  
HDMI1 → HDMI2 → コンピューター → ビデオ → USB-A → LAN → USB-B → HDMI1…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

### 7 (自動調整) ボタン

コンピューター画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。  
([38 ページ](#))

### 8 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。  
([71 ページ](#))

### 9 (方向キー) ボタン (音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用)

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに (方向キー) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。  
([71 ページ](#))
- ・オンスクリーンメニューを表示していないときに、(方向キー) ボタンを押すと、音量を調整できます。  
([39 ページ](#))
- ・オンスクリーンメニューを表示していないときに (方向キー) ボタンを押すと、台形補正調整画面を表示します。  
([36 ページ](#))

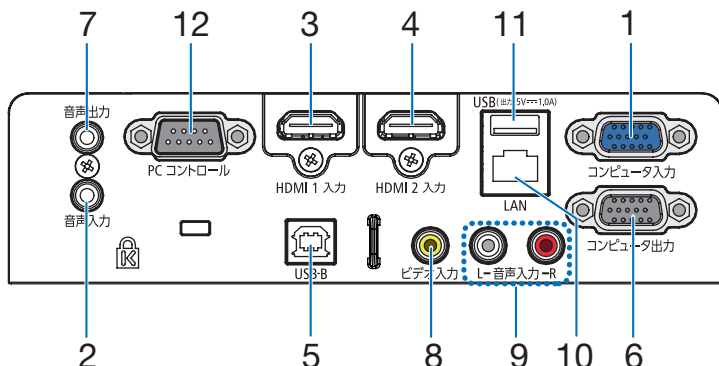
### 10 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。  
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

### 11 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。  
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

## 接続端子部



### 1 コンピューター映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューターのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。

([107](#), [109](#), [114](#) ページ)

### 2 コンピューター音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピューターまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーから音が出せます。(107, 113 ページ)

本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

ビューワーを選択しているときは、コンピューター音声入力端子に入力している音声

がスピーカーから出力されます。

### 3 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

([107](#), [109](#), [114](#) ページ)

### 4 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

([107](#), [109](#), [114](#) ページ)

本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

### 5 USB-B ディスプレイ端子 (タイプ B)

市販の USB ケーブル (USB 2.0 対応) を使ってコンピューターと接続すると、コンピューターケーブルを使用せずにコンピューターの画面を投写できます。

([53](#), [54](#), [107](#) ページ)

### 6 コンピューター映像出力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューター映像入力端子の映像信号を出力します。(110 ページ)

### 7 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声を出力します。(110 ページ)

音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

### 8 ビデオ映像入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。(112 ページ)

### 9 ビデオ音声入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。(112 ページ)

### 10 LAN ポート (LAN) (RJ-45)

本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。(115 ページ)

### 11 USB ポート (USB) (タイプ A)

USB メモリーを接続します。

USB メモリーに画像データを保存すると本機のビューワーで投写することができます。(61 ページ)

また、別売の無線 LAN ユニットの接続も可能です。(116 ページ)

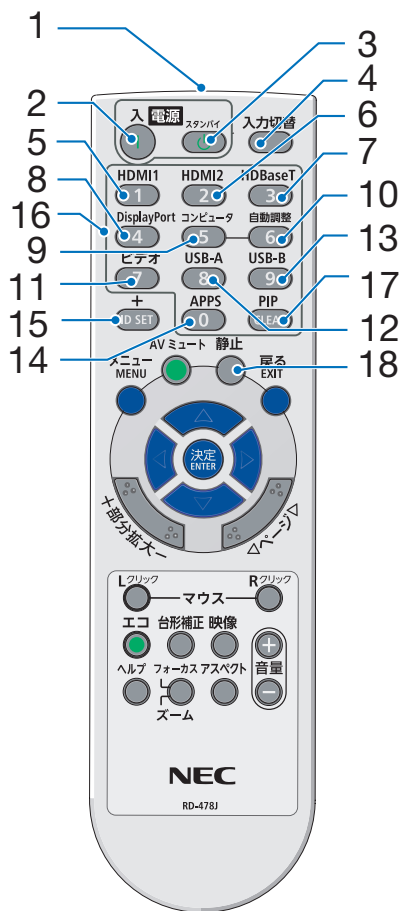
### 12 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピューターで本機を操作するときを使用します。

1

添付品や名称を確認する

# 1-4. リモコン各部の名称



**4 (入力切替) ボタン**  
 入力信号を検出します。  
 HDMI1 → HDMI2 → コンピューター → ビデオ → USB-A → LAN → USB-B → HDMI1…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

**5 (HDMI 1) ボタン**  
 HDMI 1 入力を選択します。

**6 (HDMI 2) ボタン**  
 HDMI 2 入力を選択します。

**7 (HDBaseT) ボタン**  
 (本機では使用できません)

**8 (DisplayPort) ボタン**  
 (本機では使用できません)

**9 (コンピュータ) ボタン**  
 コンピューター入力 (またはコンポーネント) を選択します。

**10 (自動調整) ボタン**  
 コンピューター画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(▶38 ページ)

**11 (ビデオ) ボタン**  
 ビデオ入力を選択します。

**12 (USB-A) ボタン**  
 ビューワーを選択します。

**13 (USB-B) ボタン**  
 USB ディスプレイを選択します。

**14 (APPS) ボタン**  
 ネットワークを選択します。

**15 (ID SET) ボタン**  
 複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(▶96 ページ)

**16 数字 (0) ~ (9) 入力ボタン**  
 複数プロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します (コントロール ID 設定)。  
 (CLEAR (クリア)) ボタンはコントロール ID 設定を解除する場合に使用します。  
 (▶96 ページ)

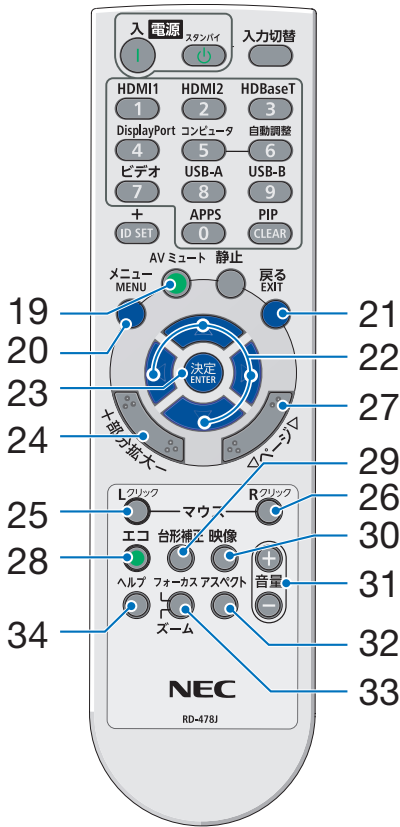
**17 (PIP) ボタン**  
 (本機では使用できません)

**18 (静止) ボタン**  
 表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(▶42 ページ)

**1 リモコン送信部**  
 赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

**2 電源(入)ボタン**  
 スタンバイ時 (電源インジケーターが赤色※に点灯) に本機の電源を入れます。(※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

**3 電源(スタンバイ)ボタン**  
 一度押して電源オフ確認メッセージを表示し、もう一度 (スタンバイ) (または (決定)) ボタンを押すと、本機の電源が切れます (スタンバイ状態)。



## 19 (AVミュート) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(▶42 ページ)

## 20 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

## 21 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

## 22 (◀▶) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。

また、USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続するとコンピューターのマウスとして動作します (リモートマウス)。

(▶43, 52, 71 ページ)

## 23 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

## 24 (部分拡大 +/-) ボタン

画面の拡大・縮小 (もとに戻す) をします。

(▶43 ページ)

## 25 (マウスクリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続しているときに使用します。マウスの左ボタンの動作をします。(▶53 ページ)

## 26 (マウス R クリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続しているときに使用します。マウスの右ボタンの動作をします。(▶53 ページ)

## 27 (ページ ◀▶) ボタン

ビューワーのサムネイル画面の画面切り替えに使用します。(▶65, 67 ページ)

また、USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続しているときに使用します。画面のスクロールや、PowerPoint の画面切り替えなどに使用します。(▶53 ページ)

## 28 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。

(▶44 ページ)

## 29 (台形補正) ボタン

台形補正調整画面を表示します。

(▶36, 47 ページ)

## 30 (映像) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(▶80, 82 ページ)

## 31 (音量 +/-) ボタン

内蔵スピーカーの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

## 32 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。

(▶85 ページ)

## 33 (フォーカス/ズーム) ボタン

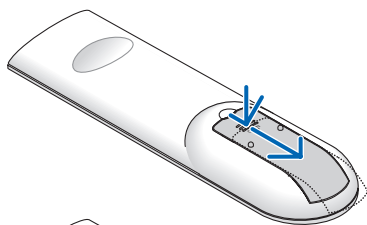
(本機では使用できません)

## 34 (ヘルプ) ボタン

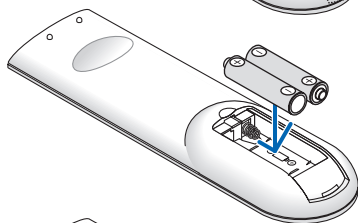
情報画面を表示します。(▶104 ページ)

## ●電池の入れかた

**1** リモコン裏面の電池ケースのふたを押し  
たまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

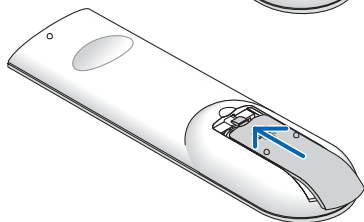


**2** ケース内部に表示している+、-の向き  
に合わせて単4乾電池をセットする。



**3** もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがあります  
ので、スライドさせてしめてください。



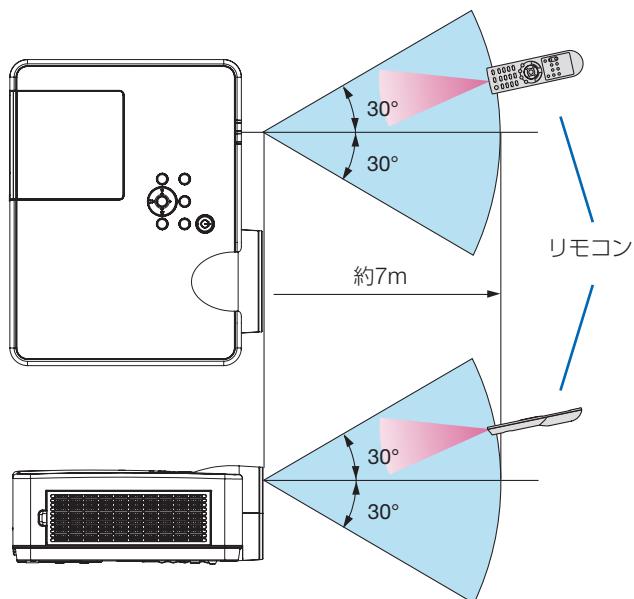
### 注意

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

## ●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。  
おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

### 【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。



## ●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があったりして信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

## 2. 映像を投写する（基本操作）

### 2-1. 映像を投写する流れ

#### ステップ 1

コンピューターと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



#### ステップ 2

本機の電源を入れる (▶28 ページ)



#### ステップ 3

入力信号を選択する (▶30 ページ)



#### ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶33 ページ)  
台形歪みを調整する (▶36 ページ)



#### ステップ 5

映像や音声を調整する  
・画質を調整する場合 (▶38 ページ)  
・本機の音量を調整する場合 (▶39 ページ)



#### ステップ 6

プレゼンテーションを行う



#### ステップ 7

本機の電源を切る (▶40 ページ)



#### ステップ 8

あとかたづけ (▶41 ページ)

## 2-2. コンピューターと接続する / 電源コードを接続する

### 1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」107 ページをご覧ください。

コンピューター側のディスプレイ出力端子(ミニ D-Sub15 ピン)と、本機のコンピューター映像入力端子を、添付のコンピューターケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

### 2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント (アース工事済み) を、添付の電源コードで接続します。

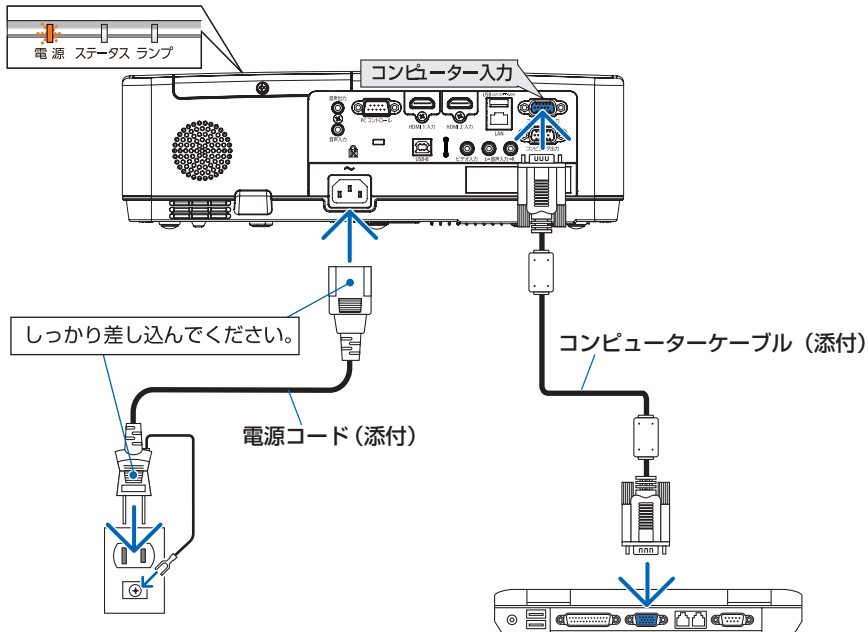


**注意**

本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースをはずす場合は、必ず電源コンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケーターがオレンジ色で点滅します。

\* スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケーター表示です。(167 ページ)



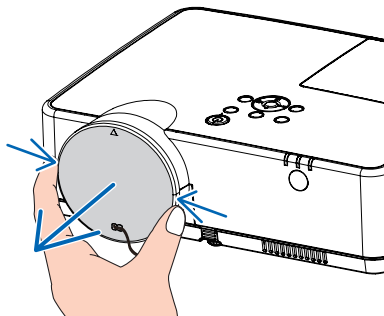
**注意**

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 2-3. 本機の電源を入れる

### 1 レンズキャップを外す。

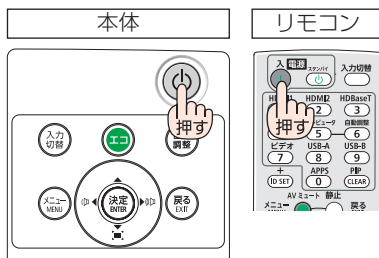
レンズキャップ両端を押したまま（ツメがキャビネットから外れます）、手前に引いてください。



### 2 電源ボタンを押す。

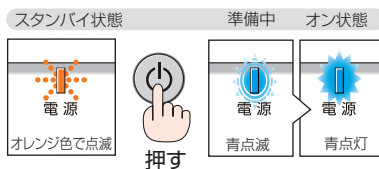
しばらくして電源インジケーターが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源（入）ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（[35 ページ](#)）



### 参考

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（[51 ページ](#)）
- エコメッセージを表示したときは、エコメッセージの表示が「オン」に設定されています。（[93 ページ](#)）
- 電源ボタンや（メニュー）ボタンなどを押すとビープ音を出します。ビープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。（[100 ページ](#)）



- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。





## 2-4. 入力信号を選択する

### 投写する信号を自動検出する

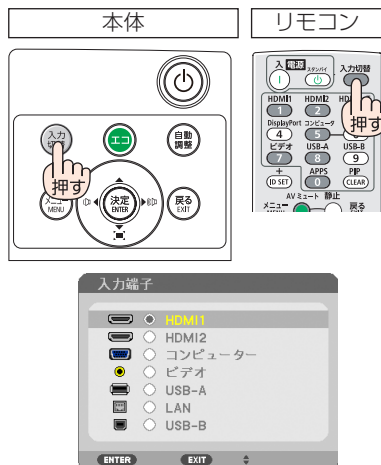
- 1 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。

DVDプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 (入力切替) ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

- HDMI1 → HDMI2 → コンピューター → ビデオ → USB-A → LAN → USB-B の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
- 入力端子画面が表示されているときに、(入力切替) ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



### リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。

DVDプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 リモコンの (コンピューター)、(HDMI 1)、(HDMI 2)、(ビデオ)、(USB-A)、(USB-B)、(APPS) ボタンを押す。

(コンピューター)ボタンはコンピューター映像入力端子に切り替わります。



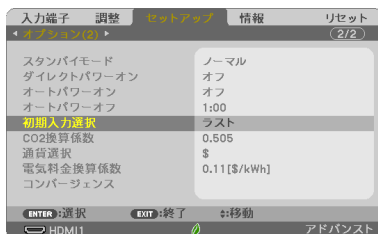
## 自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

### 1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- ・ オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。 (71 ページ)



### 2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



### 3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

### 4 本機の電源を入れなおす。

手順2で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピューターをコンピューターケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピューターから出されたコンピューター信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピューター画面を投写することができます（オートパワーオン）。(▶ 102 ページ)
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。  
DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合  
ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
  - ・ Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

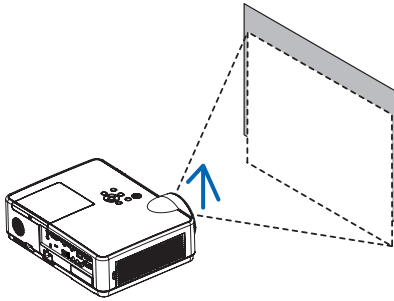
- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- ・ Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
  - ・ それでも投写しない場合は **[入力切替]** ボタンをもう一度押してください。  
(▶ 30 ページ)



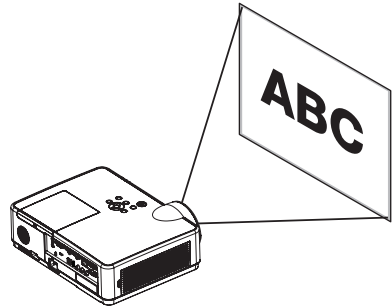
## 2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、ズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

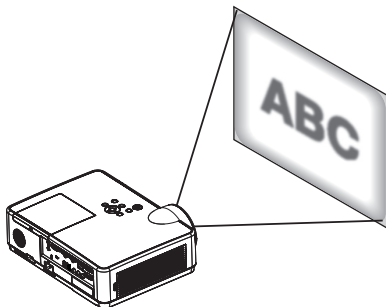
投写角度（投写画面の高低）の調整  
【チルトフット】 (👉 次ページ)



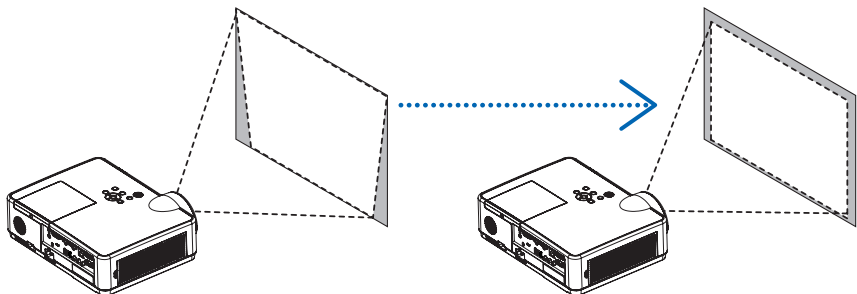
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】  
(👉 35 ページ)



投写画面のフォーカス調整  
【フォーカスリング】 (👉 35 ページ)



投写画面の台形歪み補正【台形補正】\*



※工場出荷時は、自動で台形補正を行う設定になっています。手動で台形歪みの補正を行う場合は、「2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）」をご覧ください。(👉 36 ページ)

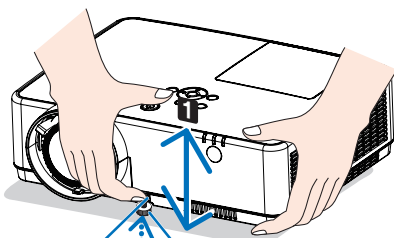
※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

## 投写角度（投写画面の高低）の調整（チルトフット）

- 1 本機の前部を持ち上げスクリーンに合わせる。



- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフットの調整の際はご注意ください。



- 2 チルトレバーを押し上げる。

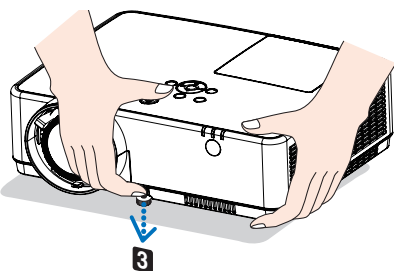
チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。

チルトレバー      チルトフット

- 3 角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

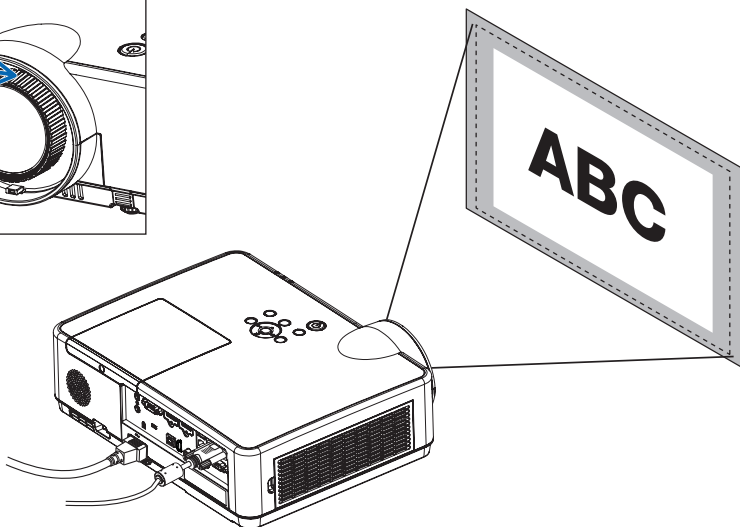
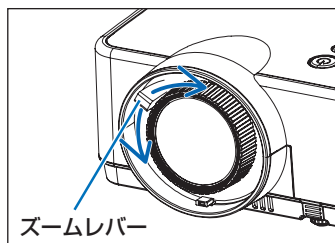
- チルトフットは、最大 40mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大 10° 傾けることができます。



- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

## 投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

- 1 ズームレバーを左右に動かす。

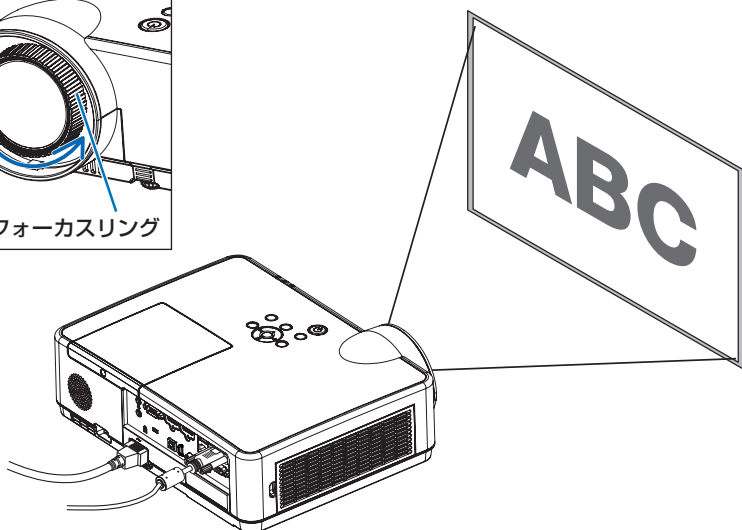
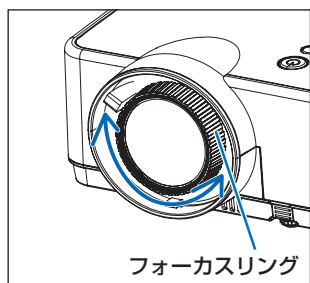


2

映像を投写する（基本操作）

## 投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

- 1 フォーカスリングを回す。



## 2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機とスクリーンを正しく設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。

本機の工場出荷時は、本体の前後方向の傾きを感知し、自動的に台形歪みを補正する設定になっています（自動台形補正）。詳しくは [88 ページ](#) の自動台形補正をご覧ください。

ここではスクリーンに向かって斜め横から投写した場合の台形歪みを調整する手順を説明しています。

### ●台形補正調整の前に

台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正があります。

すでに、4点補正またはピンクッション補正を調整しているときは、台形補正 水平と台形補正 垂直がグレー表示になり選択できません。

このときは、リセット操作をしてから行ってください。

### 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の （台形補正）ボタンを押す。

- ・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。  
投写画面に台形補正画面が表示されます。

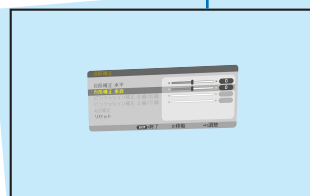


- ・ピンクッション補正については [49 ページ](#) をご覧ください。
- ・4点補正については [47 ページ](#) をご覧ください。
- ・リセットについては [次ページ](#) をご覧ください。

### 2 ボタンを押して「台形補正 垂直」にカーソルを合わせ、 ボタンを押して左右の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。

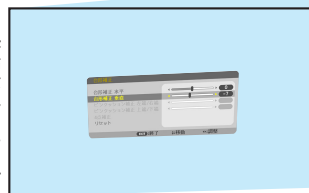
投写画面の外枠  
スクリーンの外枠



### 3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

（左辺を合わせる）



- 4** ▲ ボタンを押して「台形補正 水平」にカーソルを合わせ、◀▶ ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み(水平)を調整します。

- 右の図のように左辺を合わせた場合は、▶ ボタンを押します。



- 5** 手順**2**～**4**を繰り返し、台形歪みを調整する。

- 6** 台形歪みの調整が終わったら、戻る ボタンを押す。

台形補正画面が消えます。

- 再び台形歪みを調整する場合は、▼ (台形補正) ボタンを押して台形補正画面を表示し、上の手順**1**～**6**を行ってください。



### 注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

## 台形補正值を初期値に戻すには

- 1** 台形補正画面を表示させ、▼ ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

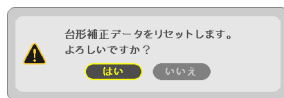
確認画面が表示されます。

- 2** ▶ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

確認画面が消えリセットされます。

### 注意

- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。



### 参考

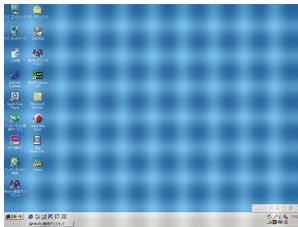
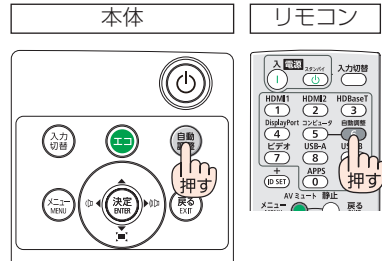
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正からも行えます。(88 ページ)

## 2-7. コンピューターの映像を自動調整する

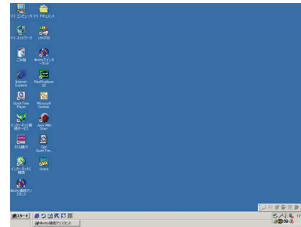
コンピューターの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

### 1 自動調整 ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

### 参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(▶ 83, 84 ページ)
- コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、165 ページを参照してください。

## 2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

### 本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(◀/▶)ボタンを押す。

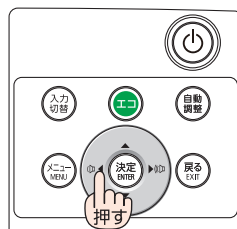
音量調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

**注意**

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、(部分拡大+)ボタンで画面を拡大しているとき、ビューワー表示中、および LAN 表示中は、(◀/▶)ボタンを使った音量調整はできません。



### リモコンを使って調整する

- 1 リモコンの(音量 +/-)ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



**参考**

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。  
(▶ 100 ページ)

2

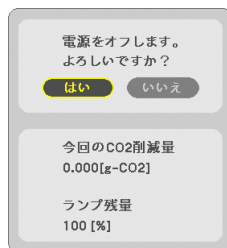
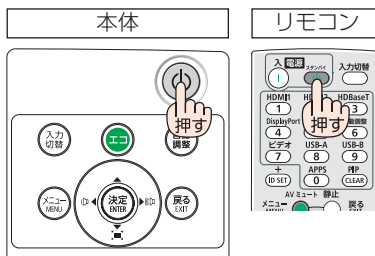
映像を投写する(基本操作)

## 2-9. 本機の電源を切る

### 1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

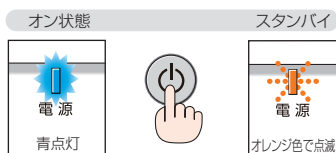
- 電源オフ確認メッセージには今回の CO<sub>2</sub> 削減量 (45 ページ) と、ランプ残量を表示します。
- リモコンで操作する場合は、電源 (スタンバイ) ボタンを押します。



### 2 (決定) ボタンを押す。

ランプが消灯し、電源が切れます (スリープ状態)。本機の操作や接続機器からの通信がないと、しばらくしてスタンバイ状態に移行します。(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- (決定) ボタンの代わりに、電源 (スタンバイ) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(戻る) ボタンで「いいえ」を選んで (決定) ボタンを押します。



### 注意

投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

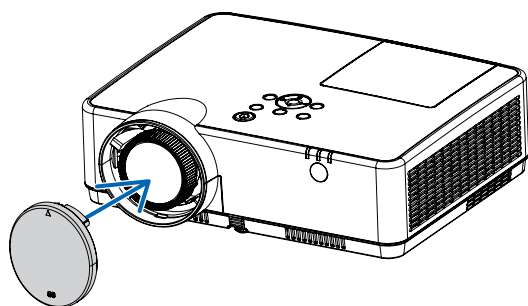


- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。



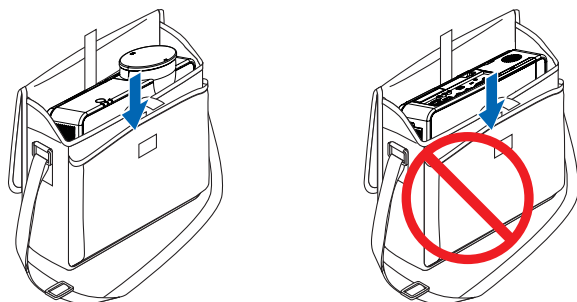
## 2-10. あとかたづけ

- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
  - ・ 本機に USB メモリーや無線 LAN ユニットを挿している場合は取り外してください。
- 3 チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
  - ・ レンズ面には手を触れないでください。
- 4 レンズキャップを取り付ける。



- 5 本機および添付品をソフトケースに収納する。

本機をソフトケースに収納するときは、次のようにレンズキャップのある面が上を向くように収納してください。



**注意**

- 本機をソフトケースに収納するときは、チルトフットを縮めてください。故障の原因となります。

**注意**

本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

# 3. 便利な機能

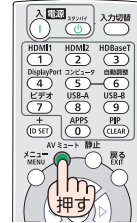
## 3-1. 映像と音声を消去する (AV ミュート)

### 1 リモコンの (AVミュート) ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

また、AV ミュートにしてしばらくすると、節電機能が働き、ランプ電力が低下します。

- もう一度 (AVミュート) ボタンを押すと、映像と音声が出ます。



### 注意

- ビープ音は (AVミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。(▶ 100 ページ)
- 節電機能が働いた直後に (AVミュート) ボタンを押すと、すぐに明るさが戻らない場合があります。

### 参考

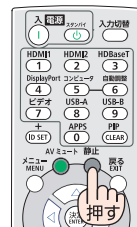
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

## 3-2. 動画を静止画にする (静止)

### 1 リモコンの (静止) ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (静止) ボタンを押すと、動画に戻ります。



### 注意

- 入力端子選択が USB-A のときは使用できません。

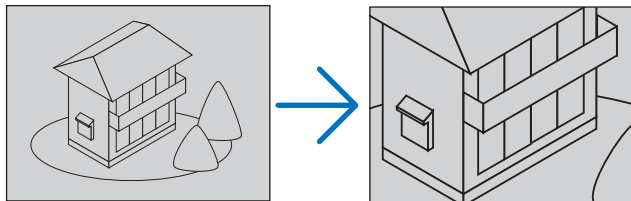
### 参考

- (静止) ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

## 3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

### 1 リモコンの (部分拡大+) ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。  
・最大 4 倍まで拡大できます。



### 2 (▼▲◀▶) ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

### 3 (部分拡大-) ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。  
・もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。



3

便利な機能

**注意**

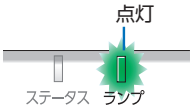
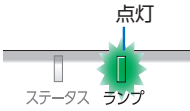
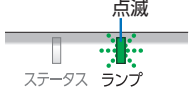
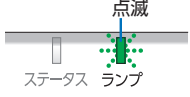
- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。
- 入力端子選択が LAN または USB-B のときは使用できません。

**参考**

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

## 3-4. エコモードと省エネ効果

エコモードを設定すると、本機の CO<sub>2</sub> 排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減したり、ランプ交換時間（目安）\* を延ばしたりします。

エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	ランプの輝度	ランプインジケータ の状態
オフ (表示なし)	ランプの輝度 (明るさ) が 100% になります。 明るい画面になります。	点灯 
オートエコ (🌿)	映像の明るさを判定してランプの輝度を自動で 「オフ」または「エコ1」に切り替えます。	ステータス ランプ 
エコ1 (🌿🌿)	ランプの輝度 (明るさ) が約 80% になります。 ランプ電力を下げることで、ランプ交換時間 (目 安)* が延びます。	点滅 
エコ2 (🌿🌿🌿)	ランプ輝度 (明るさ) が約 67% になります。 ランプの状態に最適なランプ電力コントロ ールを行い、ランプ交換時間 (目安)* がさらに延び ます。	ステータス ランプ 

エコ1 / エコ2 を選択するとランプ交換時間 (目安)\* が延びます。

ランプの輝度 (明るさ) が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。

※：保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合もあります。

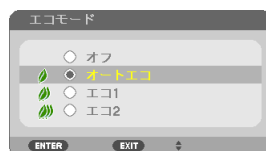
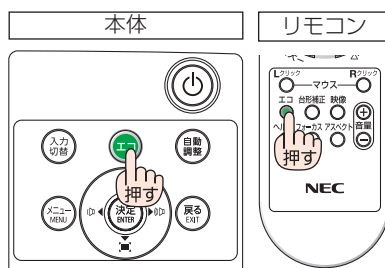
### エコモードに切り替える

- 1** **エコ** ボタンを 1 回押す。  
エコモード選択画面が表示されます。


- 2** さらに **エコ** ボタンを押して選択する。

**エコ** ボタンを押すごとに オートエコ→エコ1→エコ2→オフに切り替わり、エコモード選択画面が消えて、選択したモードに切り替わります。

- ・エコモード時はランプインジケータが緑色で点灯します。



- ・オートエコを設定すると、映像によっては明るい階調が見えにくくなる場合があります。

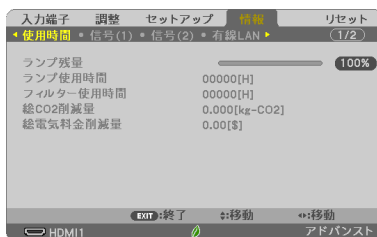
- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→エコモードでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、エコモードの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(▶ 93 ページ)
- 電源を入れた直後の約90秒間は、エコモードがオフ状態(輝度100%)で動作します。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- ランプ残量/ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(▶ 104 ページ)
- 本機に入力信号がない状態(無信号ガイダンス、ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき)のまま約1分経過すると、自動的にエコモードに切り替わりランプインジケータが緑点灯します。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にランプの輝度(明るさ)を下げる場合があります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。  
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。  
強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- エコ2からオフ、オートエコ、エコ1に切り替えた直後に、一時的にランプの輝度(明るさ)が下がることまれにありますが、異常ではありません。
- エコ2に切り替えたとき、消費電力やファンの回転数が安定するまでに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

## 省エネ効果を見る(カーボンメーター)

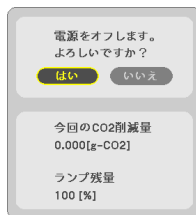
本機のエコモードを「オン」に設定している期間の省エネ効果を CO<sub>2</sub> 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメーター」と呼びます。

表示には「総 CO<sub>2</sub> 削減量」と「今回の CO<sub>2</sub> 削減量」があります。

「総 CO<sub>2</sub> 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO<sub>2</sub> 削減量(kg)を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(▶ 104 ページ)



「今回の CO<sub>2</sub> 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO<sub>2</sub> 削減量(g)を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



参考

- CO<sub>2</sub> 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO<sub>2</sub> 排出係数を掛けて算出\*します。  
エコモードを設定して使用したり AV ミュートをを使用すると、CO<sub>2</sub> 排出削減量の値は増加します。  
\* CO<sub>2</sub> 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO<sub>2</sub> 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

## 3-5. 投写画面の歪みを調整する (4点補正 / ピンクッション補正)

台形補正の4点補正画面やピンクッション補正画面を表示して、投写画面の歪みを調整します。


### ●調整の前に

台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正があります。

すでに他の台形補正を行っているときは、4点補正とピンクッション補正がグレー表示になり選択できません。


このときは、リセット操作をしてから行ってください。

### 4点補正を行う

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の  (台形補正) ボタンを押す。

・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。  
投写画面に台形補正画面が表示されます。



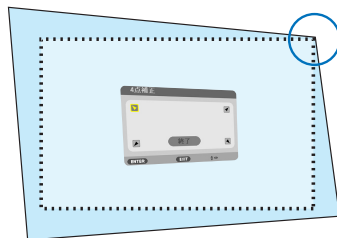
- 2  ボタンを押して [4点補正] にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。


4点補正画面が表示されます。



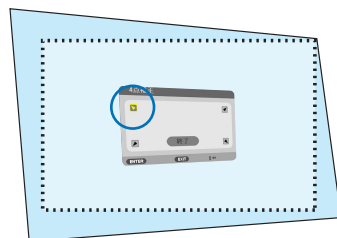
- 3 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

- 4 スクリーンと投写画面の角を合わせる (図は右上の角)。



- 5  ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ (図は左上の▼)。

- 6 **決定** ボタンを押す。



- 7 **▼▲◀▶** ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。

- 8 **決定** ボタンを押す。

- 9 **▼▲◀▶** ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

- 10 手順7～10を繰り返し、投写画面の歪みを調整する。

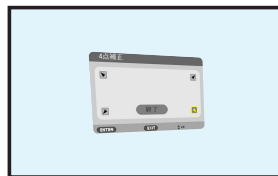
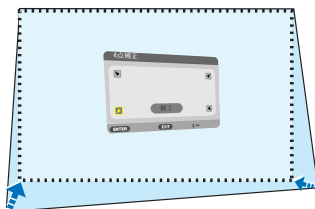
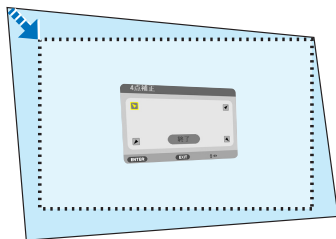
- 11 投写画面の歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、**決定** ボタンを押す。

4点補正の調整終了画面が表示されます。

- 12 **◀▶** ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- 「取消」を選択して**決定** ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。  
◀戻るボタンを押しても4点補正画面に戻りません。





## ピンクッション補正を行う

ピンクッション補正は「ピンクッション補正 左端/右端」または「ピンクッション補正 上端/下端」のどちらか1つが調整できます。

プロジェクターはスクリーン面に対して真正面にし、台形歪みがでないように設置してください。(33 ページ)

### 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の (台形補正) ボタンを押す。

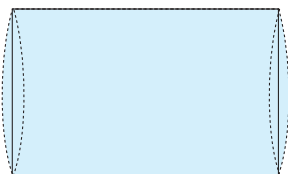
- ・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。  
投写画面に台形補正画面が表示されます。



### 2 ボタンを押して、「ピンクッション補正 左端/右端」または「ピンクッション補正 上端/下端」にカーソルを合わせる。



### 3 ボタンを押して、投写画面のわん曲歪みを調整する。



※ピンクッション左端 / 右端調整例

### 4 調整が終わったら、 ボタンを押す。

- 全般画面に戻ります。

#### 注意

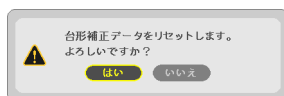
- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えてもピンクッションの補正の調整値を保持しています。
- 台形補正、ピンクッション補正および4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

## 4点補正值、ピンクッション補正值を初期値に戻すには

### 1 4点補正画面を表示させ、 ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、 ボタンを押します。 確認画面が表示されます。



### 2 ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、 ボタンを押します。 確認画面が消えクリアされます。



#### 注意

- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

## 3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

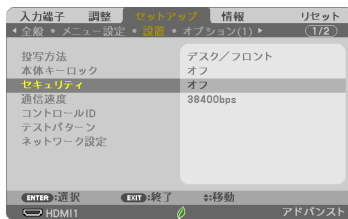
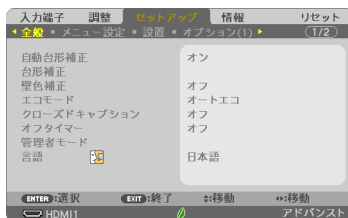
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

**注意**

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

### セキュリティを有効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **▼** ボタンで「オン」を選択し、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **▼▲▶** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。





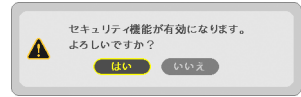
- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



- 7** **6** で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**決定** ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



- 8** **戻る** ボタンで「はい」を選択し、**決定** ボタンを押す。

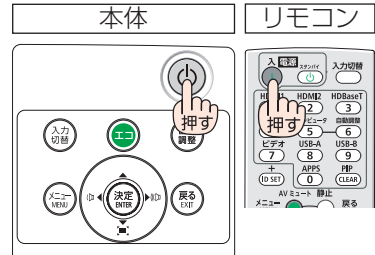
セキュリティが有効になります。

## セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **電源** ボタンを押す。

・リモコンで操作する場合は、電源(入)ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



**3**  
便利な機能

- 2** **メニュー** ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



- 3** セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。

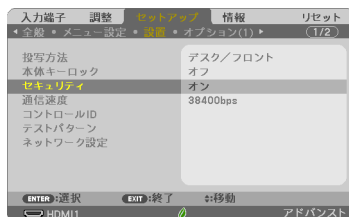
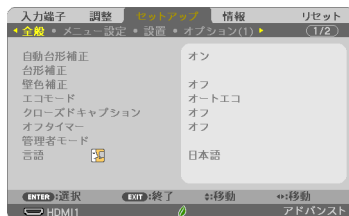
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

## セキュリティを無効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。  
メニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **▲** ボタンで「オフ」を選択し、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティが無効になります。



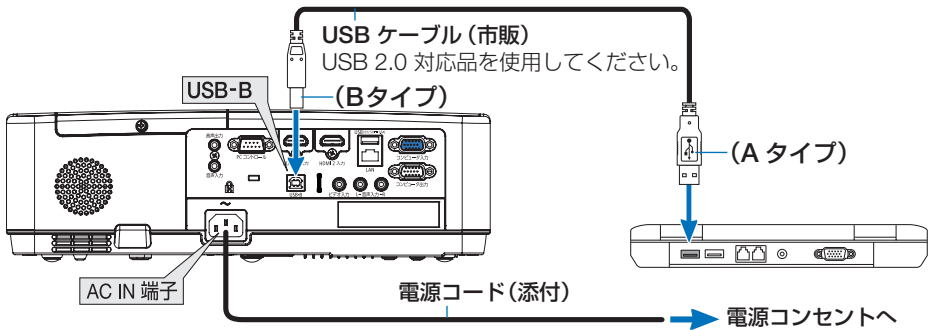
### 参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ([📞 裏表紙](#)) にご連絡ください。

## 3-7. USBケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う(リモートマウス)

市販のUSBケーブルを使ってコンピュータと本機を接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

- リモコンの(USB-B)ボタンを押すか、オンスクリーンメニューの入力端子で「USB-B」を選択してください。
- USBケーブルを使ってコンピュータと本機を接続すると、USBディスプレイも起動します。(54 ページ)
- 本機とコンピュータをはじめて USBケーブルで接続する場合、コンピュータにソフトウェアを読み込むため、USBディスプレイが起動するまでしばらく時間がかかります。



### 注意

- リモートマウスは、次の OS において使用できます。  
Windows 7/Windows Vista/Windows XP
- コンピューターの USB ポートから USB ケーブルのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピューターが USB ケーブルを正しく認識できないことがあります。
- USB ケーブルを接続する際は、コンピューターを起動している状態で行ってください。コンピューターと本機を USB ケーブルで接続したあとコンピューターを起動すると、コンピューターが起動しないことがあります。

## リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- ・ (ページ 上/下) ボタン ..... 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- ・ (左/右) ボタン ..... マウスポインタを移動します。
- ・ (マウス L クリック) ボタン、(決定) ボタン ..... マウスの左クリックの働きをします。
- ・ (マウス R クリック) ボタン ..... マウスの右クリックの働きをします。

### 参考

- マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピューターのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。

## 3-8. USB ケーブルを経由して画像を投写する (USB ディスプレイ)

市販のUSBケーブルを使ってコンピューターとプロジェクターを接続すると、コンピューターの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピューターケーブルは必要ありません。

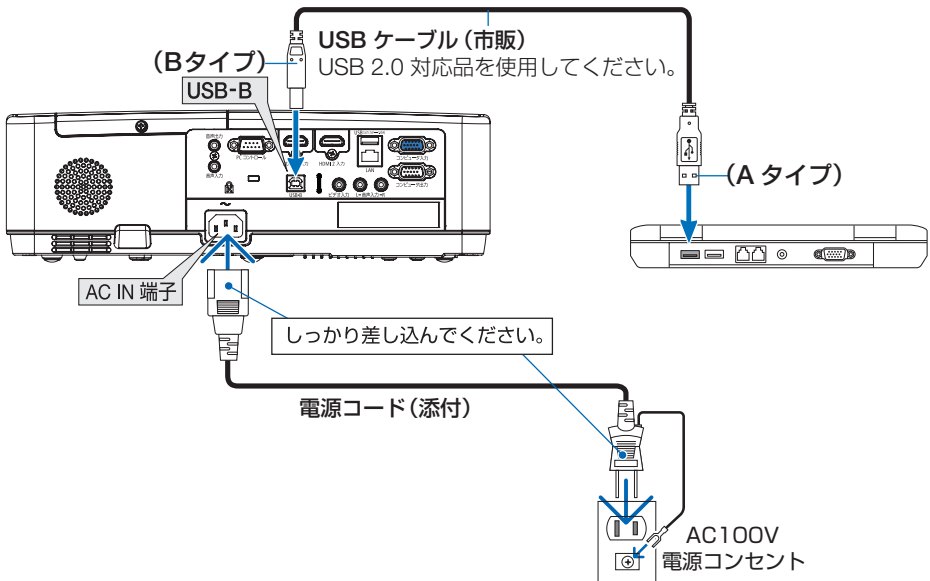
また、コンピューター側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。

USB ディスプレイは、プロジェクター本体に内蔵しているソフトウェア Image Express Utility Lite の機能を利用しています。



- Windows XP では「コンピューターの管理者」権限のみ、USB ディスプレイが使用できます。

- 1 コンピューターを起動する。**
- 2 プロジェクターの電源コードをコンセントに接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。**
- 3 コンピューターとプロジェクターを USB ケーブルで接続する。**  
コンピューターの画面に「プロジェクターがスタンバイです。接続しますか?」と表示されます。
  - 画面の上部に Image Express Utility Lite のコントロールウィンドウが表示されます。





- プロジェクターがスタンバイ状態のときにUSBケーブルを接続する場合は、プロジェクターのスタンバイモードが「ノーマル」に設定されていると、USBディスプレイは起動しません。その場合はプロジェクターのスタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に切り替えてください。
- コンピューター本体の設定によっては、プロジェクターとの接続を検出した際に、「自動再生」ウィンドウを表示する場合があります。「自動再生」ウィンドウが表示されたときは「Start USB Display」をクリックしてください。

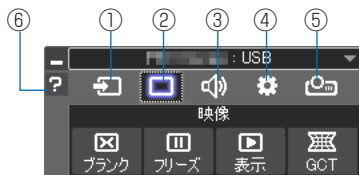


#### 4 「はい (Y)」 をクリックする。

プロジェクターの電源が入り、画面に「プロジェクターを準備中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

しばらくすると、このウィンドウは自動的に消えます。

#### 5 コントロールウィンドウを操作する



名称	説明
①  (入力)	プロジェクターの入力信号を切り替えます。
②  (映像)	ブランク (映像消去)、フリーズ (静止画)、表示、GCT (幾何学補正) が行えます。 GCT (幾何学補正) については、 <a href="#">56 ページ</a> をご覧ください。
③  (音声)	ミュート (音声消去)、再生、音量の調整が行えます。
④  (その他)	更新、HTTP サーバー (注)、設定、情報が行えます。 (注) HTTP サーバーは、USB ケーブル接続時は選択できません。
⑤  (投写)	投写画面の切り替え、非表示 / 表示、割り込み禁止 / 許可、終了が行えます。
⑥  (ヘルプ)	Image Express Utility Lite のヘルプを表示します。

## 3-9. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)

プロジェクター本体に内蔵しているソフトウェア Image Express Utility Lite の「GCT」(幾何学補正 / Geometric Correction Tool) を使用すると、スクリーンに対して斜め方向から投写したときなどの画面の歪みを調整できます。

### 幾何学補正 (GCT) でできること

- 幾何学補正 (GCT) には、以下の3つの機能があります。
  - ・ 4点補正 …… 歪んだ投写画面の4つの角を移動してスクリーンの角に合わせることで、簡易な操作でスクリーンの枠内に投写画面を収めることができます。
  - ・ 多点補正 …… 4点補正から、さらに画面を分割して補正を行うことで、コーナーや複雑なスクリーンに投写画面を合わせることができます。
  - ・ パラメータ補正 …… あらかじめ用意した変形規則を組み合わせて補正を行います。

ここでは、4点補正について説明します。

多点補正とパラメータ補正については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。(▶ 55 ページ)



- 補正した情報をプロジェクター本体またはコンピューターに保存し、必要なときに呼び出すことができます。

### スクリーンに斜め方向から投写する (4点補正)

**準備:** (1) 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する。(USB ディスプレイ ▶ 54 ページ)


画面に Image Express Utility Lite のコントロールウィンドウが表示されます。


(2) スクリーン全体が入るように投写画面の向きや大きさ (ズーム) を調整する。

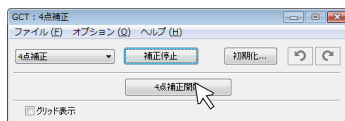
- 1**  (映像) アイコンをクリックし、  
 ボタンをクリックする。  
4点補正編集ウィンドウが表示されます。



- 2** 4点補正編集ウィンドウの「補正開始」ボタンをクリックし、「4点補正開始」ボタンをクリックする

投写画面に緑色の枠とマウスポインタ「」が表示されます。

- ・ 緑色の枠の4つの角には「」が表示されます。

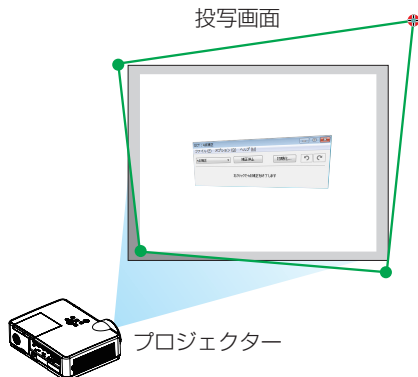




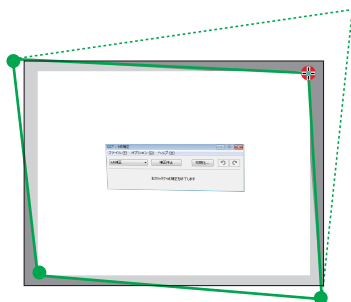
- 3** 投写画面上でマウス操作を行い、動かしたい角の「●」をクリックする。  
・選択されている「●」は赤色になります。



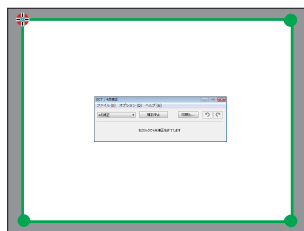
(Windows の画面は省略しています)



- 4** 補正したいところまでドラッグ&ドロップする。  
・投写画面内でマウスクリックすると、最も近い角がマウスポインタの位置に動きます。




- 5** 3、4の手順を繰り返し、画面の歪みを調整する。



- 6** 調整が終わったら、マウスを右クリックする。  
投写画面から緑色の枠とマウスポインタが消えて、調整が終了します。

**7** 4点補正編集ウィンドウのをクリックする。

4点補正編集ウィンドウが消え、4点補正の調整が確定されます。

**8**  (投写) アイコンをクリックし、  
 (終了) アイコンをクリックする。

**9** 「はい」をクリックする。

Image Express Utility Lite を終了します。

**参考**

- 調整終了後、4点補正編集ウィンドウの「ファイル」→「プロジェクターに書き出し」をクリックすることで、4点補正の調整値を保存しておくことができます。
- 4点補正編集ウィンドウの詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。([🔗 55 ページ](#))

# 4. ビューワーを使用する

## 4-1. ビューワーでできること

ビューワーには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に挿すと、USB メモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、パソコンを使わずにプレゼンテーションを行えます。
- ビューワーで投写できる画像の種類は、JPEG と PNG です。
- ビューワーではサムネイル表示が行え、投写する画像を素早く選択できます。
- 複数の画像を連続して投写する場合（スライドショー）は、手動操作で切り替える方法（手動再生）と、自動的に切り替える方法（自動再生）があります。また、自動再生のときは画像の切り替え時間を変更できます。
- 投写する順番は、画像のファイル名、ファイル種別、日付、サイズで指定でき、昇順・降順を選択できます。
- 画像の向きを 90° 単位で変えることができます。
- 入力端子の無信号状態の画面（バックグラウンドロゴ）と MultiPresenter のスタート画面の背景画像（MultiPresenter ロゴ）を変更できます。また、パスワードを設定して、第三者による画像の変更を禁止することもできます。

### 注意

- ビューワー表示中、および LAN 表示中は、(▼▲) ボタンによる台形補正はできません。  
ビューワー表示中に台形補正を行う場合は、(メニュー) ボタンを 2 回押してオンスクリーンメニューを表示し操作してください。
- ビューワー表示中は、リモコンの(静止) ボタンは動きません。
- オンスクリーンメニューで[リセット]→[全データ]を行うと、ビューワーのオプションメニューの設定は工場出荷状態に戻ります。
- USB メモリーについて
  - ・本機のビューワーで使用する USB メモリーは、FAT32 形式、または FAT16 形式でフォーマットしてください。
  - ・本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリーを認識できません。
  - ・本機に挿した USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
  - ・フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
  - ・本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

次ページに続く

● 対応画像について

- ・ビューワーで投写できる画像は次のとおりです。

JPEG	拡張子	jpg、jpe、jpeg（大文字小文字は同一視）
	形式	ベースライン、プログレッシブ
	色	RGB、グレースケール
	解像度	ベースライン：最大 10000 × 10000 (pixel) プログレッシブ：最大 2000 × 2000 (pixel)
	EXIF	EXIF 情報（回転 / サムネイルなど）には対応していません。
PNG	拡張子	png（大文字小文字は同一視）
	形式	ノーマル、インターレース
	色	RGB、インデックスカラー、グレースケール
	解像度	ノーマル：最大 10000 × 10000 (pixel) インターレース：最大 2000 × 2000 (pixel)

## 4-2. USB メモリー内の画像を投写する(基本操作)

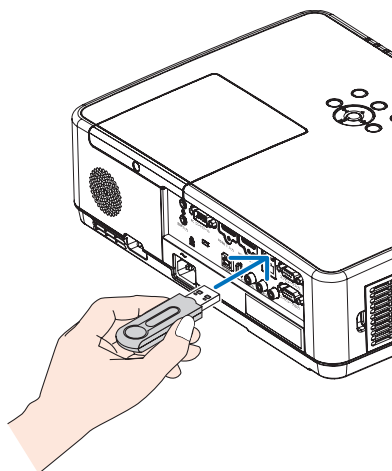
ここでは、ビューワーの基本操作を説明します。ビューワーのオプションメニュー(▶68ページ)が工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

### ビューワーを起動する

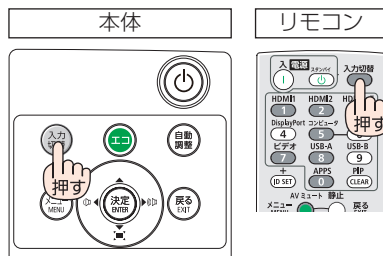
- 1 本機の電源を入れる。
- 2 本機のUSB-A ポートにUSB メモリーを挿す。

**注意**

●本機からUSB メモリーを取り外すときは、ファイルリスト画面またはドライブリスト画面でメニューボタンを押して「USB デバイスを取り外す」を選択してください。(▶63ページ「USBメモリーを取り外す」)

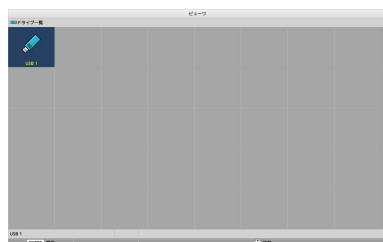


- 3 (入力切替)ボタンを押す。  
入力端子画面が表示されます。

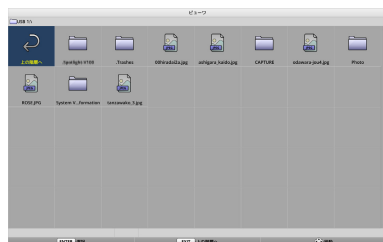


- 4 入力切替ボタンを数回押して(USB-A)にカーソルを合わせる。

- ・入力切替ボタンを短く押すたびに、次の入力端子にカーソルが移動します。
- ・(USB-A)にカーソルを合わせたまましばらくすると、ビューワーが起動しUSB メモリー内のドライブ一覧画面が投写されます。



- 5 「USB 1」にカーソルが合っていることを確認し、決定ボタンを押す。  
ファイルリスト画面が表示されます。



4

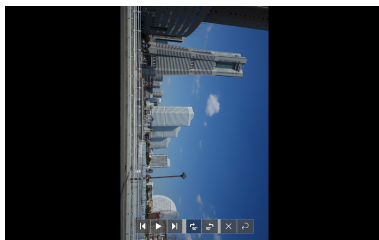
ビューワーを使用する





**11**  ボタンを押して  にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

画像が時計回りに 90° 回転します。

- ・この状態で決定ボタンを押すごとに、画像が時計回りに 90° 回転します。



**12**  ボタンを押して  にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

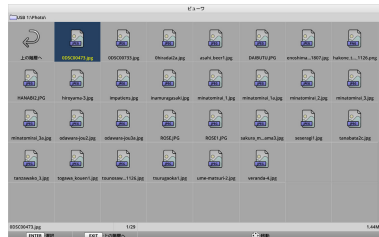
コントロールバーが消えます。

**13** 戻るボタンを押す。

ファイルリスト画面に変わります。

- ・手順 10. のコントロールバーでカーソルを合わせ、決定ボタンを押してもファイルリスト画面に変わります。

- ・ファイルリスト画面からスライド画面に戻す場合は、スライド表示する画像にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

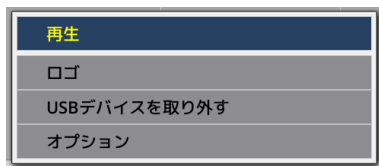


## USB メモリーを取り外す

**1** ファイルリスト画面またはドライブリスト画面でメニューボタンを押す。


画面左下にポップアップメニューが表示されます。

- ・ポップアップメニュー表示中にメニューボタンを押すと、入力端子画面が表示されます。もう一度メニューボタンを押すと、入力端子画面は消えます。
- ・ポップアップメニュー表示中に戻るボタンを押すと、ポップアップメニューは消えます。



**2** 「USB デバイスを取り外す」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

画面中央に確認メッセージが表示されます。

**3** USB メモリーを取り外す場合は、 ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

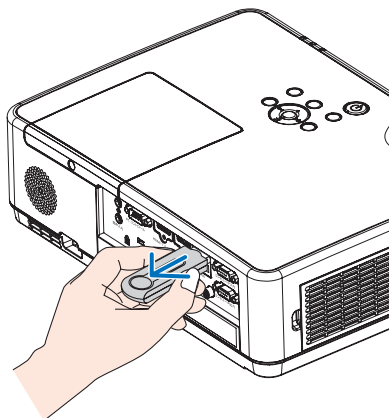
画面中央のメッセージ表示が変わります。

#### 4 決定ボタンを押す。

#### 5 本機からUSB メモリーを取り外す。

#### 注意

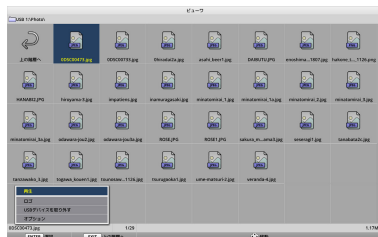
- メニューで「USB デバイスを取り外す」を実行せずに本機からUSB メモリーを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。その後約3分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。



### ビューワーを終了する

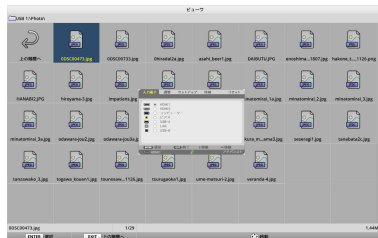
#### 1 スライド画面またはファイルリスト画面でメニューボタンを押す。

コントロールバーまたはポップアップメニューが表示されます。



#### 2 もう一度メニューボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

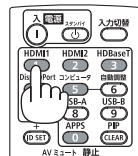


#### 3 (USB-A) 以外の入力端子にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

ビューワーが終了します。

#### 参考

- リモコンで操作する場合は、(HDMI 1) ボタンなどを押すと、ビューワーが終了します。





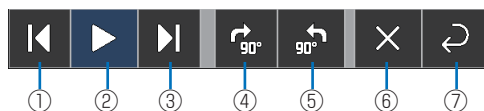
## 4-3. スライド画面の操作

スライド画面では次の操作が行えます。



ボタン名	説明
▶、ページマ	次の画像を投写します。
◀、ページ△	前の画像を投写します。
決定	ポインタ (→) を表示します。ポインタは(▼▲◀▶)ボタンを押すと移動します。もう一度決定ボタンを押すとポインタが消えます。
戻る	ファイルリスト画面に切り替えます。
メニュー	コントロールバーを表示します。

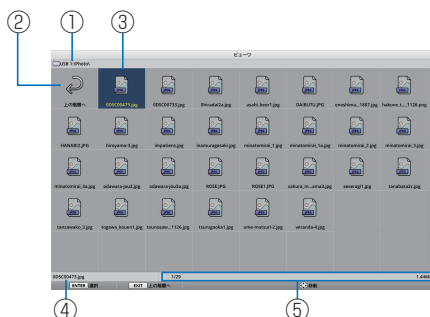
コントロールバーでは、◀/▶ボタンを押して黄色のカーソルを移動し目的の項目で決定ボタンを押します。各項目の働きは次のとおりです。



コントロールバーの項目	説明
① 戻る	前の画像を投写します。
② 再生/停止	スライドショーの自動再生を開始します。またはスライドショーを停止します。
③ 進む	次の画像を投写します。
④ 右 90°回転	画像を時計回りに 90°回転します。
⑤ 左 90°回転	画像を反時計回りに 90°回転します。
⑥ 終了	コントロールバーを消します。
⑦ ファイルリスト画面へ戻る	サムネイル画面に切り替えます。

## 4-4. ファイルリスト画面の操作

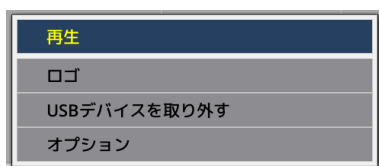
### ファイルリスト画面の見かた



表示の名称	説明
① パス	投写しているフォルダーのパスを表示します。 USB メモリーを挿しているときはドライブ名が「USB」と表示されます。
② 上の階層へ	上（親）の階層のフォルダーに戻ります。
③ 画像またはフォルダー（アイコン表示またはサムネイル表示	画像やフォルダーをアイコンまたはサムネイル（縮小表示）で表示します。
④ 選択している画像のファイル名	カーソルが当たっている画像のファイル名を表示します
⑤ 情報表示	<ul style="list-style-type: none"><li>• 画像にカーソルがあるとき画像の順番（全画像数分の何番目か）、画像に変更を加えた最新の日時、ファイル容量を表示します。</li><li>• フォルダーにカーソルがあるときフォルダーの更新日時を表示します。</li><li>• ドライブにカーソルがあるときドライブの空き容量を表示します。</li></ul>

## ファイルリスト画面の操作

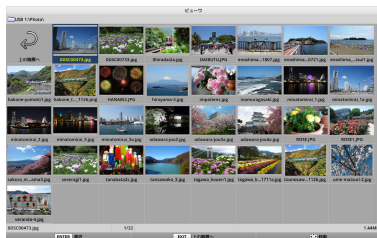
ボタン名	説明
▼▲◀▶	カーソルを移動します。
決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 画像にカーソルが合っている場合は、スライド画面に切り替わります。</li> <li>• フォルダーにカーソルが合っている場合は、フォルダー内のファイルが表示されます。</li> <li>• 「上の階層へ」にカーソルが合っている場合は、上（親）の階層のフォルダーに戻ります。</li> </ul>
戻る	上（親）の階層のフォルダーに戻ります。
メニュー	次のポップアップメニューを表示します。
ページマ	次のファイルリスト画面を投写します。
ページ△	前のファイルリスト画面を投写します。



メニュー項目	説明
再生	スライドショーを開始します。
ロゴ	入力端子の無信号状態の画面（バックグラウンドロゴ）または MultiPresenter のスタート画面の背景画像（MultiPresenter ロゴ）を変更します。
USB デバイスを取り外す	本機に挿している USB メモリーを使用停止状態にします。本機から USB メモリーを取り外す前に、このメニュー項目を実行します。
オプション	オプションメニューを表示します。(🔗68ページ)

## 4-5. オプションメニュー

メニュー項目	説明	工場出荷時
再生モード	スライド画面の表示モードを選択します。 手動：手動操作で画像を切り替えます。 自動：間隔の設定に従って自動で画像を切り替えます。	手動
間隔	スライドショーを自動再生する際の表示する間隔を設定します。 選択可能範囲：5～300（秒）の間を1秒刻みで設定します。	5（秒）
繰り返し	スライドショーの繰り返しを設定します。 ・オフ：繰り返しを行いません。スライドショーが最後の画像を表示し終えたら、スライドショーを終了します。 ・オン：繰り返しを行います。スライドショーが最後の画像を表示し終えたら、先頭の画像に戻り表示します。	オフ
開始	USB-A 端子が選択されたときに表示する画面を設定します。 ・スライド画面：スライド画面を表示します。 ・サムネイル：リスト画面を表示します。	スライド画面
サムネイル表示	ファイルリスト画面に表示された画像ファイルをサムネイル表示するかどうかを設定します。 ・オフ：アイコンで表示します。 ・オン：サムネイルで表示します。  表示例	オフ
並び順	ファイルリスト表示をしたときのソート順を設定します。 ・名前 (ABC..) / 名前 (ZYX..)：ファイルおよびフォルダー名の文字コード順に表示します。 ・種類 (ABC..) / 種類 (ZYX..)：拡張子の文字コード順に表示します。 ・日付 (新) / 日付 (旧)：ファイルの更新日時の新しい順または古い順に表示します。 ・サイズ (大) / サイズ (小)：ファイルサイズの大きい順または小さい順に表示します。	名前 (ABC..)



### 参考

- 「設定値保存」について  
各設定項目で決定ボタンを押した直後に保存します。ただし、「並び順」の設定値は、電源をオフするまで設定値を保持し、次回電源をオンした際に「名前 (ABC..)」に戻します。

## 4-6. ログデータ（背景の画像）を変更する

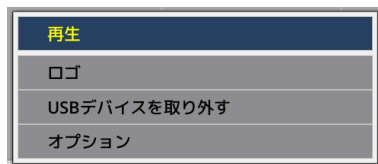
- 入力端子の無信号状態の画面（バックグラウンドロゴ）と MultiPresenter のスタート画面の背景画像（MultiPresenter ロゴ）を変更できます。
- パスワードを設定して、第三者による画像の変更を禁止することもできます。
- 以下の条件をすべて満たす画像が設定できます。

フォーマット	JPEG または PNG でビューワーで表示可能な画像
解像度	本機のパネル解像度以下 NP-ME382UJL: WUXGA (1920 × 1200) NP-ME372WJL/NP-MC332WJL: WXGA (1280 × 800) NP-ME402XJL: XGA (1024 × 768)
ファイルサイズ	1 メガバイト以下

**1** ファイルリスト画面を表示する。

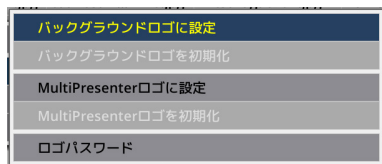
**2** バックグラウンドロゴまたは MultiPresenter ロゴに設定する画像にカーソルを合わせ、メニューボタンを押す。

ポップアップメニューが表示されます。



**3** 「ロゴ」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。



### バックグラウンドロゴまたは MultiPresenter ロゴを設定する

**1** サブメニューで「バックグラウンドロゴに設定」または「MultiPresenterロゴに設定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

- ・ ログパスワードが設定されている場合は、ログパスワード入力画面が表示されるので、ログパスワードを入力してください。
- ・ ログを変更するかどうかの確認画面が表示されます。

**2** 「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

## バックグラウンドロゴまたはMultiPresenter ロゴを初期化する

- 1 サブメニューで「バックグラウンドロゴを初期化」または「MultiPresenterロゴを初期化」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

- ・ ロゴパスワードが設定されている場合は、ロゴパスワード入力画面が表示されるので、ロゴパスワードを入力してください。
- ・ ロゴを初期化するかどうかの確認画面が表示されます。

- 2 「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

## ロゴを無断で変更されないようにパスワードを設定する

ここでは、はじめてパスワードを設定する場合の手順を説明します。

- 1 サブメニューで「ロゴパスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

- 2 「新規パスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

- ・ 文字入力画面が表示されます。▼▲◀▶ボタンと決定ボタンを使ってパスワードを入力します。
- ・ パスワードとして入力可能な文字は、英数字のみで、1～10文字が入力できます。
- ・ パスワードを決定すると、入力欄にはアスタリスクで表示されます。

- 3 「新規パスワード再確認」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

- ・ もう一度同じパスワードを入力します。

- 4 パスワード設定画面の「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

ロゴパスワードが設定されます。

### 参考

- 設定したロゴパスワードを消去する方法
  - ① サブメニューで「ロゴパスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
  - ② パスワード入力画面で、決定ボタンを押す。
  - ③ パスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。  
パスワード設定画面が表示されます。
  - ④ 「新規パスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
    - ・ 文字入力画面で何も入力せずに「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
  - ⑤ 「新規パスワード再確認」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
    - ・ 文字入力画面で何も入力せずに「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
  - ⑥ パスワード設定画面の「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。  
以上で、設定したロゴパスワードが消去されます。

# 5. オンスクリーンメニュー

## 5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

### オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

#### 1 (メニュー) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。

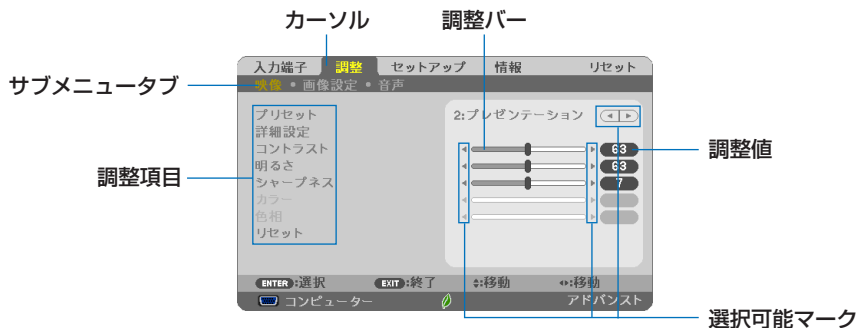
カーソル (黄色の部分)



無線 LAN ユニット (別売) の動作中、エコモード設定、ファンモードの「高地」設定、強制エコモード、本体キーロック中、オフタイマーの残り時間のアイコン

#### 2 (▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。





**3** (▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

**4** 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

- ・「」(選択可能マーク)が付いている項目は(◀/▶)ボタンで設定を切り替えることができます。

「」(選択可能マーク)が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(決定)ボタンを押します。

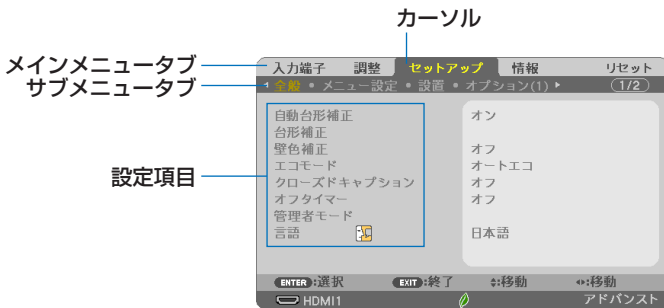
- ・調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(決定)ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

**5** (戻る) ボタンを2回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

**6** (▶) ボタンを1回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



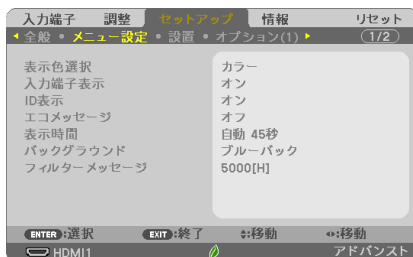
**7** (決定) ボタンを押す。

一般にカーソルが移動します。

- ・セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション(1)、オプション(2)、有線LAN、無線LANという7つのサブメニュータブがあります。(◀/▶)ボタンで選択します。

**8** (▶) ボタンを1回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。



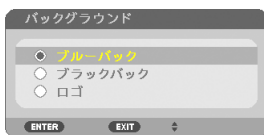
次ページに続く



- 9 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- ・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。  
バックグラウンドが設定されます。

- ・ 選択を取り消す場合は、(戻る) ボタンを押します。

- 12 (メニュー) ボタンを1回押す。  
メニューが消えます。




注意

- ・入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

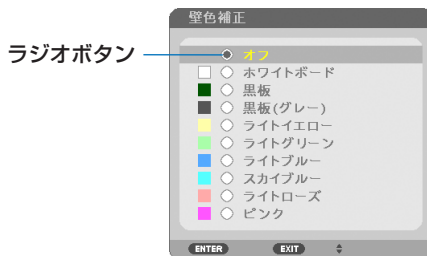
## 調整画面、設定画面の操作例



### ●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから1つ「」を選びます。

#### 【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



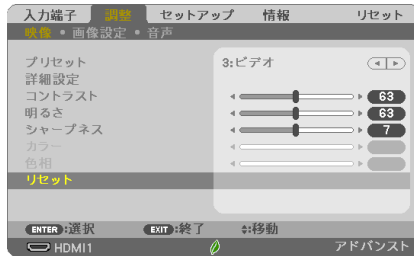
- 1 (▼/▲) ボタンを押す。  
選択されているマーク () が移動します。
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(決定) ボタンを押す。

## ●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **戻る** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

### 【例 2】調整のリセット



- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 **決定** ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、**左/右** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
機能が実行されます。
  - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**決定** ボタンを押します。

## 5-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー			選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー					
入力端子	—		HDMI1	79		
			HDMI2			
			コンピューター			
			ビデオ			
			USB-A			
			LAN			
			USB-B			
調整	映像	プリセット	1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB、7：DICOM SIM.	80		
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.	81
				ガンマ補正	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
			スクリーンサイズ	大、中、小		
			色温度	5000-10500		
			ダイナミックコントラスト	オフ、オン		
			画面モード	静止画、動画		
		カラーエンハンスメント	カラーエンハンスメント	オフ、弱、中、強	82	
			ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青		
		コントラスト			82	
	明るさ					
	シャープネス					
	カラー					
	色相					
	リセット			83		
	画像設定	クロック周波数			83	
		位相				
		水平				
		垂直			84	
		オーバースキャン		自動、0[%]、5[%]、10[%]	85	
アスペクト		WUXGA/WXGA：自動、4:3、16:9、15:9、16:10、レターボックス、リアル XGA：自動、4:3、16:9、15:9、16:10、ワイドズーム、リアル				
表示位置*1						
音声		音量		87		

※ 1：NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/NP-MC332WJL は表示されません。

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	全般	自動台形補正	オフ、オン	88	
		台形補正	台形補正 水平		88
			台形補正 垂直		
			ピンクッション 補正 左端/右端		
			ピンクッション 補正 上端/下端		
			4点補正		
			リセット		
		壁色補正	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板（グレー）、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	90	
		エコモード	オフ、オートエコ、エコ1、エコ2		
		クローズドキャプション	オフ、キャプション1、キャプション2、キャプション3、キャプション4、テキスト1、テキスト2、テキスト3、テキスト4		
		オフタイマー	オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00	91	
		管理者モード	メニューモード		アドバンスト、ベーシック
			設定値を保存しない		オフ、オン
			キーワード	オフ、オン	
	言語	ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÉS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚÁ、简体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दि、INDONESIA、ئۇيغۇر、繁體中文、TIẾNG VIỆT	92		
メニュー 設定	表示色選択	カラー、モノクロ	92		
	入力端子表示	オフ、オン			
	ID表示	オフ、オン			
	エコメッセージ	オフ、オン	93		
	表示時間	手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒			
	バックグラウンド フィルターメッセージ	ブルーバック、ブラックバック、ロゴ オフ、100[H]、500[H]、1000[H]、2000[H]、5000[H]、10000[H]			
設置	投写方法	デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント	94		
	本体キーロック	オフ、オン	95		
	セキュリティ	オフ、オン			
	通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps	96		
	コントロールID	コントロールID 番号		1-254	
		コントロールID		オフ、オン	
	テストパターン ネットワーク設定		97		

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	オプション (1)	シームレススイッチング		オフ、オン	98
		ファンモード		自動、高地	
		信号選択	コンピューター	RGB/ コンポーネント、RGB、 コンポーネント	99
		WXGA モード※2		オフ、オン	
		デインターレース		オフ、オン	
		ビデオレベル	HDMI1	自動、標準、拡張	100
			HDMI2	自動、標準、拡張	
	ピーブ音		オフ、オン		
	オプション (2)	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ、 スリープ	101
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	102
		オートパワーオン		オフ、オン	
		オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、 0:30、1:00	
		初期入力選択		ラスト、自動、HDMI1、HDMI2、 コンピューター、ビデオ、USB-A、 LAN、USB-B	103
		CO <sub>2</sub> 換算係数			
		通貨選択		\$、€、JP ¥、RMB ¥	
		コンバージョン エンス※3	水平 赤		
		水平 緑			
	水平 青				
	垂直 赤				
	垂直 緑				
	垂直 青				
情報	使用時間		ランプ残量、ランプ使用時間、 フィルター使用時間、総 CO <sub>2</sub> 削減量、 総電気料金削減量	104	
	信号 (1)		信号名、信号番号、水平同期周波数、 垂直同期周波数、同期形態、同期極性、 走査方式		
	信号 (2)		信号形式、ビデオ標準、色深度、 ビデオレベル		
	有線 LAN		IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイ、MAC アドレス		

※2：NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/NP-MC332WJL では、「オン」が工場出荷時の値です。

※3：NP-ME372WJL/NP-MC332WJL/NP-ME402XJL モデルは対応していません。

メニュー		選択項目	参照 ページ
メインメニュー	サブメニュー		
情報	無線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイ、MAC アドレス、 SSID、通信モード、セキュリティ、 チャンネル、信号レベル	104
	VERSION	FIRMWARE、DATA、	
	その他	プロジェクター名、ホスト名、 MODEL NO.、SERIAL NUMBER、 LAN UNIT TYPE、CONTROL ID <sup>※4</sup>	
リセット	—	表示中の信号	106
		全データ	
		ランプ使用時間クリア	
		フィルター時間クリア	

※4：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

## 5-3. 入力端子



投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

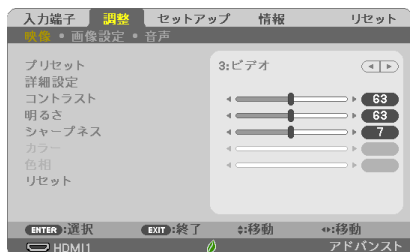
HDMI1	HDMI1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピューター	コンピューター映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
USB-A	本機にセットした USB メモリーのデータを投写します。
LAN	LAN ポート (RJ-45) または別売の無線 LAN ユニットの介してコンピューターから送られてくるデータを投写します。
USB-B	USB-B ディスプレイ端子に接続しているコンピューターの画面を投写します。

### 参考

- コンポーネント入力信号をコンピューター映像入力端子に接続している場合は、コンピューターを選択してください。  
コンピューター映像入力端子の入力信号は、コンピューター信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

## 5-4. 調整

### 映像



### ●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目 1～7 に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1～7 に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。

#### 注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

#### 参考

- [sRGB] は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」のDICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

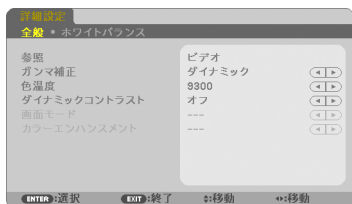


## ●詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目1～7のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、画面モード、カラーエンハンスメント、ホワイトバランスの項目について、細かな設定ができます。



### 全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

### 全般 — ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

#### 注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

### 全般 — スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	110 型前後のサイズのときに選択します。
中	90 型前後のサイズのときに選択します。
小	70 型前後のサイズのときに選択します。

#### 注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

### 全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

#### 注意

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合、色温度は選択できません。

### 全般 — ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

#### 注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は設定できません。

## 全般—画面モード

投写する映像が静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。



- 参照で「sRGB」と「DICOM SIM.」を選択した場合は設定できません。

## 全般—カラーエンハンスメント



- 参照で「プレゼンテーション」を選択した場合のみ設定できます。

## ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。



- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

## ●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。



- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

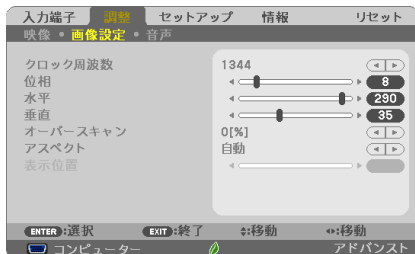
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピューター /HDMI (RGB)	○	○	○	×	×
コンピューター /HDMI (コンポーネント)	○	○	○	○	○
USB-B	○	○	○	×	×
ビデオ	○	○	○	○	○
USB-A、LAN	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

## ●リセット

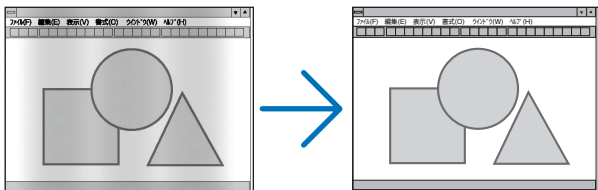
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

## 画像設定



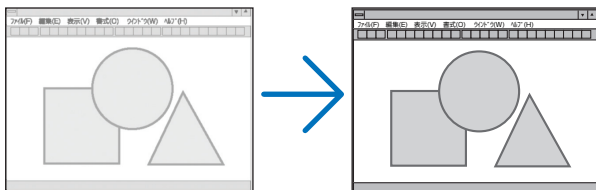
## ●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



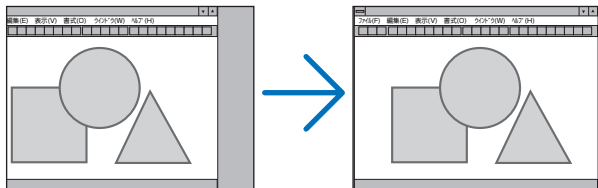
## ●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



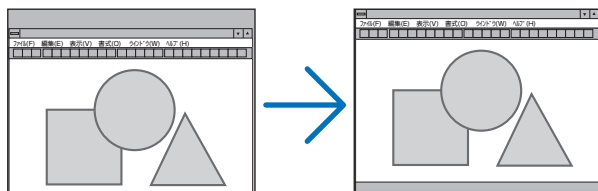
## ●水平

画面を水平方向に移動します。



## ●垂直

画面を垂直方向に移動します。

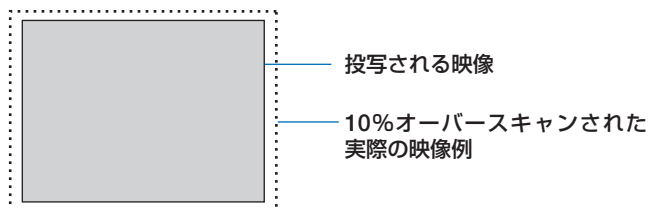


### 注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。  
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。

## ●オーバースキャン

オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の割合を設定します。



### 注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。
- ビデオ入力時は 0[%] を選択できません。

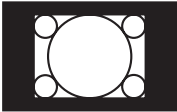

## ●アスペクト

画面の横と縦の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

・コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10

選択項目	説明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(▶次ページ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10のサイズで投写します。
ワイドズーム (NP-ME402XJL)	映像を左右に引き伸ばして投写します。映像の左端と右端は表示されません。
レターボックス (NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/ NP-MC332WJL)	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向に均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	<p>コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度のまま投写します。</p> <p><b>【例 1】</b> NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/ NP-MC332WJL に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき</p>  <p><b>【例 2】</b> NP-ME402XJL に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき</p>  <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューター以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。</li> <li>コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。</li> </ul>

## 【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

**対応機種** NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/NP-MC332WJL

コンピューター信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ		 (注) レターボックスを適切に投写するには「レターボックス」を選択してください。	 (注) スクイーズを適切に投写するには「16:9」を選択してください。

**対応機種** NP-ME402XJL

コンピューター信号のとき

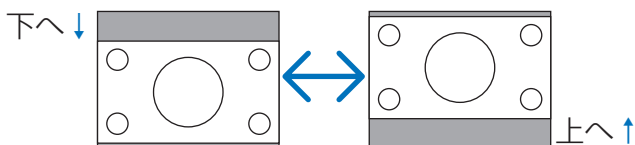
入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ			 (注) スクイーズを適切に投写するには「16:9」または「ワイドズーム」を選択してください。

## ●表示位置

アスペクトで「16:9」、「15:9」、または「16:10」を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



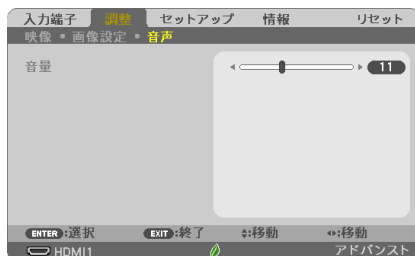
### 注意

- NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/NP-MC332WJLには、この機能はありません。

### 参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比 4 : 3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85 : 1 やシネマスコープ 2.35 : 1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16 : 9 の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して 4 : 3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

## 音声



## ●音量

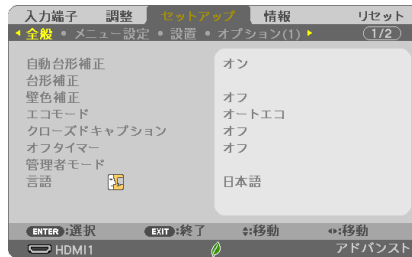
本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

### 参考

- 音量は、本体操作部の(◀▶)ボタン、およびリモコンの(音量 +/-)ボタンでも調整できます。

## 5-5. セットアップ

### 全般



### ●自動台形補正

自動台形補正を行います。

オフ	自動台形補正を行いません。台形補正を手動で行うときは、次の台形補正のメニュー項目で調整します。
オン	自動台形補正を行います。

### 注意

- 投写方法で「デスク／フロント」以外の項目（天吊り／リア、デスク／リア、天吊り／フロント）を選択すると、自動台形補正は無効となり選択できません。
- 自動台形補正がオンのときは、ピンクッション補正 左端／右端、ピンクッション補正 上端／下端、4点補正は動作しません。

### 参考

- 自動台形補正が対応している傾きの範囲は、上下約 30 度です。
- 自動台形補正は、投写中、投写角度を固定してから約 2 秒後に行われます。

### ●台形補正

投写画面の歪みを補正するのが台形補正です。



台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正があります。

台形補正 水平と台形補正 垂直は、同時に調整することができます。

いずれかを選択して調整すると、同時に調整できない補正はグレー表示になります。

他の補正に変更する場合は、リセット操作を行ってください。



台形補正 水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。 (▶ 36 ページ)	
台形補正 垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。 (▶ 36 ページ)	
ピンクッション補正 左端 / 右端	投写画面の左端と右端のわん曲歪みを調整します。(▶ 49 ページ)	
ピンクッション補正 上端 / 下端	投写画面の上端と下端のわん曲歪みを調整します。(▶ 49 ページ)	
4点補正	投写画面の四隅を選択してスクリーンに合わせる調整方法です。(▶ 47 ページ)	
リセット	上記全ての調整値がリセットされ、初期値に戻ります。(▶ 37, 49 ページ)	

**注意**

- 台形補正、ピンクッション補正および4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 調整を行うと調整値は上書きされます。電源を切っても調整値を保持しています。
- 自動台形補正をオンに設定している場合は、本機の電源を入れるたびに、台形補正垂直の調整を自動で行います。

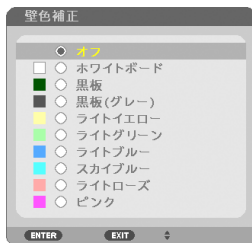
**参考**

- 4点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 ±約 30度	最大 ±約 30度
台形補正		

- 信号によっては、最大範囲まで調整できない場合があります。

## ●壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

### 注意

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

## ●エコモード

エコモードを設定すると、本機のCO<sub>2</sub>排出量（消費電力削減量より換算）を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間（目安）<sup>\*</sup>を延ばすことにもなります。（▶ 44, 105 ページ）

<sup>\*</sup>保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合もあります。

## ●クローズドキャプション

ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション1～4、テキスト1～4	選択した字幕や文字を表示します。

### 注意

- 次の状態のときクローズドキャプションは表示されません。
  - ・ オンスクリーンメニュー表示中
  - ・ メッセージ表示中
  - ・ (部分拡大  $\pm$ ) ボタンによる画面拡大中
  - ・ (静止) ボタンによる静止画中
  - ・ (AVミュート) ボタンによる映像と音声の消去中
- 台形補正で極端に補正をかけた場合、補正の組み合わせによっては、クローズドキャプションの文字が画面からはみ出すことがあります。  
はみ出したときは画面におさまるように調整してください。

### 参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

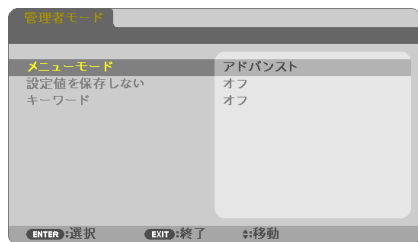
## ●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケーターの青色が長い点滅になります。

## ●管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。



メニューモード	ベーシックメニューとアドバンストメニューを選択します。	—
設定値を保存しない	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける)…オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す)…オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存する場合にチェックマークを外します。	—
キーワード	管理者モードにパスワードを設定します。	最大 10 文字

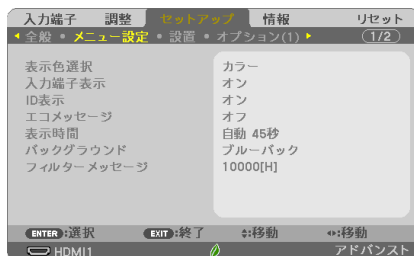
## ●言語

メニューに表示される言語を選択します。

### 参考

- 言語は、リセットを行っても変更されません。

## メニュー設定



## ●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

## ●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピューター」などの入力端子名を表示します。
- ・ 信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力端子でUSB-AまたはLANを選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

## ●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET)ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID (👉96ページ) をご覧ください。

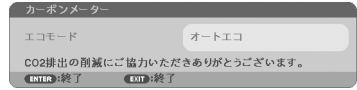
## ●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。

エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合はエコモードを設定するように促します。

### エコモードを設定しているときのエコメッセージ

表示を消すにはいずれかのボタンを押します。30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



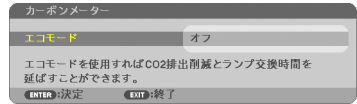
### エコモードが「オフ」のときのエコメッセージ

(決定)ボタンを押すとエコモード選択画面を表示します。

(◀44ページ)

表示を消すには(戻る)ボタンを押します。

- ・30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



## ●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

## ●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

### 注意

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、入力端子選択がLANまたはUSB-Bのときは「ブルーバック」になります。
- 入力端子表示を「オン」にしているときは、バックグラウンドの設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。
- バックグラウンドから復帰した際に、すぐに明るさが戻らない場合があります。

### 参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

## ●フィルターメッセージ

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルターメッセージで設定した時間を超えると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

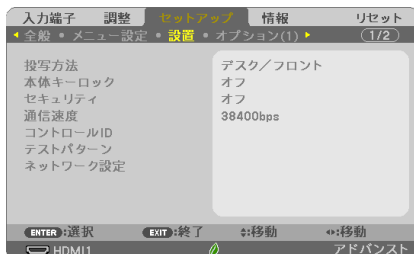
この場合はフィルターの清掃時期ですので、フィルターを清掃してください。清掃のしかたは「8-1. フィルターの清掃」(▶132ページ)をご覧ください。フィルターの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定(10000[H])を変更してください。たとえば、フィルターの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

オフ	フィルター清掃のメッセージは表示されません。
100[H] / 500[H] / 1000[H] / 2000[H] / 5000[H] / 10000[H]	設定した時間（100 時間 / 500 時間 / 1000 時間 / 2000 時間 / 5000 時間 / 10000 時間）を超えると、画面上にフィルター清掃 のメッセージが表示されます。

**参考**

- フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の 1 分間、および本機の **電源** ボタンまたはリモコンの電源 (**スタンバイ**) ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルター清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルターメッセージは、リセットを行っても変更されません。

**設置**



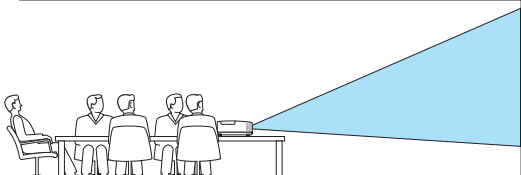
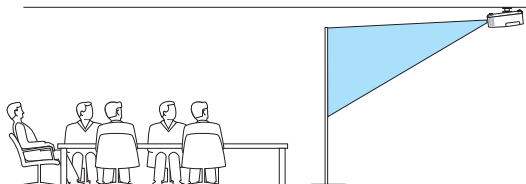
**● 投写方法**

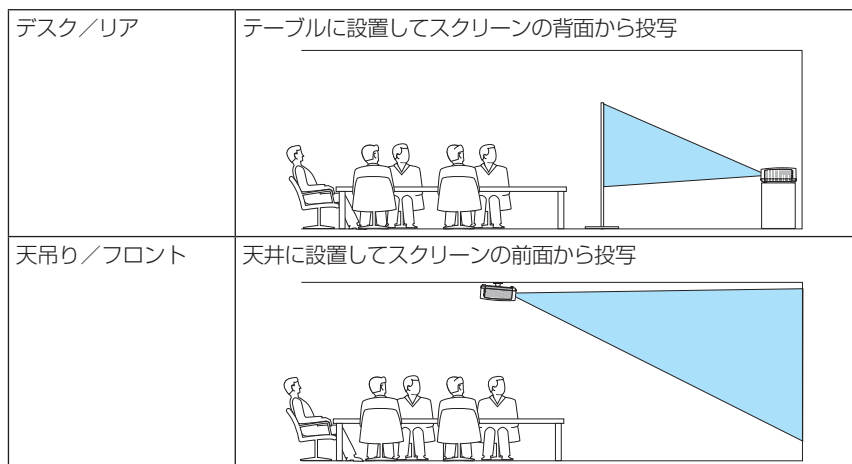
本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



**警告**

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの NEC プロジェクター・カスタムサポートセンターにご相談ください。  
お客様による設置は絶対にしないでください。  
落下してけがの原因となります。

デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 



## ●本体キーロック


プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが動きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

### 注意

- 本体キーロックの解除方法  
本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の(入力切替)ボタンを約10秒間押し、本体キーロックの設定が解除されます。

### 参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

## ●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(50 ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

### 参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

## ●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

### 参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

## ●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ~ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

### 注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

### 参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の **(決定)** ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

## リモコンへの ID の設定 / 変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押す。  
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 **3** でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。

ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または **(CLEAR (クリア))** ボタンを押します。

### 参考

- リモコンの ID は 1 ~ 254 まで登録できます。





#### 4 (ID SET) ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

#### 注意

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

## ●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認する際に表示します。

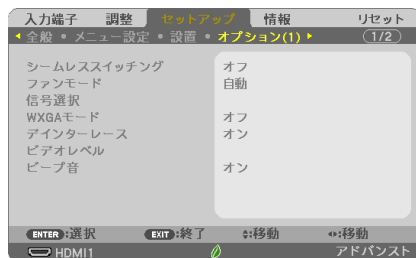
(設定) ボタンを押すとメニュー表示が消えテストパターンを表示します。(戻る) ボタンを押すとテストパターンが消えメニュー画面に戻ります。

テストパターンを表示しているときはメニュー操作および台形補正調整（台形補正、ピンクッション補正、4点補正）はできません。台形歪みを調整するときは、テストパターンを消してから行ってください。

## ●ネットワーク設定

ネットワーク設定の各項目については、「7-3. ネットワーク設定」(121 ページ) をご覧ください。

## オプション (1)



### ●シームレススイッチング

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持（フリーズ）することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

### ●ファンモード


本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高地	標高約 1700m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

#### 注意

- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1700m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

#### 参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に  アイコンが表示されます。

## ●信号選択

各映像入力端子について入力信号を設定します。

コンピューター	DVD プレーヤーなどのコンポーネント信号を、コンピューター映像入力端子に専用ケーブルで接続する場合に選択します。
---------	---

## ●WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号 (WXGA: 1280×800 ドット / WUXGA: 1920 × 1200 ドット) を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA (1024×768 ドット) 信号または UXGA (1600 × 1200 ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

### ▲参考

- NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/NP-MC332WJL は、工場出荷時の設定が「オン」になっています。  
NP-ME402XJL は、工場出荷時の設定が「オフ」になっています。

## ●デインターレース

ビデオや DVD など標準画質映像 (480i または 575i 信号) および HDTV (1080i 信号) のときにインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。

### ▲注意

- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。このようなときは「オフ」に設定してください。
- HDTV (プログレッシブ)、コンピューター入力信号のときは選択できません。
- 接続する機器によっては、選択できない場合があります。

## ●ビデオレベル

本機のHDMI1 入力端子あるいはHDMI2 入力端子と外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
ノーマル	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。

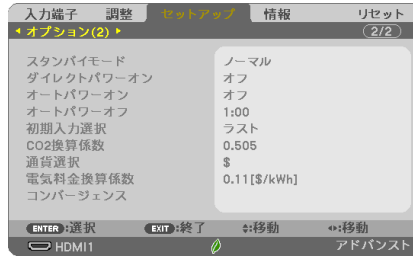
## ●ビープ音

電源の入／切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。



- ビープ音の音量は調整できません。また、(AVミュート)ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

## オプション (2)



### ●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、本機の消費電力が下がります。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PCコントロール端子を使った電源オン
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のときの消費電力が「ノーマル」に比べて高くなりますが、有線LANを使って本機の電源を入れることができます。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PCコントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン、LANポート、無線LANユニット(別売)、アプリケーションソフトを使った操作、LAN機能、メール通知機能
スリープ	スリープ状態を維持します。ノーマルに比べて消費電力が上がります。 次のような場合に選択します。 ・USB-Aポートを常に使用する



- 「ネットワークスタンバイ」に設定している場合、LANが3分間リンクダウンすると、消費電力を下げるために、自動的に「ノーマル」に変わります。
- 「ネットワークスタンバイ」を選択するとオートパワーオフは選択できなくなり(灰色表示)、自動的に「0:15」が選択された状態になります。
- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態\*になります。  
\* スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。消費電力が「ネットワークスタンバイ」に比べて高くなります。ステータスインジケータは緑色で点灯します。

スタンバイモードの設定が「ネットワークスタンバイ」の場合

- ・ ネットワークサービス → AMX 設定 → 「有効」のとき
- ・ ネットワークサービス → CRESTRON → CRESTRON CONTROL → 「有効」のとき
- ・ ネットワーク設定 → 無線LAN設定 → 「無効」以外のときでかつ無線LANユニットが接続されているとき
- ・ コンピュータ入力端子に信号入力があるとき
- ・ HDMI1入力端子に信号入力があるとき
- ・ HDMI2入力端子に信号入力があるとき
- ・ USB-B端子に信号入力があるとき

## 参考

- スタンバイモードを「ノーマル」にしている場合、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフは行えます。
- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメーターの CO<sub>2</sub> 削減量の計算から除外しています。

## ●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (👉次ページ) で設定している信号が投写されます。

## ●オートパワーオン

本機がスタンバイ状態のとき、コンピューター信号または HDMI 信号が入力されると自動的に投写する設定です。本機のコンピューター映像入力端子、HDMI1 入力端子または HDMI2 入力端子と機器を接続して、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
オン	コンピューター信号または HDMI 信号を感知すると本機の電源を自動で入れて投写します。

## 注意

- コンピューター映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピューター信号の場合は働きません。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオンを働かせたい場合は、電源を切ったあと 5 秒以上待ってから、コンピューター信号または HDMI 信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピューター信号または HDMI 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。
- ご使用の機器によっては、オートパワーオンが正常に動作しない場合があります。その場合は、スタンバイモード (👉前ページ) を「ネットワークスタンバイ」に設定してください。
- 本機に複数の機器を接続している場合、オートパワーオンで、入力した信号と異なる機器の信号が投写されることがあります。その場合は、本機に接続している機器の中で不要な機器の電源を切って、オートパワーオンを使用してください。

## ●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間 (5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

## ●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
コンピューター	コンピューター映像入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
USB-A	ビューワーを表示します。(🔵 59 ページ)
LAN	LAN ポート (RJ-45) または別売の無線 LAN ユニットの介してコンピューターから送られてくるデータを投写します。
USB-B	USB-B ディスプレイ端子の入力信号を投写します。

### 注意

- 自動のときは、USB-B は検出しません。  
USB-B 端子を投写するときは、USB-B またはラストを選択してください。

## ●CO<sub>2</sub> 換算係数

カーボンメーターに表示する CO<sub>2</sub> 削減量を算出するための CO<sub>2</sub> 排出係数を設定します。

初期値は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2008 年 Edition)”にて公表されている 2006 年度世界平均係数の 0.505 [kg-CO<sub>2</sub>/kWh] に設定しています。

## ●通貨選択

カーボンメーターに表示する電気料金削減量の通貨単位を選択します。

\$	米国ドル
€	欧州ユーロ
JP¥	日本円
RMB¥	中国元

## ●電気料金換算係数

カーボンメーターに表示する電気料金削減量を算出するための係数として、1kWh あたりの電気料金を設定します。

初期値は、\$、€、JP¥ は OECD 出版の Energy Prices and Taxes (second quarter 2010)、RMB¥ はジェトロ（日本貿易振興機構）出版の中国データ・ファイル（2010 年度版）にて公表されている下記の値に設定しています。

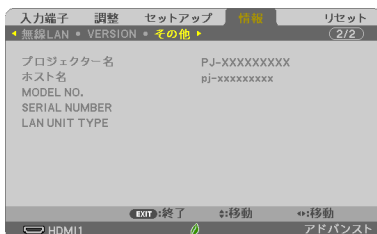
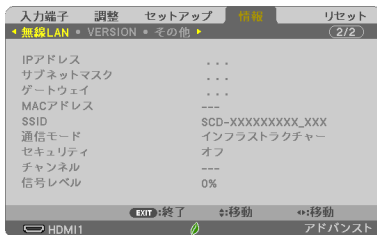
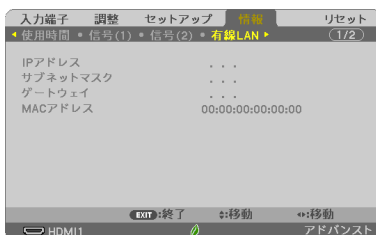
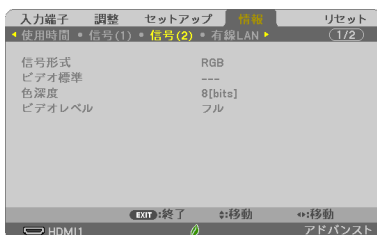
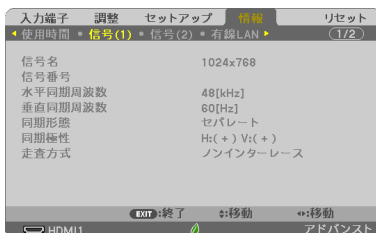
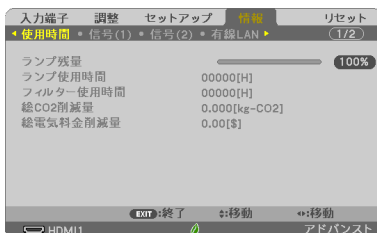
\$	(米国ドル)	0.11
€	(欧州ユーロ)	0.19
JP¥	(日本円)	20
RMB¥	(中国元)	0.48

## ●コンバーゼンス

画面の色ずれを調整します。

水平 赤、水平 緑、水平 青は水平方向、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青は垂直方向に ± 1 画素の調整ができます。(ME372WJL/MC332WJL/ME402XJL モデルは対応していません。)

## 5-6. 情報



ランプ使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN(無線 LAN ユニッツは別売)のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・ 使用時間ページの「総 CO2 削減量」、「総電気料金削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。(45 ページ)
- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(149 ページ) もあわせてご覧ください。

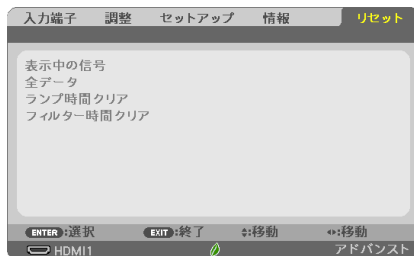


- ランプ残量／ランプ使用時間の表示について  
 本機にはエコモード機能があります。エコモードを「オフ」または「オートエコ」で使用した場合、「エコ1」または「エコ2」で使用した場合はランプの交換時間(目安)<sup>\*</sup>が異なります。  
 ランプ使用時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
  - ・0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「8-4. ランプとフィルターの交換」(137 ページ)をご覧ください。
  - ・ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間および本機の④ボタンまたはリモコンの電源(スタンバイ)ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
  - ・ランプ交換時間(目安)<sup>\*</sup>に到達(ランプ残量0%)後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、ランプ残量表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
  - ・ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間			ランプ残量
	エコモード「オフ」または「オートエコ」のみで使用(最小)	エコモード「エコ1」のみで使用	エコモード「エコ2」のみで使用(最大)	
工場出荷時	0000 時間			100%
ランプ交換時間(目安) <sup>*</sup>	10000 時間	12000 時間	15000 時間	0%

※：保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合もあります。

## 5-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

### ●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

### ●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

言語・バックグラウンド・投写方法・フィルターメッセージ・管理者モード・セキュリティ・通信速度・コントロール ID・スタンバイモード・ファンモード・CO<sub>2</sub> 換算係数・通貨選択・電気料金換算係数・ランプ残量・ランプ使用時間・フィルター使用時間・総 CO<sub>2</sub> 削減量・有線 LAN・無線 LAN

### ●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ使用時間」をクリアします。

**注意**

- ランプ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

### ●フィルター時間クリア

フィルターの清掃または交換を行ったときに「フィルター使用時間」をクリアします。「フィルターメッセージ」を「オフ」に設定している場合は「フィルター時間クリア」を行う必要はありません。

**注意**

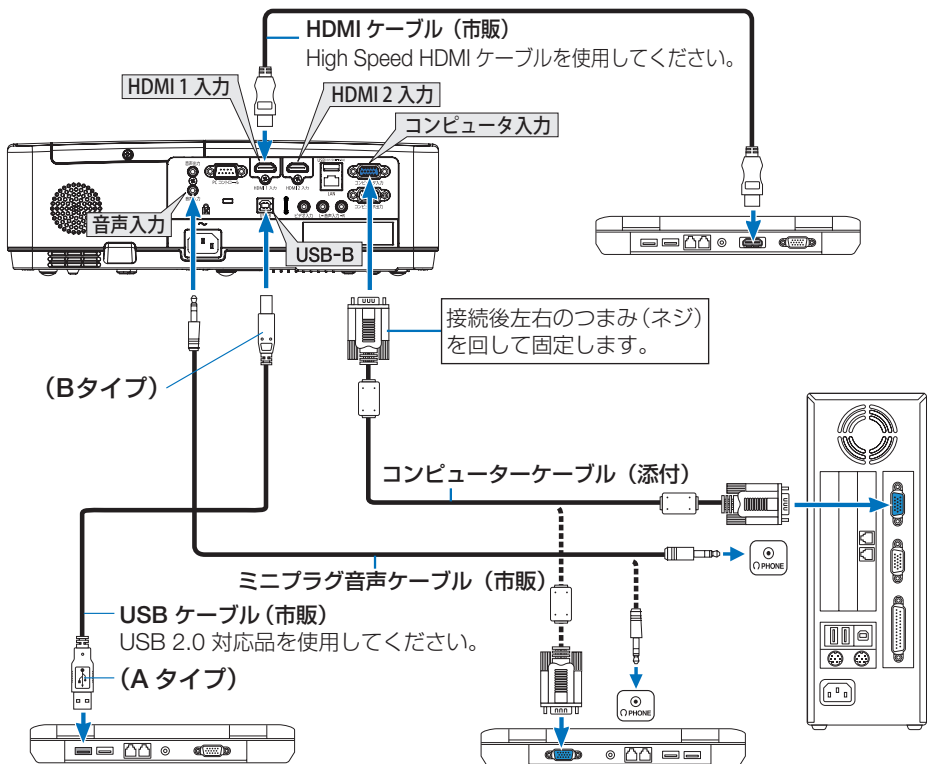
- フィルター使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

# 6. 機器と接続する

## 6-1. コンピューターと接続する

コンピューターとの接続は、コンピューターケーブル（添付）、HDMI ケーブル（市販）、および USB ケーブル（市販）を使用する方法があります。

- 添付のコンピューターケーブルは、コンピューター側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピューター映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 または HDMI 2 入力端子を接続します。
- 市販の USB ケーブルはコンピューターの USB（タイプ A）と本機の USB-B ディスプレイ端子（タイプ B）を接続します。 (▶ 54 ページ)



コンピューターによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピューターの取扱説明書でご確認ください。

- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピューター映像入力端子	 コンピューター	(コンピュータ)
HDMI 1 入力端子	 HDMI1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	(HDMI 2)
USB-B ディスプレイ端子	 USB-B	(USB-B)

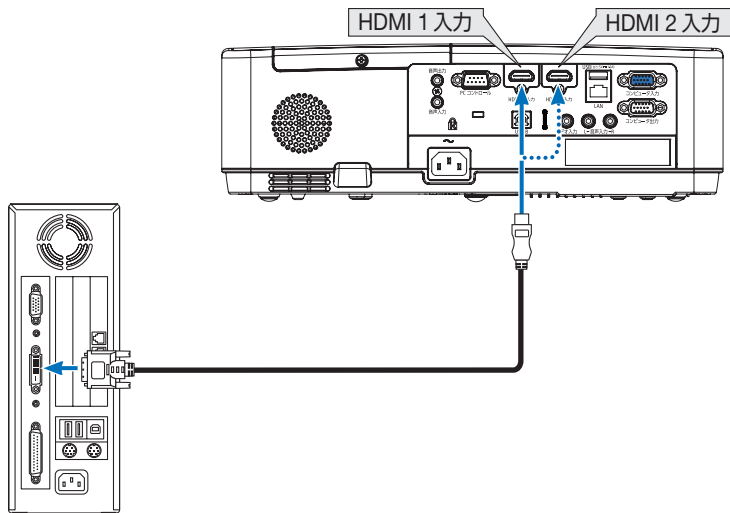
### 注意

- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
  - 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピューターの音量を低めに調整してください。そして、コンピューターと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピューターの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
  - コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
  - 当社製のビデオユニット（型名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
  - スキャンコンバーターなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
  - 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き挿ししたときに HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）を再度選択してください。
- 【入力端子の再選択方法】
- ・リモコンで操作する場合は(HDMI 1)または(HDMI 2)ボタンを押してください。
  - ・プロジェクター本体で操作する場合は(メニュー)ボタンを押して入力端子画面で HDMI 1（または HDMI 2）を再選択してください。

次ページに続く

**参考**

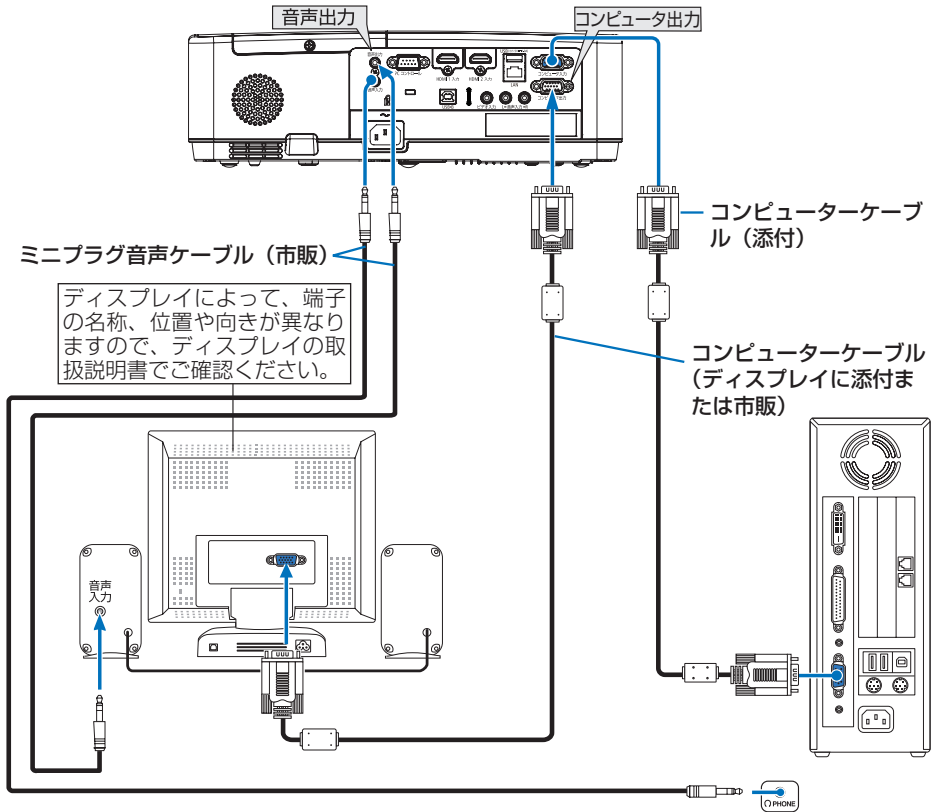
- コンピュータ映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプター（市販）が必要になる場合があります。
- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。

**注意**

- DVI（デジタル）入力時の注意事項
  - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m 以内のものを使用してください。
  - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピューターの電源が切れた状態で行ってください。
  - ・ DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピューターを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピューターを再起動してください。
  - ・ コンピューターのビデオカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
  - ・ 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動してください。

## 6-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニター）して確認できます。コンピュータ映像入力端子に入力された信号だけがコンピュータ出力端子から出力されます。



**注意**

- 本機の音声出力端子は、ヘッドフォン用端子ではありません。
- 本機のコンピュータ出力端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。  
複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音声が出なくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がコンピュータ出力端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。なお、スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときは出力しません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、無信号状態が3分以上続くと、コンピュータ出力端子および音声出力端子からの出力が停止します。この場合は、映像信号を入力後にケーブルを抜き差ししてください。

**参考**

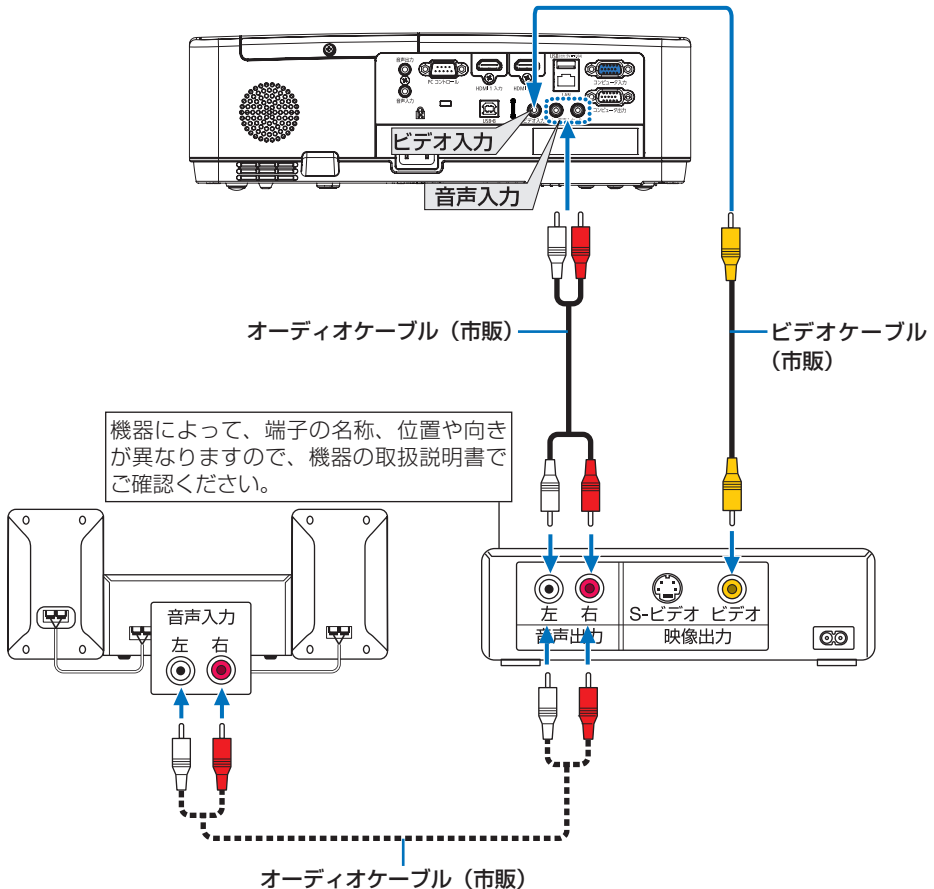
- モニター出力とスリープ状態について  
スタンバイモードが「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときにモニター出力されません。  
スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合は、スタンバイ状態のときにコンピューター映像入力端子に信号を入力すると、コンピュータ出力端子と音声出力端子が使用できます。  
この状態をスリープ状態と呼びます。  
スリープ状態は「ノーマル」「ネットワークスタンバイ」以外の待機状態です。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、コンピューター映像入力端子に信号の入力があり、かつコンピューター音声入力端子に音声入力があると、電源を切る直前に投写していたコンピューターかビデオの音声は出力されません。  
また、BNC端子から変換してコンピューター映像入力端子に入力した信号は、スタンバイ状態とスリープ状態の場合は、モニター出力できません。

## 6-3. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する

### ビデオ信号の接続

DVD プレーヤー、テレビチューナーなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカーはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



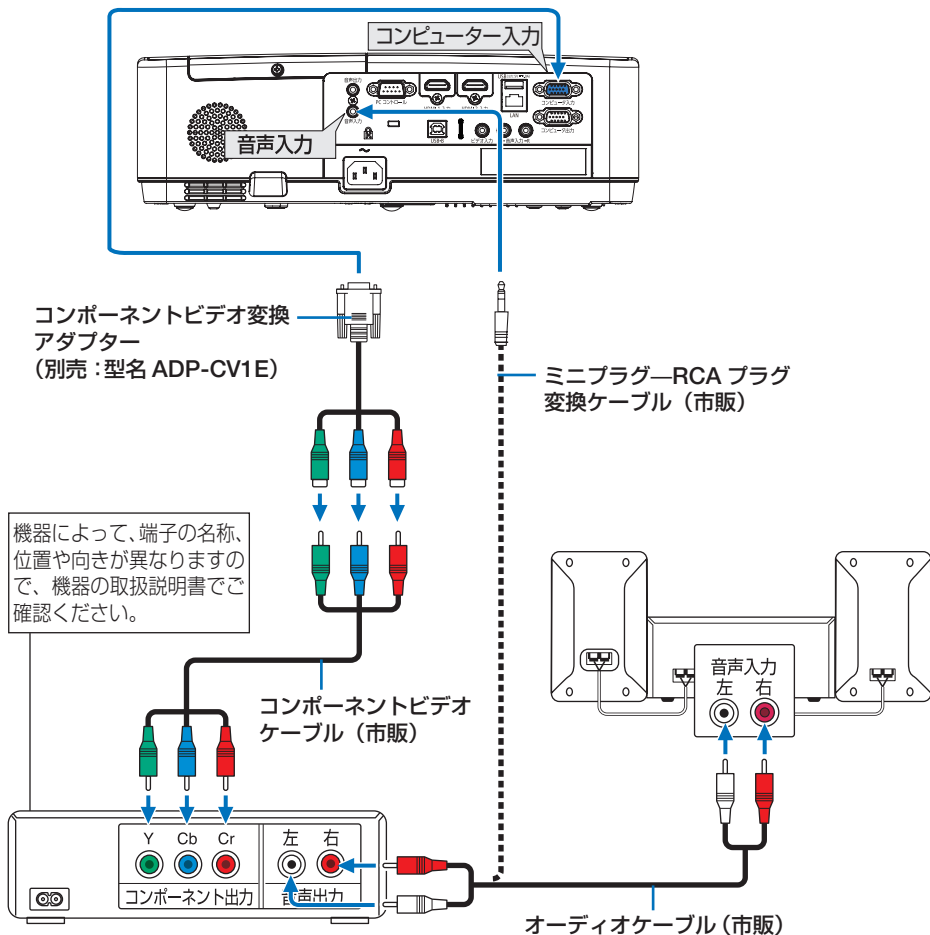
●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	● ビデオ	(ビデオ)



## コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で写射することができます。DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

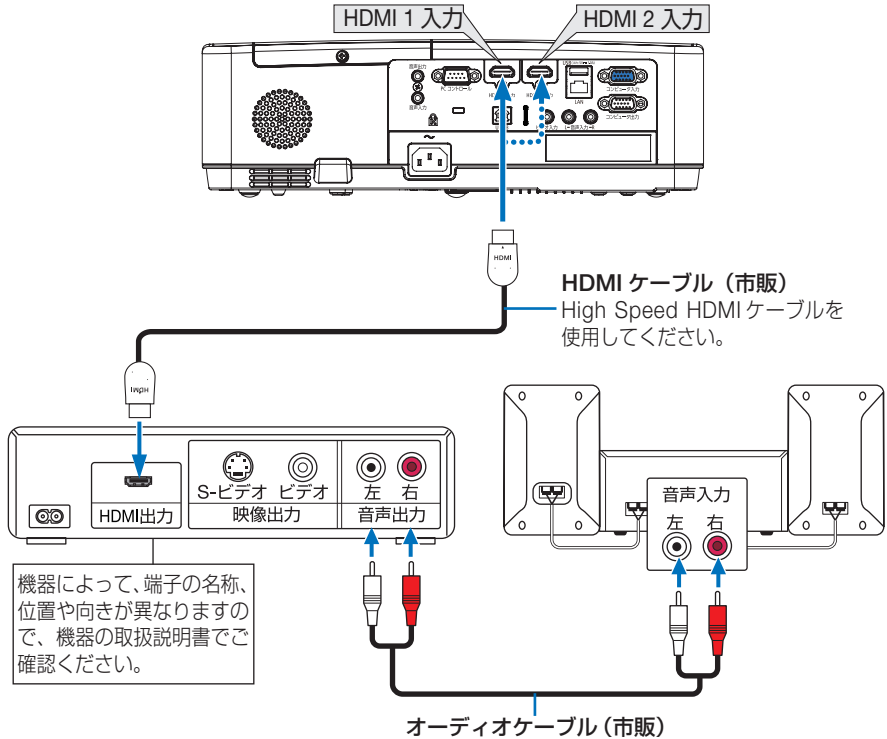
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピューター映像入力端子	コンピューター	(コンピューター)

### 参考

- 通常は自動でコンピューター信号とコンポーネント信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューからセットアップ→オプション (1) →信号選択→コンピューターの設定画面でコンピューター信号を「コンポーネント」に設定してください。
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプター (型名 ADP-DT1E) をお使いください。

## デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤーまたはデジタル放送チューナーなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカーはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	HDMI1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	HDMI2	(HDMI 2)

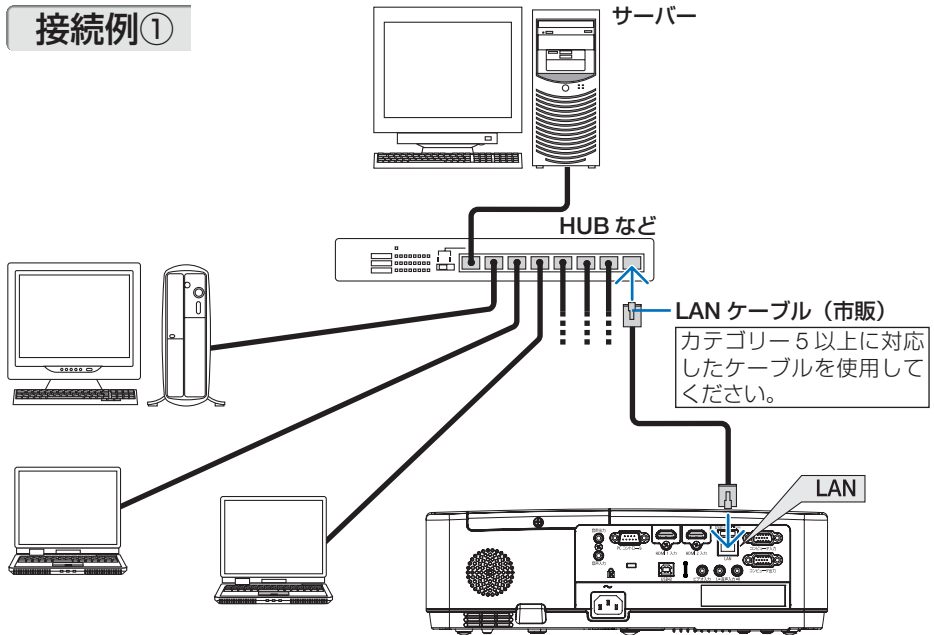
### 参考

- 本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に DVD プレーヤーを接続している場合に、DVD プレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューのセットアップ→ オプション (1) →ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤーのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

## 6-4. 有線 LAN と接続する

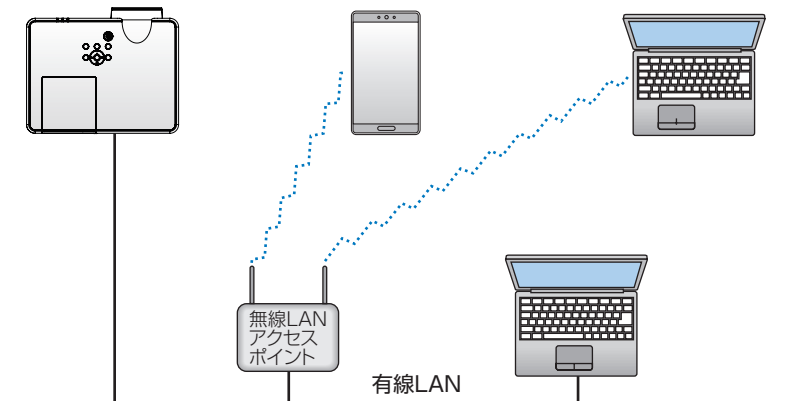
本機には LAN ポート（RJ-45）が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、「7-3. ネットワーク設定」(▶ 121 ページ) をご覧ください。

### 接続例①



### 接続例②

無線 LAN アクセスポイントを介することで、インテリジェントコネクションで端末をかんたんに接続できます。



## 6-5. 無線 LAN と接続する（別売）

別売の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。

**重要**

- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。
- 別売の無線 LAN ユニットは、日本国内仕様をお買い求めください。

**注意**

- 無線 LAN ユニットの動作中は、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。
- コンピューター側の無線 LAN アダプター（またはユニット）は、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) 規格のものを使用してください。

### 無線 LAN ユニットの取り付けかた

**注意**

- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、USB ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると USB ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、電源コードを外して行ってください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- USB ポートはビューワーと共用です。USB メモリーを接続してビューワーを表示しているときは、無線 LAN は使用できません。

**1** 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

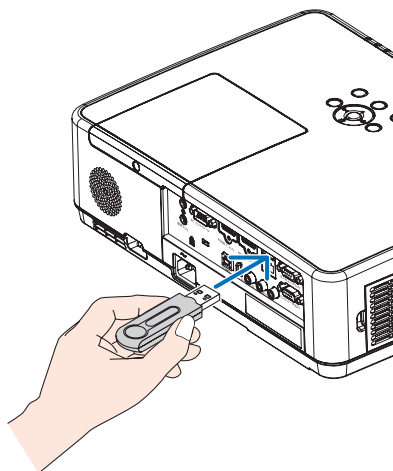
**2** 無線 LAN ユニートを USB ポートにゆっくり差し込む。

- 無線 LAN ユニートのキャップを外し、表面（インジケーターのある面）を下向きにして差し込んでください。

外したキャップは、取り外したときに使いますので大切に保管してください。

**注意**

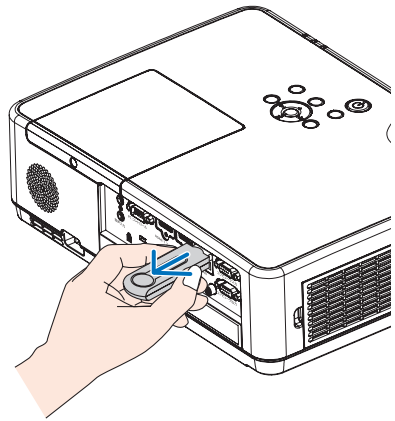
- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。
- 無線 LAN ユニートの落下や盗難を防止するため、添付のストラップを使って、本体のストラップ取り付け穴に固定してください。



※ 取り外すときも電源コードを抜いてから無線 LAN ユニットの引き抜いてください。

**注意**

- 無線 LAN ユニットが動作中には、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。無線 LAN ユニットが正しく取り付けられていない場合、LED は点滅しません。
- 無線 LAN ユニットのボタンは押さないでください。本機では使用できません。

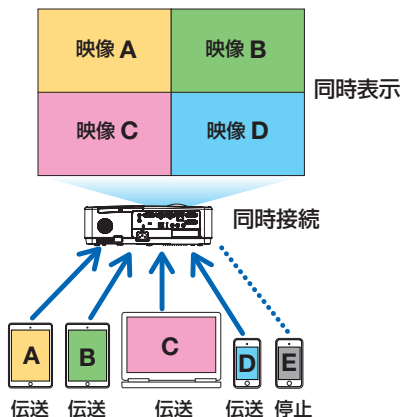


# 7. ネットワークと接続する

## 7-1. 本機をネットワークと接続してできること

- 当社の MultiPresenter アプリをインストールした端末から本機へ、有線 LAN/ 無線 LAN を経由して画面イメージを送信しスクリーンへ投写できます。  
MultiPresenter については、当社のホームページをご覧ください。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>



- 無線 LAN を使って本機に接続する場合、メニューの「ネットワーク設定」において、次の3つのプロファイルを設定できます。

プロファイル名	説明
インテリジェントコネクション	MultiPresenterをインストールしたコンピューターやタブレット端末と本機をピアツーピアで簡単に接続します。
インフラストラクチャー	本機を既存のアクセスポイントに接続し、MultiPresenterをインストールしたコンピューターやタブレット端末と接続します。
簡易アクセスポイント	本機を簡易アクセスポイントにして、コンピューターやタブレット端末と接続します。

- 複数のコンピューターやタブレット端末を同時に接続できます。  
フリーモード時は最大 16 台、管理モード時は最大 50 台です。
- 有線 LAN / 無線 LAN で接続中のコンピューターやタブレット端末のウェブブラウザを使って、本機の HTTP サーバーに接続し、本機を制御したりネットワーク設定をすることができます。
- 本機のネットワークサービスの設定を行うことにより、AMX ビーコン、HTTP サーバーのログオンパスワード、PJLink、アラートメール、CRESTRON などが利用できます。

## 7-2. MultiPresenter と接続する

準備：

- ・ 本機を有線 LAN に接続する場合は、LAN ケーブルを本機に接続してください。(📄115 ページ)
- ・ 本機を無線 LAN に接続する場合は、別売 (または添付) の無線 LAN ユニット (NP05LM) を本機に取り付けてください。(📄116 ページ)
- ・ 本機のネットワーク設定を行ってください。(📄121 ページ)
- ・ コンピューターやタブレット端末に MultiPresenter アプリをインストールしてください。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html>

ここでは、無線 LAN のプロファイル「インテリジェントコネクション」、「インフラストラクチャー」、および「簡易アクセスポイント」ごとに分けて手順を説明します。

### インテリジェントコネクションで接続する場合

#### 1 本機の電源を入れ、リモコンのLAN ボタンを押す。

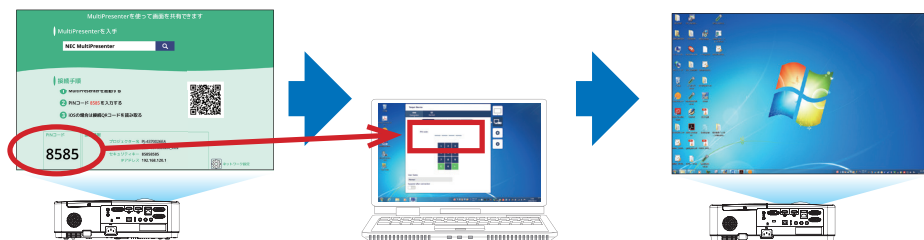
MultiPresenter のスタート画面が表示されます。

#### 2 MultiPresenter を起動する。

ターゲットデバイス画面が表示されます。

#### 3 スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードを、ターゲットデバイス画面に入力する。

本機との接続が完了すると、コンピューターやタブレット端末の画面がスクリーンに投写されます。



## インフラストラクチャーで接続する場合

- 1 本機の電源を入れ、リモコンのLAN ボタンを押す。  
MultiPresenter のスタート画面が表示されます。
- 2 本機とお使いのコンピューターやタブレット端末を同一のネットワークに接続する。



● 接続するネットワークの「接続情報」はネットワーク管理者に確認してください。


- 3 MultiPresenter を起動する。  
ターゲットデバイス画面が表示されます。
- 4 スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードをターゲットデバイス画面に入力する。  
本機との接続が完了すると、コンピューターやタブレット端末の画面がスクリーンに投写されます。

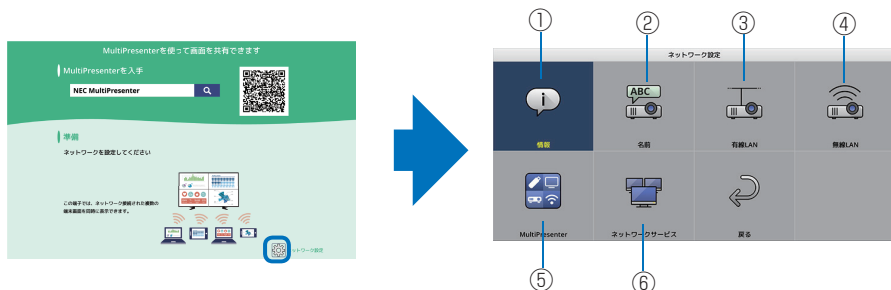
## 簡易アクセスポイントで接続する場合

- 1 本機の電源を入れ、リモコンのLAN ボタンを押す。  
MultiPresenter のスタート画面が表示されます。
- 2 スタート画面に表示されている「SSID」と一致するアクセスポイントにコンピューターやタブレット端末を接続する。
- 3 MultiPresenter を起動する。  
ターゲットデバイス画面が表示されます。
- 4 スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードをターゲットデバイス画面に入力する。  
本機との接続が完了すると、コンピューターやタブレット端末の画面がスクリーンに投写されます。



## 7-3. ネットワーク設定

スタート画面の右下にある「 ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押すと、ネットワーク設定画面が表示されます。



### ① 情報

本機の有線 LAN および無線 LAN に関する情報を表示します。

- ・ ネットワーク設定画面に戻るときは、戻るボタンを押します。

### ② 名前

プロジェクト名およびホスト名を設定します。

項目名	説明
プロジェクト名	プロジェクト名を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 初期値：「PJ-XXXXXXXX」</li><li>・ 初期値「PJ-XXXXXXXX」は「PJ-」 + 「製造番号」を表します。</li><li>・ 入力可能文字：半角英数記号（スペース含む）</li><li>・ 文字数：1 ～ 16 文字</li></ul>
ホスト名	ホスト名を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 初期値：「pj-xxxxxxxx」</li><li>・ 初期値「pj-xxxxxxxx」は「pj-」 + 「製造番号」を表します</li><li>・ 入力可能文字：半角英数字、「-」</li><li><b>注意</b> ● ホスト名の先頭・末尾には「-」を入力できません。</li><li>・ 文字数：1 ～ 16 文字</li></ul>

### ③ 有線LAN

有線 LAN のプロファイル、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSなどを設定します。

- ・有線 LAN を使用する場合は、プロファイルを「有効」にし、必要な設定を行います。
- ・有線 LAN を使用しない場合は、プロファイルを「無効」にします。
- ・設定が終了したら、「OK」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

### ④ 無線LAN

無線 LAN に関する設定を行います。

項目名	説明
プロファイル	無線 LAN のプロファイルは次の 4 つがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・無効（初期値）</li><li>・インテリジェントコネクション</li><li>・簡易アクセスポイント</li><li>・インフラストラクチャー</li></ul> 無線 LAN を使用しない場合は、プロファイルを「無効」にします。その他の 3 つのプロファイルは各々設定項目が異なります。以降で説明します。

#### ●無効

本機の無線 LAN を無効にします。

#### ●インテリジェントコネクション

インフラストラクチャーや簡易アクセスポイントで接続する場合に比べて、コンピューターやタブレット端末にインストールした MultiPresenter との接続が簡単に行えます。

項目名	説明
プロファイル	インテリジェントコネクション
無線モード	無線モード（IEEE802.11b/g/n または IEEE802.11a/n）を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初期値：IEEE802.11b/g/n</li></ul>
チャンネル	無線チャンネルを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初期値：自動</li></ul>
セキュリティの種類	セキュリティの種類（無効または WPA2-PSK）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初期値：無効</li></ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><b>注意</b> ● MultiPresenter 設定の PIN の種類がワンタイムのときは、セキュリティは自動で適用されるため、セキュリティの種類は指定できません。</div>

次ページに続く

項目名	説明
セキュリティキー	<p>暗号化のキーを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値：空欄</li> <li>入力可能文字：半角英数記号（スペース含む）</li> <li>文字数：8 ～ 63 文字</li> </ul> <p>セキュリティキーが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。</p> <p><b>注意</b> ● MultiPresenter 設定の PIN の種類がワンタイムのときは、セキュリティキーは自動で設定されるため、セキュリティキーの設定はできません。</p>

## ●簡易アクセスポイント

本機を簡易アクセスポイントにして、コンピューターやタブレット端末と接続します。

項目名	説明
プロファイル	簡易アクセスポイント
無線モード	<p>無線モード（IEEE802.11b/g/n または IEEE802.11a/n）を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値：IEEE802.11b/g/n</li> </ul>
チャンネル	<p>無線チャンネルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値：自動</li> </ul>
SSID	<p>SSID を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値：「AP-XXXXXXXXXX」</li> <li>初期値「AP-XXXXXXXXXX」は「AP-」 + 「製造番号」を表します。</li> <li>入力可能文字：半角英数記号（スペース含む）</li> <li>文字数：1 ～ 32 文字</li> </ul>
セキュリティの種類	<p>セキュリティの種類（無効または WPA2-PSK）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値：無効</li> </ul>
セキュリティキー	<p>暗号化のキーを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値：空欄</li> <li>入力可能文字：半角英数記号（スペース含む）</li> <li>文字数：8 ～ 63 文字</li> </ul> <p>セキュリティキーが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。</p>

## ●インフラストラクチャー

本機を既存のアクセスポイントに接続します。

項目名	説明
プロファイル	インフラストラクチャー
DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動DNS、DNS アドレス	DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動DNS、DNS アドレスを設定します。
サイトサーベイ	サイトサーベイを実行し、アクセスポイントを検索します。選択したアクセスポイントに応じて SSID とセキュリティの種類が設定されます。
SSID	SSID を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初期値：NECPJ</li><li>・入力可能文字：半角英数記号（スペース含む）</li><li>・文字数：1～32 文字</li></ul>
セキュリティの種類	セキュリティの種類（無効、WPA2-PSK、または WPA/WPA2-PSK）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初期値：無効</li></ul>
セキュリティキー	暗号化のキーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初期値：空欄</li><li>・入力可能文字：半角英数記号（スペース含む）</li><li>・文字数：8～63 文字</li></ul> セキュリティキーが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。

## ⑤ MultiPresenter

MultiPresenter の動作を設定します。

項目名	説明
モード	フリーモードまたは管理モードを選択します。 管理モードにすると、Multipresenter の画面を投写中に、本機のリモコンの決定ボタンを押して、画面の分割パターンを変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初期値：フリー</li></ul> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"><b>注意</b></div> ●モードの設定は、すべての接続が切れたときに適用されます。

次ページに続く

項目名	説明
PIN の種類	ワンタイムまたは固定を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：ワンタイム</li> <li>・ ワンタイムは PIN コードを自動生成しますので、次の項目の「PIN コード」は入力できません。</li> <li>・ 固定は任意の PIN コードを入力します。</li> </ul>
PIN コード	固定の PIN コードを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：4 桁の乱数字</li> <li>・ 入力可能文字：半角数字</li> <li>・ 文字数：4 文字 (0000 ~ 9999)</li> </ul>
PIN コードを接続パスワードとして使用する	PIN コードをパスワードとして使用しない (オフ)、または PIN コードをパスワードとして使用する (オン) を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：オン</li> </ul>
通信速度制限	MultiPresenter が伝送に使用する通信速度の上限を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：無効</li> </ul>
スタート画面	
アプリ入手	スタート画面の MultiPresenter 入手の表示をするかしないかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：オン (表示する)</li> </ul>
接続手順	スタート画面の接続手順の表示をするかしないかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：オン (表示する)</li> </ul>
接続情報	スタート画面の接続情報の表示をするかしないかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：オン (表示する)</li> </ul>
MultiPresenter 画面	
接続情報	MultiPresenter 接続中の画面に接続情報の表示をするかしないかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期値：オン (表示する)</li> </ul>

## ⑥ ネットワークサービス

AMX ビーコン、HTTP サーバー、PJLink、アラートメール、CRESTRON などの設定を行います。

項目名	説明
AMX ビーコン	AMX のビーコンを送信するかしないかを選択します。 ・ 初期値：オフ（送信しない）
HTTP サーバー	本機の HTTP サーバーへログオンするパスワードを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字記号 ・ 文字数：0 ～ 10 文字 パスワードが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。
PJLink	PJLink のパスワードを設定します。
	パスワード設定 PJLink のパスワードを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字 ・ 文字数：0 ～ 32 文字 パスワードが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。
アラートメール	アラートメールの設定をし送信テストを行います。
	メール通知 本機にアラート対象の事象が生じたときにアラートメールを送信するかしないかを選択します。 ・ 初期値：オフ（送信しない）
	差出人アドレス 本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字、記号 ・ 文字数：0 ～ 60 文字
	SMTP サーバー 名 本機が接続するネットワークの SMTP サーバーを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字、記号 ・ 文字数：0 ～ 60 文字
	宛先アドレス 1/2/3 本機から E メールを送信する宛先アドレスを設定します（最大 3 つ）。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字、記号 ・ 文字数：0 ～ 60 文字
	送信テスト 設定に従ってテストメールを送信します。

次ページに続く

項目名	説明	
CRESTRON	CRESTRON の機能を設定します。	
	Crestron Room View	
	Crestron Room View	Crestron Room View を使用するかどうかを選択します。 ・ 初期値：オフ（使用しない）
	Crestron Control	
	Crestron Control	Crestron Control を使用するかどうかを選択します。 ・ 初期値：オフ（使用しない）
	IP アドレス	Crestron Control の IP アドレスを設定します。 ・ 初期値：192.168.0.100 ・ 入力可能文字：半角英数、ピリオド ・ 文字数：7 ～ 15 文字
IP ID	Crestron Control の IP ID を設定します。 ・ 初期値：5 ・ 入力可能文字：半角英数 ・ 入力文字範囲：3 ～ 65535 ・ 文字数：1 ～ 5 文字	

## 7-4. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

### 概要

HTTP サーバー機能では次の設定や操作が行えます。

- (1) 本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。  
無線 LAN を利用する場合は、あらかじめ別売の無線 LAN ユニットをお買い求めのうえ、本機に装着してください。（[116 ページ](#)）  
有線 LAN / 無線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続してください。（[115 ページ](#)）
- (2) メール通知の設定を行います（アラートメール）。  
本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続しているときに、ランプの交換時期や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- (3) 本機の操作を行います。  
本機の電源のオン/オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。
- (4) PJLink PASSWORD や AMX BEACON、HTTP サーバー、アラートメール、CRESTRON などの設定を行います。

### HTTP サーバー機能へアクセスするには

本機とネットワークで接続されたコンピューターでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http://〈本機の IP アドレス〉/index.html` と指定してください。

#### 参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

#### 注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。



## 使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(📄 115 ページ)

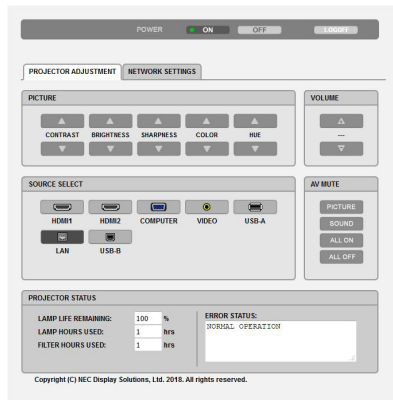
プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

## ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い





ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。
  
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。

## プロジェクター調整



次ページに続く

<b>POWER</b>	本機の電源をオン/オフします。 ON 電源をオンにします。 OFF 電源をオフにします。
<b>VOLUME</b>	本機の音量をコントロールします。 ▲ 音量調整値をアップします。 ▼ 音量調整値をダウンします。
<b>AV-MUTE</b>	本機の MUTE をコントロールします。 PICTURE  映像をミュート（一時的に消去）します。 PICTURE  映像ミュートを解除します。 SOUND  音声をミュート（一時的に消去）します。 SOUND  音声ミュートを解除します。 ALL ON 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。 ALL OFF 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。
<b>PICTURE</b>	本機の映像調整をコントロールします。 CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。 CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。 BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。 BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。 SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。 SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。 COLOR ▲ カラーの調整値をアップします。 COLOR ▼ カラーの調整値をダウンします。 HUE ▲ 色相の調整値をアップします。 HUE ▼ 色相の調整値をダウンします。 ※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「コントラスト/明るさ/シャープネス/カラー/色相」( <a href="#">82 ページ</a> ) をご覧ください。
<b>SOURCE SELECT</b>	本機の入力端子を切り替えます。 HDMI1 HDMI1 入力端子に切り替えます。 HDMI2 HDMI2 入力端子に切り替えます。 COMPUTER コンピューター映像入力端子に切り替えます。 VIDEO ビデオ映像入力端子に切り替えます。 USB-A 本機にセットした USB メモリーのデータ表示に切り替えます。 LAN ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。 USB-B USB ディスプレイから送られてくるデータ表示に切り替えます。
<b>PROJECTOR STATUS</b>	本機の状態を表示します。 LAMP LIFE REMAINING ランプの残り使用時間を%表示します。 LAMP HOURS USED ランプの使用時間を表示します。 FILTER HOURS USED フィルターの使用時間を表示します。 ERROR STATUS 本機内部のエラー発生状況を表示します。
<b>LOG OFF</b>	ログオフして認証画面（ログオン画面）に戻ります。

## ネットワーク設定

ネットワーク設定の各項目については、「7-3. ネットワーク設定」( [121 ページ](#) )  
をご覧ください。

The screenshot shows the projector's settings interface. At the top, there is a status bar with 'POWER ON', '07', and 'TEMPERATURE'. Below this are two tabs: 'PROJECTOR ADJUSTMENT' and 'NETWORK SETTINGS'. Under 'NETWORK SETTINGS', there are sub-tabs: 'SETTINGS', 'NAME', 'ALERT MAIL', 'NETWORK SERVICE', 'CRESTRON', and 'INFORMATION'. The 'SETTINGS' sub-tab is active, showing three sections: 'PIN', 'WIRED LAN', and 'WIRELESS LAN'.  
- The 'PIN' section has 'PIN TYPE' set to 'ONE-TIME', 'PIN CODE' set to '9459', and an unchecked checkbox for 'UTILIZE PIN CODE AS PASSWORD FOR CONNECTING WITH MultiPresenter'. An 'APPLY' button is at the bottom right.  
- The 'WIRED LAN' section has 'ENABLE' selected with a radio button. A 'SETTINGS' button is in the middle, and an 'APPLY' button is at the bottom right.  
- The 'WIRELESS LAN' section has 'DISABLE' selected with a radio button. Three other options are listed: 'INFRASTRUCTURE', 'SIMPLE ACCESS POINT', and 'INTELLIGENT CONNECTION', each with a 'SETTINGS' button to its right. An 'APPLY' button is at the bottom right.  
At the bottom of the screen, it says 'Copyright (C) NEC Display Solutions, Ltd. 2018. All rights reserved.'

## 8. 本体のお手入れ／ランプの交換

### 8-1. フィルターの清掃

吸気口のフィルターはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。



**警告**

フィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

**参考**

● フィルター清掃時期の表示について

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルターを清掃してください。

・ 設置する環境に合わせて、フィルター清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューの「フィルターメッセージ」(▶93 ページ)をご覧ください。

・ フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本機の $\odot$ ボタンまたはリモコンの電源(スタンバイ)ボタンを押したときに表示されます。

・ 「フィルター清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

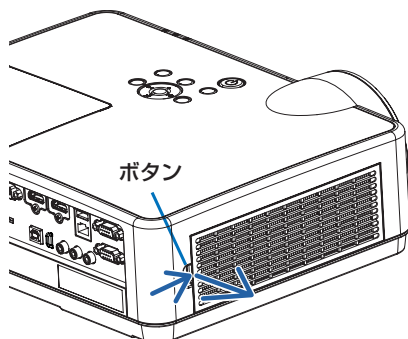
フィルターの清掃はフィルターユニットおよびフィルターカバーを取り外して清掃します。



**注意**

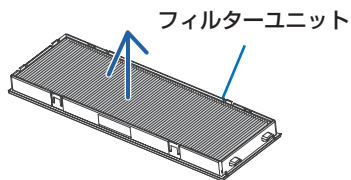
フィルターの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

- 1** ボタンを右側に押して、手前にフィルターユニットを引いて外す。



## 2 フィルターを取り外す。

フィルタをフィルタカバーから取り外してください。

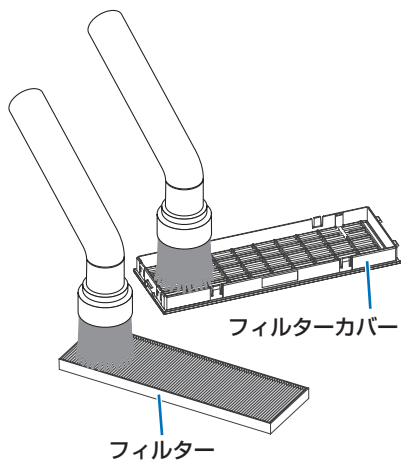


## 3 フィルターおよびフィルターカバーのほこりを取り去る。

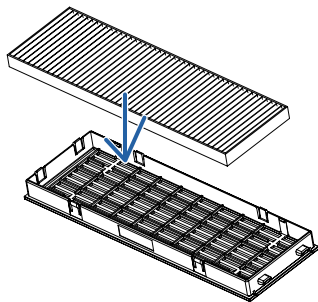
表側と裏側を清掃してください。

**注意**

- フィルターの清掃はブラシ付きアダプターを使用してください。アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目詰まりの原因となります。



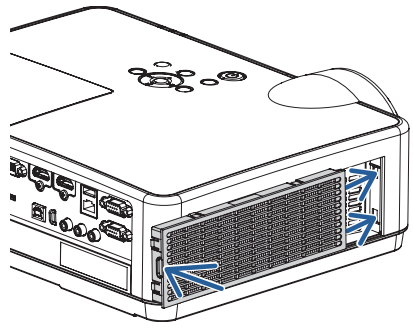
## 4 フィルターカバーにフィルターを取り付ける。



## 5 フィルターユニットを本体に取り付ける。

フィルターユニットの先端にあるツメ2箇所を本体のミゾに入れ、ボタンを押して閉めます。

- ・「カチッ」と音がしてフィルターユニットが固定されます。



## 6 フィルター使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

オンスクリーンメニューのリセットの「フィルター時間クリア」を選択してください。

(▶106 ページ)

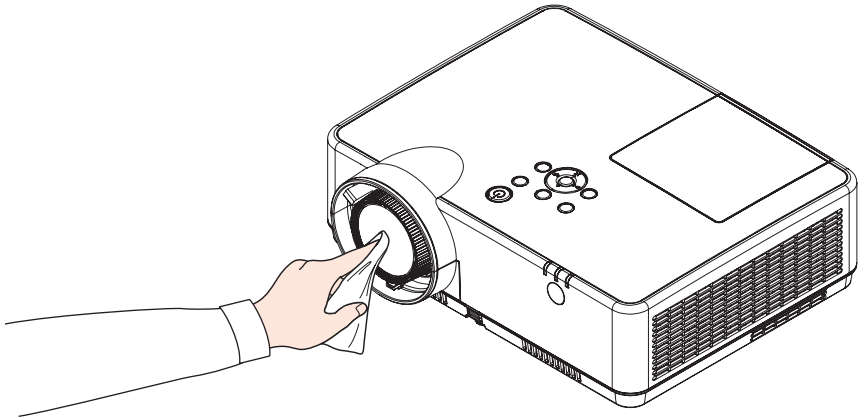
## 8-2. レンズの清掃

本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、プラスチックレンズ手拭専用洗浄液（オリンパス製 EE-3310 または EE-3320）を使用して汚れをふき取ってください。

オリンパス製 EE-3310 または EE-3320 は、カメラ販売店等でお買い求めください。



レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

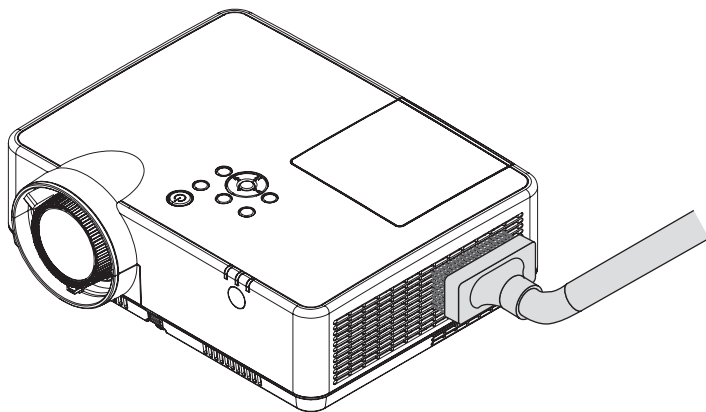


- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

## 8-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。  
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

### 注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。  
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。



## 8-4. ランプとフィルターの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）\*1（🔗 105 ページ）を超えるとランプインジケータがオレンジ色で点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます\*2。この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）\*1 が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報（使用時間）」（🔗 104 ページ）をご覧ください。

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターでお求めください。ご注文の際は交換用ランプ型名 NP47LP をご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルターが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルターも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。

また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。

- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）\*1 に到達後 100 時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点滅するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※ 1 保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合があります。

※ 2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間、および本機の Ⓞ ボタンまたはリモコンの電源（スタンバイ）ボタンを押したときに表示されます。  
電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。



**注意**

ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

## ランプとフィルター交換の流れ

### ステップ 1

ランプを交換する (このページ)

### ステップ 2

フィルターを交換する (141 ページ)

### ステップ 3

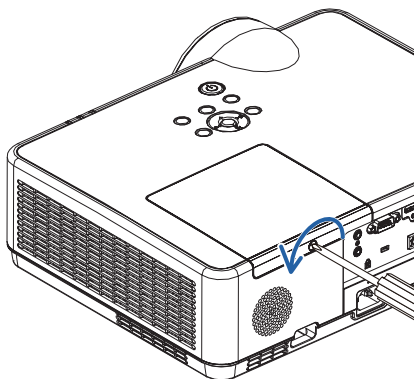
ランプ使用時間とフィルター使用時間をクリアする (142 ページ)

## ランプを交換する

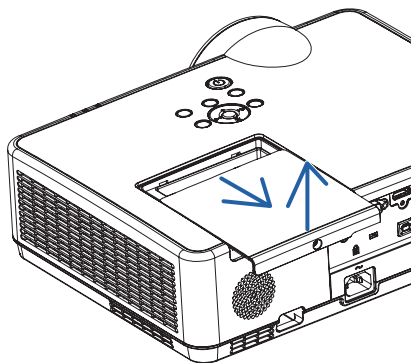
準備：プラスドライバーを用意してください。

### 1 ランプカバーを外す。

- 1 ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
  - ・ネジは外れません。

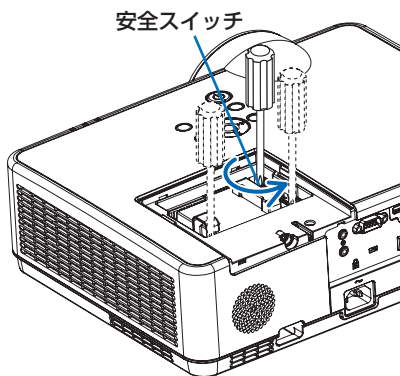


- 2 ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外す。




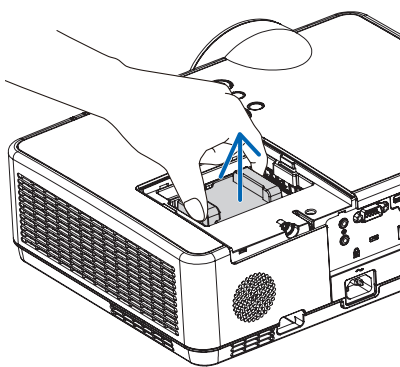
## 2 ランプを外す。

- 1 ランプ固定のネジ (3箇所) を左に空転するまでゆるめる。
  - ・ネジは外れません。
  - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。



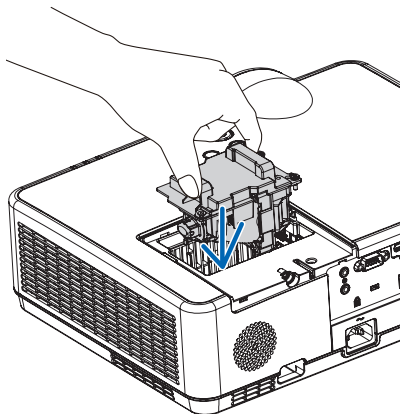
- 2 ランプのつまみを指で挟んで持ち上げる。

 <b>注意</b>	高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。
---	--



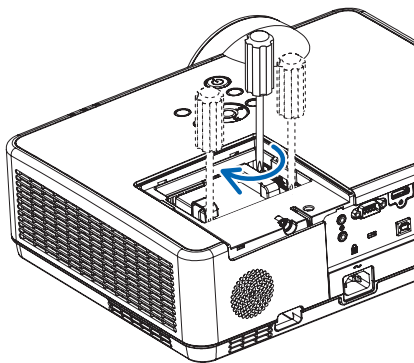
## 3 新しいランプを取り付ける。

- 1 ランプを静かに入れる。
  - ・奥まで押し込んでください。
- 2 ランプの中央部分を押し、ランプのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。



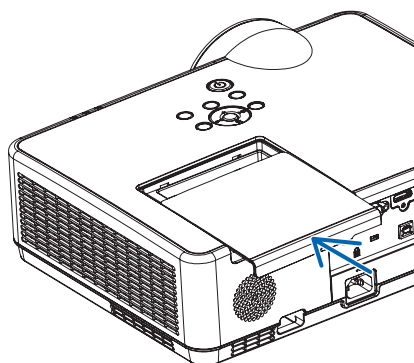
**3** ランプ固定のネジ (3箇所) を右に回してしめる。

- ネジは確実にしめてください。



**4** ランプカバーを取り付ける。

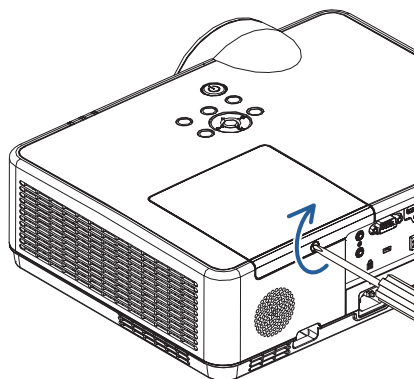
**1** ランプカバーをスライドさせて取り付ける。



**2** ランプカバーネジを右に回してしめる。

- ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。  
続いてフィルターを交換してください。



**参考**

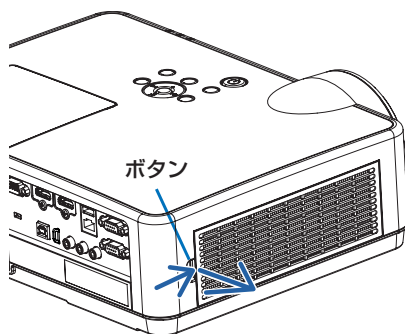
- ランプ交換時間 (目安) \* (🕒 105 ページ) に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(ヘルプ)ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。  
※保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合もあります。

## フィルターを交換する

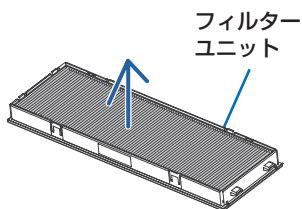
**注意**

- フィルターを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルターは水洗いしないでください。目詰まりの原因となります。
- 必ずフィルターを正しく取り付けてください。フィルターを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

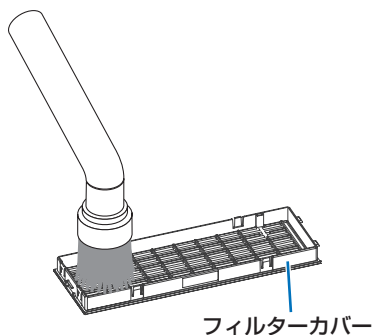
- 1** ボタンを右側に押し、手前にフィルターユニットを引いて外す。



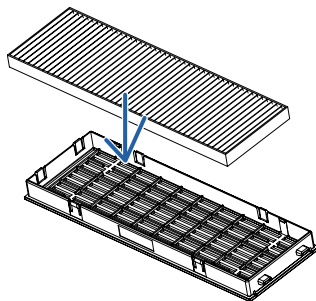
- 2** フィルターを取り外す。  
フィルタをフィルタカバーから取り外してください。



- 3** フィルターを交換する。  
**1** フィルターを外して、フィルターカバーを清掃する。



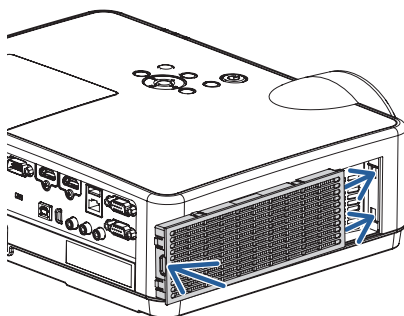
- ② 新しいフィルターを取り付ける。



**4** フィルターユニットを本体に取り付ける。

フィルターユニットの先端にあるツメ2箇所を本体のミゾに入れ、ボタンを押して閉めます。

- ・ 「カチッ」と音がしてフィルターユニットが固定されます。



これで、フィルター交換が終わりました。  
続いてランプ使用時間とフィルター使用時間をクリアしてください。

## ランプ使用時間とフィルター使用時間をクリアする

- 1** 本機を投写する場所に設置する。
- 2** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
- 3** ランプ使用時間やフィルター使用時間をクリアする。
  - ① オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を実行してください。(▶106 ページ)
  - ② 続いて「フィルター時間クリア」を実行してください。

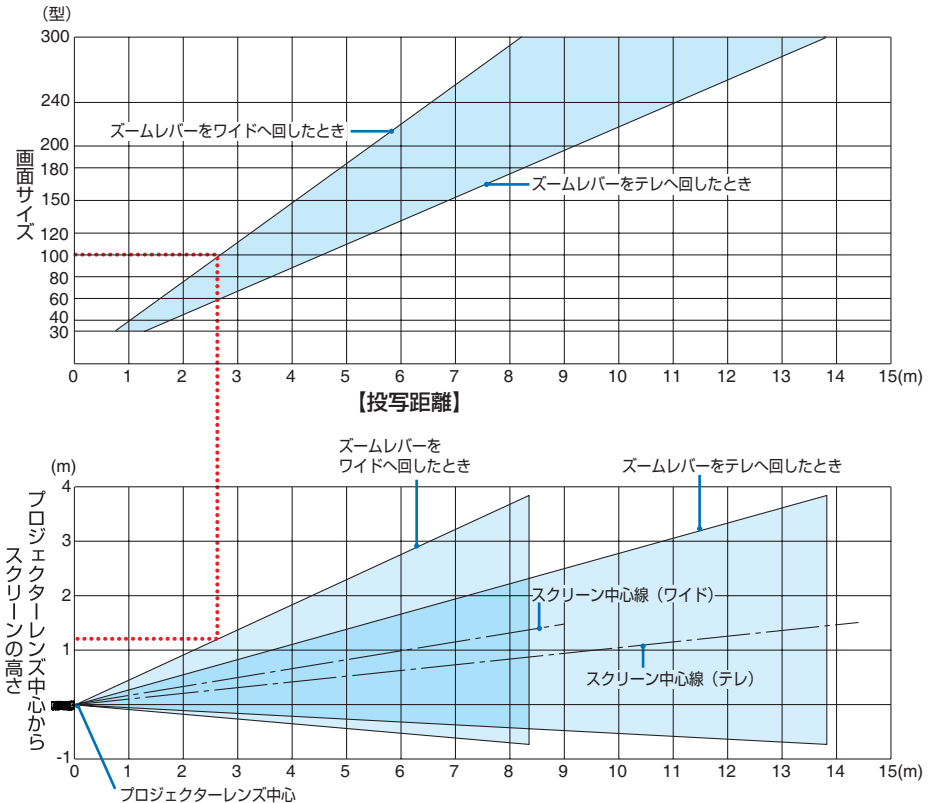
# 9. 付 録

## 本機とスクリーンの設定

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいか、また、目的の大きさに投影するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。対応する機種名の投影距離をご覧ください。

### 適応機種 NP-ME402XJL

フォーカス（焦点）の合う投影距離は、レンズ前面から 0.8m（30 型の場合）～ 13.8m（300 型の場合）です。ただし、30 型未満は、テレ側のみ対応しています。この範囲で設置してください。



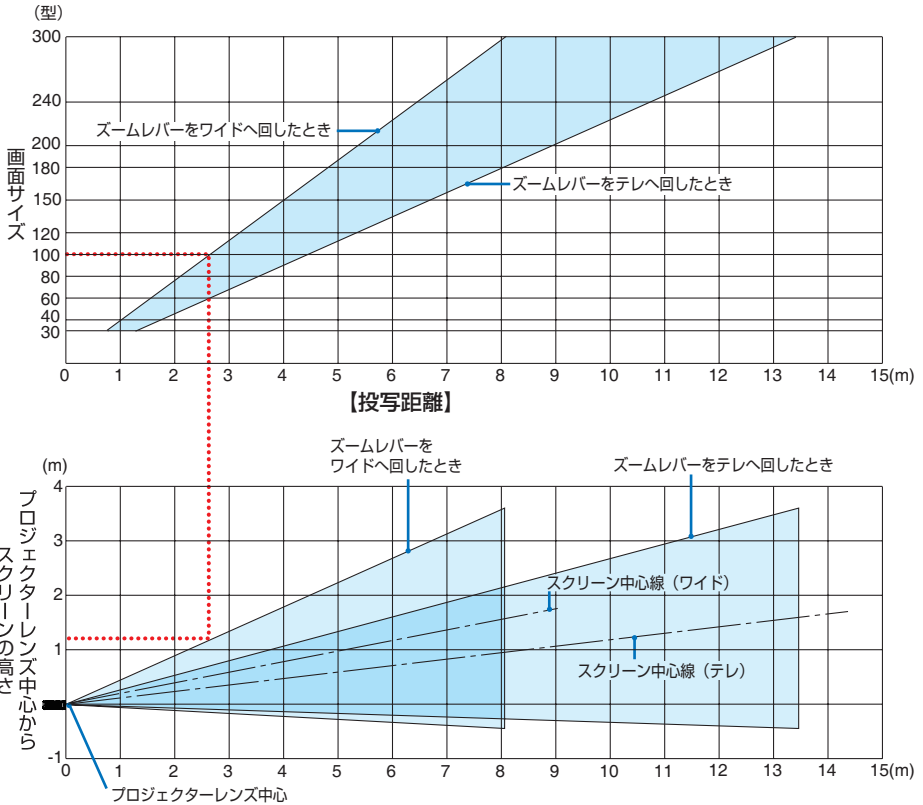
### 【表のみかた】

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投影するには表より、2.7m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.3m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投影範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

**適応機種 NP-ME372WJL**

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.8m（30 型の場合）～ 13.4m（300 型の場合）です。ただし、30 型未満は、テレ側のみ対応しています。この範囲で設置してください。



**【表のみかた】**

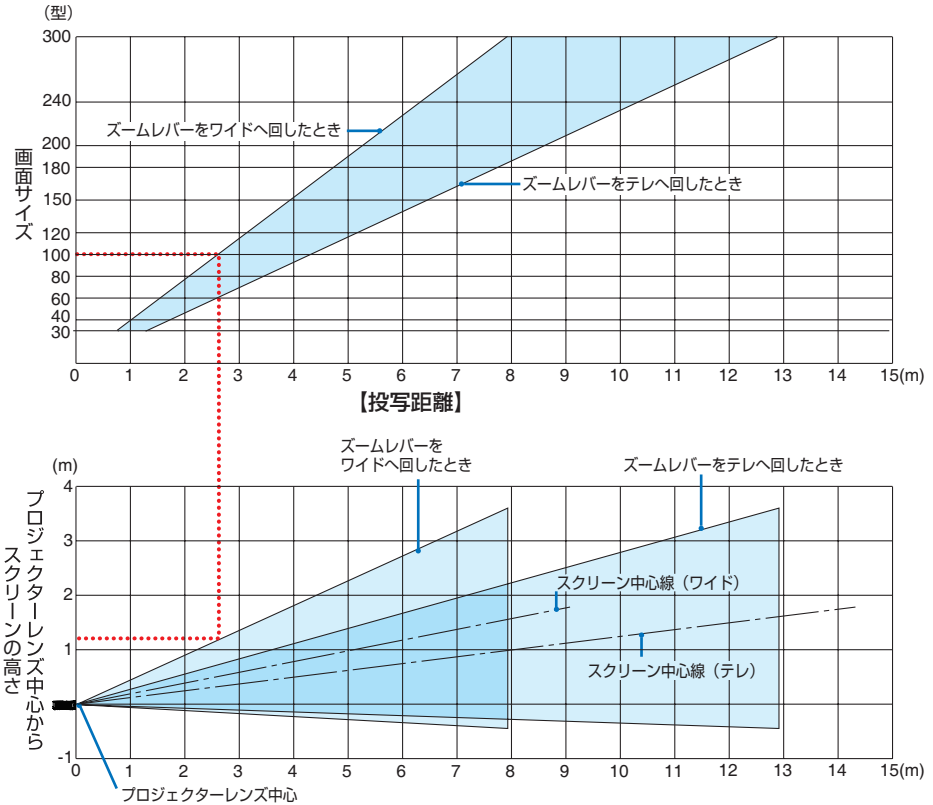
上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.7m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.2m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。



**適応機種 NP-ME382UJL**

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.8m（30 型の場合）～ 12.9m（300 型の場合）です。ただし、30 型未満は、テレ側のみ対応しています。この範囲で設置してください。



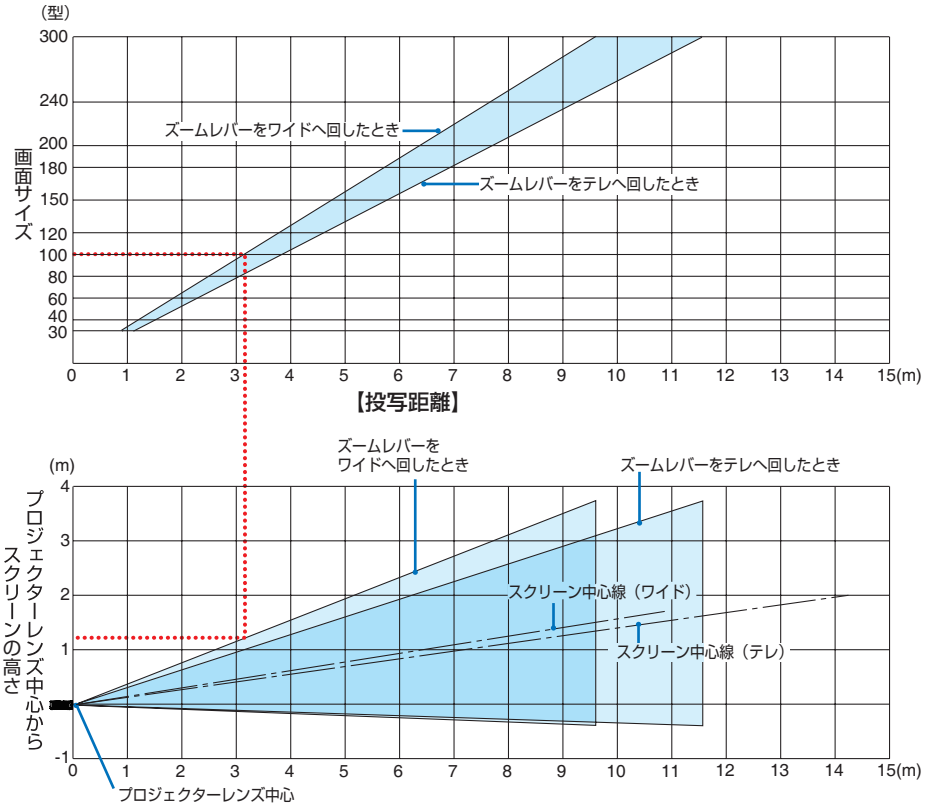
**【表のみかた】**

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.6m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.2m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

**適応機種 NP-MC332WJL**

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.0m（30 型の場合）～ 11.6m（300 型の場合）です。ただし、30 型未満は、テレ側のみ対応しています。この範囲で設置してください。



**【表のみかた】**

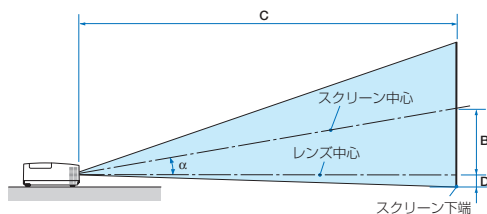
上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、3.2m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.3m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

## 投写距離とスクリーンサイズ

下図は本機とスクリーンの適当な位置を表します。表を参考した上、設置場所を確定できます。

距離図



B = レンズ中心からスクリーン中心までの  
垂直距離

C = 投射距離

D = レンズ中心からスクリーン下端までの  
垂直距離

α = 投射角度

**注意** 表の記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

### 対応機種 NP-ME402XJL

スクリーンサイズ						B		C				D		α			
対角	幅		高さ		ワイド			テレ		ワイド	テレ						
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	-	インチ	mm	インチ	mm	度	-	度		
30	762	24	610	18	457	6	157	31	778	-	52	1327	-3	-71	11.4	-	6.8
40	1016	32	813	24	610	8	210	42	1056	-	70	1788	-4	-95	11.2	-	6.7
60	1524	48	1219	36	914	12	314	63	1612	-	107	2710	-6	-143	11.0	-	6.6
80	2032	64	1626	48	1219	17	419	85	2168	-	143	3632	-8	-191	10.9	-	6.6
100	2540	80	2032	60	1524	21	524	107	2724	-	179	4554	-9	-238	10.9	-	6.6
120	3048	96	2438	72	1829	25	629	129	3280	-	216	5476	-11	-286	10.8	-	6.5
150	3810	120	3048	90	2286	31	786	162	4114	-	270	6859	-14	-357	10.8	-	6.5
180	4572	144	3658	108	2743	37	943	195	4948	-	324	8242	-17	-429	10.8	-	6.5
200	5080	160	4064	120	3048	41	1048	217	5504	-	361	9164	-19	-476	10.8	-	6.5
240	6096	192	4877	144	3658	50	1257	260	6616	-	433	11008	-23	-572	10.8	-	6.5
270	6858	216	5486	162	4115	56	1414	293	7450	-	488	12391	-25	-643	10.8	-	6.5
300	7620	240	6096	180	4572	62	1572	326	8284	-	542	13774	-28	-714	10.7	-	6.5

### 対応機種 NP-ME372WJL

スクリーンサイズ						B		C				D		α			
対角	幅		高さ		ワイド			テレ		ワイド	テレ						
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	-	インチ	mm	インチ	mm	度	-	度		
30	762	25	646	16	404	6	154	30	755	-	51	1291	-2	-48	11.5	-	6.8
40	1016	34	862	21	538	8	206	40	1025	-	69	1740	-3	-64	11.3	-	6.7
60	1524	51	1292	32	808	12	309	62	1565	-	104	2638	-4	-95	11.2	-	6.7
80	2032	68	1723	42	1077	16	411	83	2105	-	139	3536	-5	-127	11.1	-	6.6
100	2540	85	2154	53	1346	20	514	104	2645	-	175	4434	-6	-159	11.0	-	6.6
120	3048	102	2585	64	1615	24	617	125	3186	-	210	5332	-8	-191	11.0	-	6.6
150	3810	127	3231	79	2019	30	771	157	3996	-	263	6679	-9	-238	10.9	-	6.6
180	4572	153	3877	95	2423	36	926	189	4806	-	316	8025	-11	-286	10.9	-	6.6
200	5080	170	4308	106	2692	40	1028	210	5346	-	351	8923	-13	-318	10.9	-	6.6
240	6096	204	5169	127	3231	49	1234	253	6427	-	422	10719	-15	-381	10.9	-	6.6
270	6858	229	5816	143	3635	55	1388	285	7237	-	475	12066	-17	-429	10.9	-	6.6
300	7620	254	6462	159	4039	61	1543	317	8048	-	528	13413	-19	-477	10.8	-	6.6

● 適応機種 NP-MC332WJL

スクリーンサイズ					B		C				D		α				
対角		幅		高さ			ワイド		テレ				ワイド	テレ			
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	-	インチ	mm	インチ	mm	度	-	度		
30	762	25	635	16	406	7	174	38	955	-	45	1149	-1	-29	10.3	-	8.6
40	1016	34	864	21	533	9	229	50	1277	-	60	1536	-2	-38	10.2	-	8.5
60	1524	51	1295	32	813	14	348	76	1922	-	91	2311	-2	-58	10.2	-	8.5
80	2032	68	1727	42	1067	18	457	101	2567	-	121	3086	-3	-77	10.2	-	8.5
100	2540	85	2159	53	1346	23	577	126	3211	-	152	3860	-4	-96	10.2	-	8.5
120	3048	102	2591	64	1626	27	697	152	3856	-	182	4635	-5	-115	10.2	-	8.5
150	3810	127	3226	79	2007	34	860	190	4823	-	228	5797	-6	-144	10.2	-	8.5
180	4572	153	3886	95	2413	41	1035	228	5790	-	274	6959	-7	-173	10.2	-	8.5
200	5080	170	4318	106	2692	45	1154	253	6435	-	304	7733	-8	-192	10.2	-	8.5
240	6096	204	5182	127	3226	54	1383	304	7725	-	365	9283	-9	-230	10.2	-	8.5
270	6858	229	5817	143	3632	61	1557	342	8692	-	411	10445	-10	-259	10.2	-	8.5
300	7620	254	6452	159	4039	68	1732	380	9659	-	457	11607	-11	-288	10.2	-	8.5

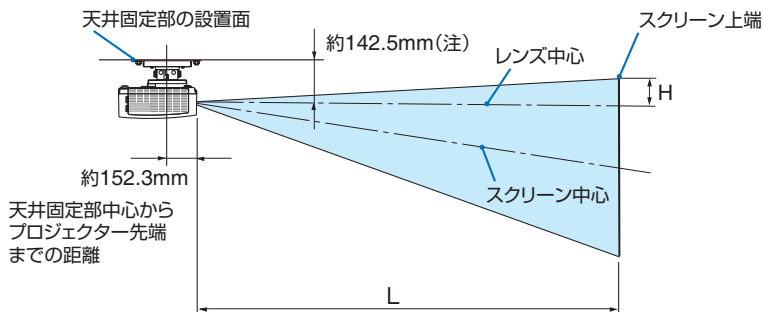
● 適応機種 NP-ME382UJL

スクリーンサイズ					B		C				D		α				
対角		幅		高さ			ワイド		テレ				ワイド	テレ			
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	-	インチ	mm	インチ	mm	度	-	度		
30	762	25	646	16	404	6	154	29	745	-	49	1240	-2	-48	11.7	-	7.1
40	1016	34	862	21	538	8	206	40	1012	-	66	1670	-3	-64	11.5	-	7.0
60	1524	51	1292	32	808	12	309	61	1545	-	100	2532	-4	-95	11.3	-	6.9
80	2032	68	1723	42	1077	16	411	82	2079	-	134	3393	-5	-127	11.2	-	6.9
100	2540	85	2154	53	1346	20	514	103	2612	-	167	4254	-6	-159	11.1	-	6.9
120	3048	102	2585	64	1615	24	617	124	3145	-	201	5115	-8	-191	11.1	-	6.9
150	3810	127	3231	79	2019	30	771	155	3945	-	252	6407	-9	-238	11.1	-	6.9
180	4572	153	3877	95	2423	36	926	187	4745	-	303	7699	-11	-286	11.0	-	6.9
200	5080	170	4308	106	2692	40	1028	208	5278	-	337	8560	-13	-318	11.0	-	6.9
240	6096	204	5169	127	3231	49	1234	250	6345	-	405	10283	-15	-381	11.0	-	6.8
270	6858	229	5816	143	3635	55	1388	281	7145	-	456	11575	-17	-429	11.0	-	6.8
300	7620	254	6462	159	4039	61	1543	313	7945	-	507	12867	-19	-477	11.0	-	6.8

参考

- 天井吊り金具（別売）設置時の投写距離について  
 投写距離（L）、寸法（H）はデスクトップと同じです。  
 天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は 155 ページをご覧ください。

（注）天井固定部設置面からレンズ中心までの高さ  
 （プロジェクター取り付けアダプタの上下角度調整0°のとき）



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

# 対応解像度一覧

## アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768 <sup>*1</sup>	4 : 3	60/70/75/85/iMac
WXGA	1280 × 768 <sup>*2</sup>	15 : 9	60
	1280 × 800 <sup>*2</sup>	16 : 10	60
	1360 × 768 <sup>*3</sup>	16 : 9	60
	1366 × 768 <sup>*3</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900 <sup>*3</sup>	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 <sup>*4</sup>	4 : 3	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 <sup>*5*6</sup>	16 : 10	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

## HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768 <sup>*1</sup>	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768 <sup>*2</sup>	15 : 9	60
	1280 × 800 <sup>*2</sup>	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 <sup>7</sup>
4K	3840 × 2160	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポジット ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

\*1: NP-ME402XJL はリアル表示

\*2: NP-ME372WJL/NP-MC332WJL はリアル表示

\*3: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16:9」に設定してください。

\*4: WXGA モードオフ時。

\*5: WXGA モードオン時。

\*6: NP-ME382UJL はリアル表示

\*7: RB (リデュースドブランキング信号) は 154MHz までです。

- 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。
- コンピューター信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

# 仕様

型名		NP-ME382UJL	NP-ME372WJL	NP-MC332WJL	NP-ME402XJL	
方式		三原色液晶シャッター投射方式				
主要 部 品 仕 様	液晶パネル	サイズ	0.64 型 MLA 付き (アスペクト比 16:10)	0.59 型 MLA 付き (アスペクト比 16:10)	0.63 型 MLA 付き (アスペクト比 4:3)	
		画素数 <sup>(*)</sup>	2,304,000 画素 (1920 ドット × 1200 ライン)	1,024,000 画素 (1280 ドット × 800 ライン)	786,432 画素 (1024 ドット × 768 ライン)	
	投写レンズ		ズーム比率=1.6 F=1.5 ~ 2.1/ f=17.2~27.7mm	ズーム比率=1.7 F=1.7~2.2/ f=17.4~29.0mm	ズーム比率=1.2 F=1.6~1.8/ f=19.2~23.0mm	ズーム比率=1.7 F=1.7~2.2/ f=17.4~29.0mm
		ズーム	マニュアル			
		フォーカス	マニュアル			
	ランプ	エコオフ	225W			
		エコ1	180W			
		エコ2	151W			
	光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式				
	明るさ <sup>(2)(3)</sup>		3800 lm	3700 lm	3300 lm	4000 lm
	エコ1	80%				
	エコ2	67%				
コントラスト比 <sup>(2)</sup> (全白/全黒)		16000 : 1				
画面サイズ (投写距離)		30-300 型				
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) <sup>(4)</sup>				
音声出力		1 × 16 W モノラルスピーカ内臓				
走査周波数	水平	15 kHz ~ 100 kHz (RGB 入力は 24 kHz 以上)				
	垂直	50 Hz ~ 120 Hz				
主な調整機能		自動台形補正、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替 (HDMI1/HDMI2/ コンピューター/ビデオ /USB-A/USB-B/LAN)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像 / 音声とも)、電源オン / オフ、オンスクリーン表示 / 選択など				
最大表示解像度 (横×縦)		アナログ : 1920 × 1200 (アドバンスド・アキュブレンドによる対応) デジタル : 3840 × 2160 (アドバンスド・アキュブレンドによる対応)				
入 力 信 号	R,G,B,H,V	RGB: 0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync: 4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性				
	コンポジットビデオ	1.0Vp-p / 75 Ω				
	コンポーネント	Y: 1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) : 0.7Vp-p / 75 Ω				
		DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (50/60Hz) , 576i, 576p, 720p, 1080i (50Hz)				
	DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)					
	音声	0.5Vrms / 22kΩ 以上				

型名		NP-ME382UJL	NP-ME372WJL	NP-MC332WJL	NP-ME402XJL
入出力端子	コンピューター/コンポネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1		
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1		
		音声入力	ステレオミニジャック× 1		
		音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)		
	HDMI	映像音声入出	HDMI <sup>®</sup> コネクタタイプ A (19 ピン) × 2, HDCP 対応 <sup>(*)5</sup>		
	ビデオ	映像入力	RCA × 1		
		音声入力	RCA (RCA L/R) × 1		
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン× 1		
	USB ポート	USB タイプ A × 1, USB タイプ B × 1			
	LAN ポート	RJ-45 × 1, 10BASE-T/100 BASE-TX			
使用環境	動作温度: 5 ~ 40℃ <sup>(*)6</sup> 動作湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度: 0 ~ 3000m (1700 ~ 3000m はファンモード「高地」) 保存温度: -10 ~ 50℃ 保存湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)				
電源	AC 100V, 50/60Hz <sup>(*)7</sup>				
消費電力	エコモードオフ	295W	288W		
	エコモード 1	238W	229W		
	エコモード 2	207W	196W		
	ネットワークスタンバイ	1.5W			
	ノーマル	0.18W			
定格入力電流	3.4A		3.3A		
外形寸法	345 (幅) × 113.5 (高) × 284.5 (奥行) mm (突起部を含む)		345 (幅) × 108.4 (高) × 261 (奥行) mm (突起部を含む)		
	345 (幅) × 104.6 (高) × 261 (奥行) mm (突起部含まず)		345 (幅) × 104.6 (高) × 261 (奥行) mm (突起部含まず)		
質量	3.5kg		3.2kg	3.1kg	3.2kg

(\*)1: 有効画素数は 99.99% です。

(\*)2: 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(\*)3: エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。  
エコ 1 モードにすると明るさは約 80%、エコ 2 モードにすると明るさが約 67% に低下します。  
また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(\*)4: 入力端子で、USB-A、LAN を選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(\*)5: HDCP/HDCP 技術とは?

HDCP とは “High-bandwidth Digital Content Protection” の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 入力端子を装備しています。

本機の HDMI 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像: DeepColor (ディーブカラー: 色深度): 8/10/12 ビット、LipSync

音声: LPCM; チャンネル数; 2ch、サンプリング周波数: 32/44.1/48kHz、サンプリングビット: 16/20/24 ビット

(\*)6: 35 ~ 40℃ は「強制エコモード」になります。

(\*)7: 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

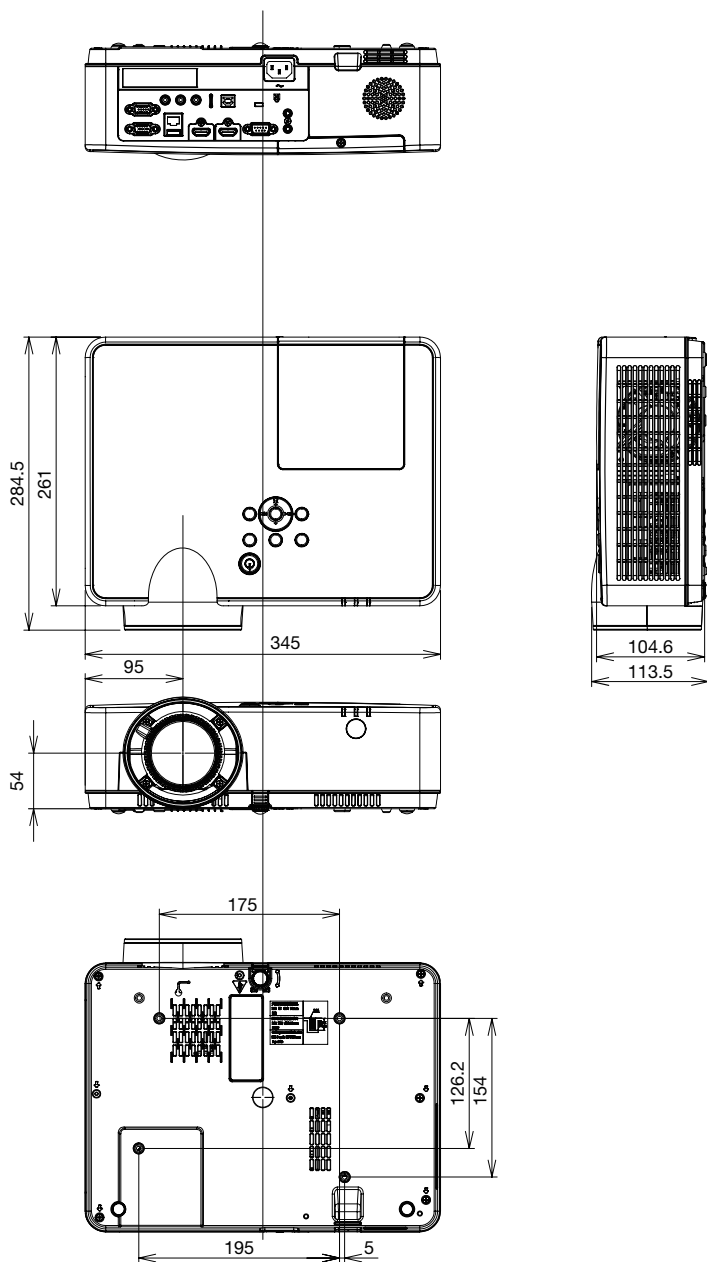
・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。



# 外觀圖

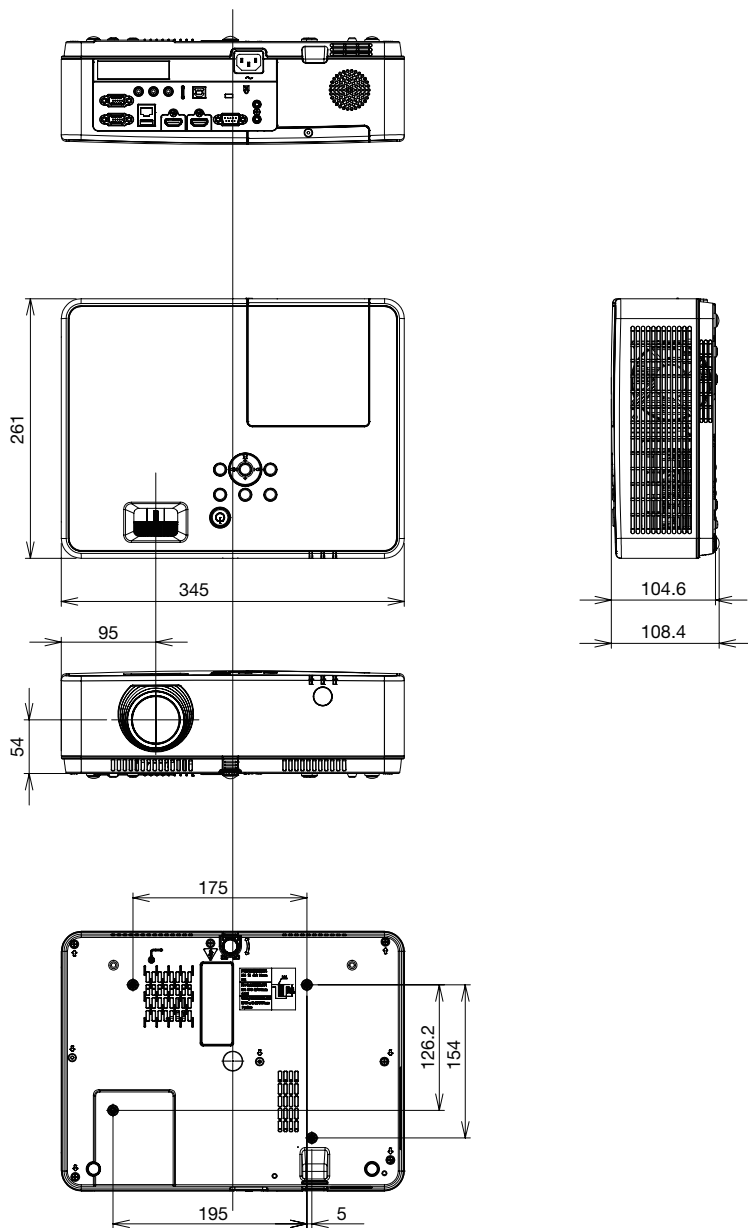
單位：mm

[NP-ME382UJL]



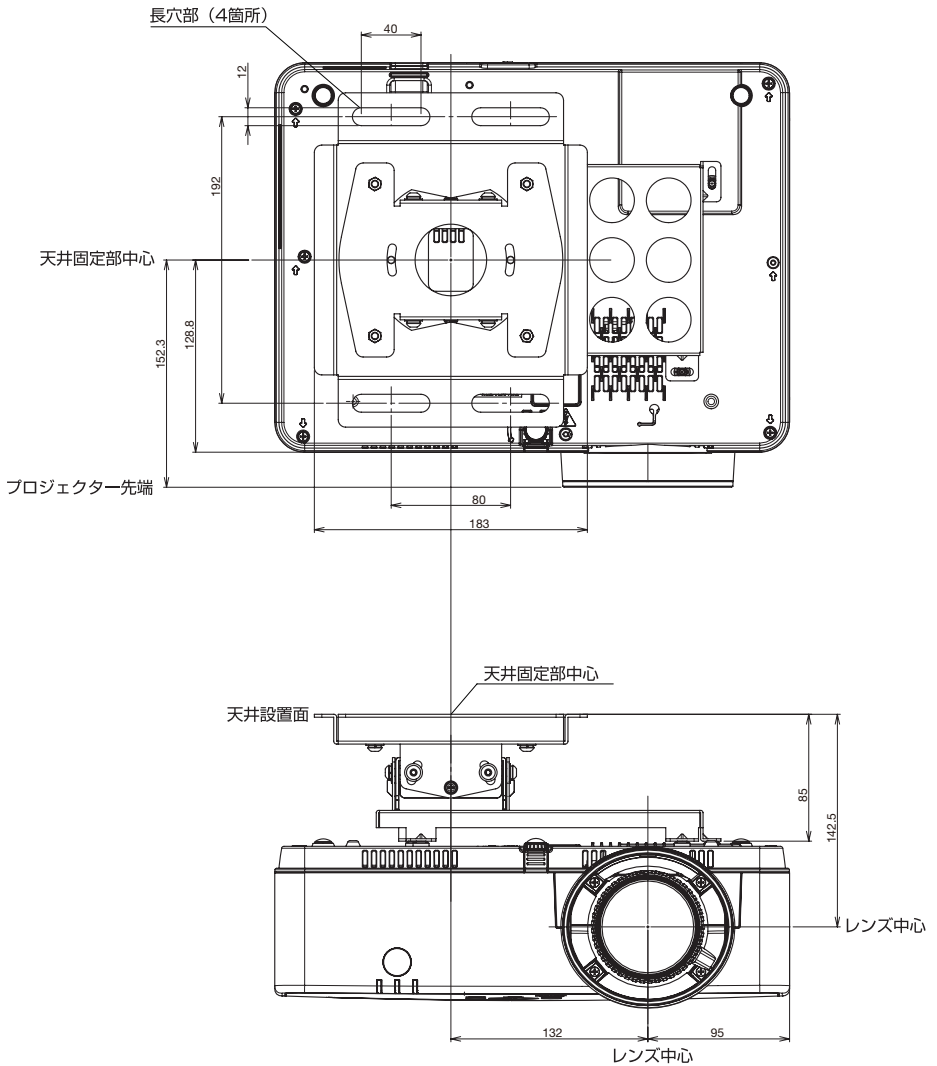
单位：mm

[NP-ME372WJL/NP-MC332WJL/NP-ME402XJL]



# 天吊り金具（別売）取り付け図（NP-ME382UJL）

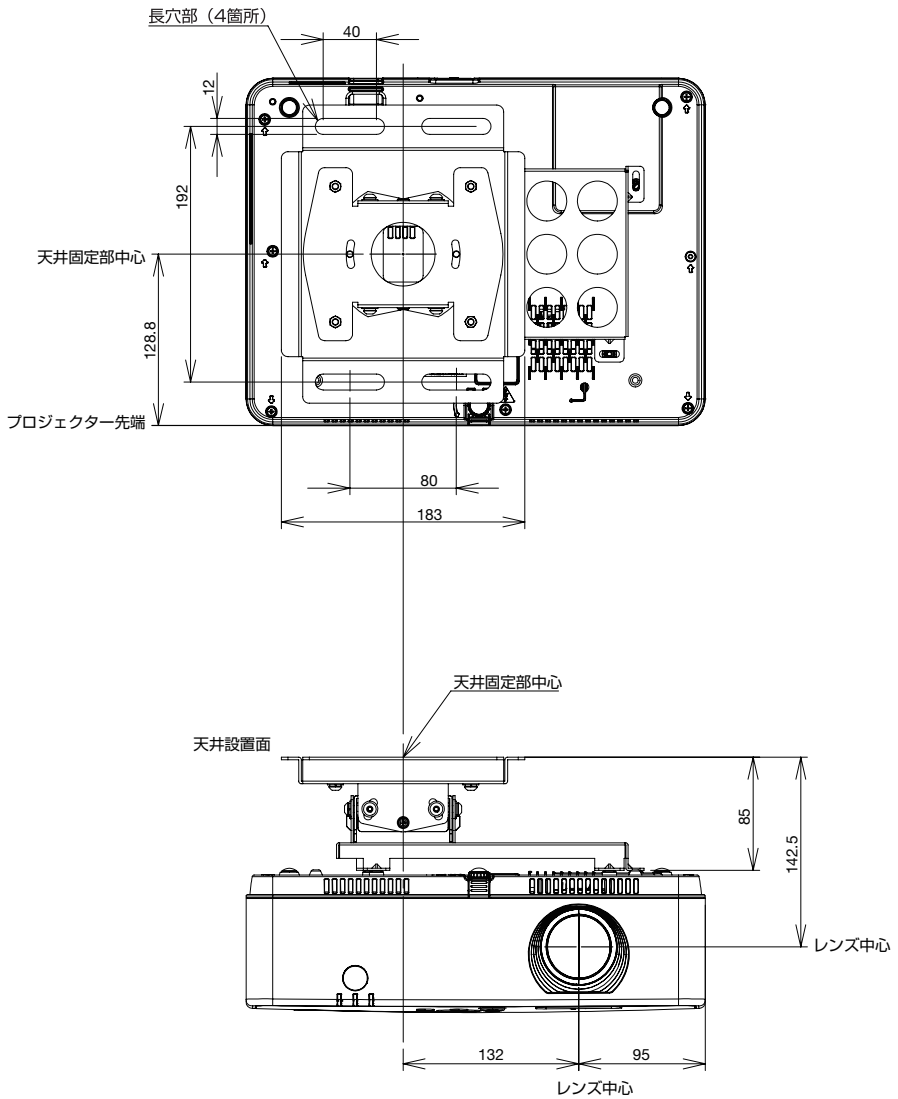
## 天井設置面寸法図（単位：mm）



注) 左右0度、上下0度、傾き0度、上下位置中心時の寸法です。

天吊り金具（別売）取り付け図  
 (NP-ME372WJL/NP-MC332WJL/NP-ME402XJL)

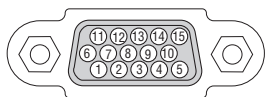
天井設置面寸法図（単位：mm）



注) 左右0度、上下0度、傾き0度、上下位置中心時の寸法です。

# コンピューター映像入力端子のピン配列と信号名

## 各ピンの接続と信号レベル



## 信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）

同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	Hotplug	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

### 参考

- Virtual Remote Tool では、コンピューター映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。

# ASCII コントロールコマンドについて

本機は、当社のプロジェクターまたはディスプレイを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。

コマンドの詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

## 外部機器との接続方法

プロジェクターとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

### ① シリアルポートを使用した接続

シリアルケーブル（クロスケーブル）を使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

### ② ネットワーク (LAN) 経由での接続

LAN ケーブルを使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

使用する LAN ケーブルの種類（ストレート / クロス）については、ネットワーク管理者にご確認ください。

## 接続インターフェース

### ① シリアルポートを使用した接続

通信条件

項目	詳細
ボーレート	38400/19200/9600/4800bps
データ長	8 ビット
パリティビット	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし
通信手順	全二重

### ② ネットワーク (LAN) 経由での接続

通信条件 (LAN による接続)

項目	詳細
伝送速度	自動設定 (10/100Mbps)
対応規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX, Auto-Negotiation)

コマンドの送受信には、TCP のポート番号「7142」を使用します。

## 本機で使用するパラメーター

### ● input コマンド

入力端子	レスポンス	パラメーター
HDMI1	HDMI1	hdmi1
HDMI2	HDMI2	hdmi2
コンピューター	COMPUTER	computer1, computer, rgb, rgb1, vga, vga1
ビデオ	VIDEO	video
USB-A	USB-A	usb-a
USB-B	USB-B	usb-b
LAN	LAN	lan

### ● status コマンド

レスポンス	本機の状態
error:temp	温度エラー
error:fan	ファン異常
error:light	光源異常
error:lens	レンズ異常
error:system	システム異常

# バックグラウンドロゴを変更する (Virtual Remote Tool)

Virtual Remote Tool を使用すると、コンピューターの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、コンピューターケーブルを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

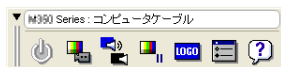
## 【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

## ●主な制御機能

- ・電源の入/切
  - ・入力信号切替
  - ・映像・音声のミュート
  - ・投写中の動画を静止する
  - ・プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピューターの画面上でのリモコン操作



ツールバー

Virtual Remote Tool は、当社のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

## 注意

- Virtual Remote Tool を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。  
「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。
- 信号選択で「コンピューター」を選択しているときは、コンピューターの画面とともに Virtual Remote 画面も表示されます。
- Virtual Remote Tool を使用するときには、添付のコンピューターケーブルを使って、コンピューター映像入力端子とコンピューターの映像出力端子を直接接続してください。  
市販のコンピューターケーブルを使用したりスイッチャなどの機器を介すると、通信が正常に行えないことがあります。
- 接続するコンピューターの仕様、およびグラフィックアダプターやドライバーのバージョンによっては動作しない場合があります。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
  - \* ファイルサイズ：1 メガバイト未満
  - \* 画像サイズ：
    - NP-ME382UJL・・・水平 1920 ドット，垂直 1200 ドット以内
    - NP-ME372WJL/NP-MC332WJL・・・水平 1280 ドット，垂直 800 ドット以内
    - NP-ME402XJL・・・水平 1024 ドット，垂直 768 ドット以内
  - \* 色数：256 色以内
- ロゴ画像の送信は、LAN またはシリアル接続のときに行えます。コンピューターケーブル接続時にはできません。

次ページに続く



- バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面（NEC ロゴ）に戻すには、添付の NEC Projector CD-ROM に収録している画像ファイルを使用して、もう一度バックグラウンドロゴの登録をしておいてください。

このとき、ご使用の機種に合わせて下記のロゴを選択してください。

NP-ME382UJL：¥Logo¥necpj\_bbwux.bmp

NP-ME372WJL/NP-MC332WJL：¥Logo¥necpj\_bbwux.bmp

NP-ME402XJL：¥Logo¥necpj\_bb\_x.bmp

#### 参考

- 本機のコンピューター映像入力端子は、プロジェクターやディスプレイとコンピューター間で各種設定に関する情報を通信する際に用いられる国際規格「DDC/CI」に対応しています。
- Virtual Remote Tool は、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）およびシリアル接続での制御も可能です。ただし、USB 接続には対応していません。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

## 現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	27
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	140
	ランプ固定のネジがゆるんでいませんか。	140
	ランプ交換時間 (目安) * を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの (ヘルプ) ボタンを 10 秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合もあります。	105
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	169
	標高約 1700m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	98
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	40
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン (時間を選択)」にしていますか。	91 102
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の (入力切替) ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	30
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	107~115
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	82

映像が出ない	コンピューター信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	149
	コンピューター信号 (RGB) の場合、画面調整を正しく行っていますか。	38
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、 <a href="#">165 ページ</a> をご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	75
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	106
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	51
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	98
映像が歪む	正しく設置されていますか。	33
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	36
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	35
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	33
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	143
	レンズや内部の光学部などが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピューター信号 (RGB) の場合、 <a href="#">(自動調整)</a> ボタンを押してください。	38
画面がちらつく	オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地 (標高約 1700m 未満) で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。 ファンモードで「高地」以外を選択してください。	98
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	45
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピューター信号 (RGB) の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	83 84
	コンピューター信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	149

コンピューター信号 (RGB) で文字がちらついたり色がずれている	(自動調整)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	38 83
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	24
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	24
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	25
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	24
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	96
	本機のリモコンを使って、コンピューターのマウス操作を行う場合は、本機の USB-B ディスプレイ端子とコンピューターを市販の USB ケーブル (USB 2.0 対応) で接続してください。	53
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	167 168
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	40

## コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

### ●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。

特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

#### 参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。  
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません。(104 ページ)

### ●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

#### 参考

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

### ●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

### ● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

### ● MacBook と本機を同時に表示させる場合

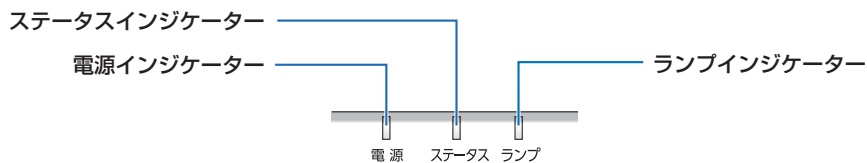
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024×768 ドットに設定できないことがあります。

### ● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

# インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の状態を表しています。



## ●通常のインジケータ表示

電源	ステータス	ランプ	本機の状態
 (熄灭)	 (熄灭)	 (熄灭)	主電源が切れている
 オレンジ色 (点滅 <sup>*1</sup> )	 (熄灭)	 (熄灭)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」で、ネットワークが待機状態) (🔵 170 ページ)
 オレンジ色 (長い間隔の点滅 <sup>*2</sup> )	 (熄灭)	 (熄灭)	スタンバイ状態 (ネットワークが無効状態) (🔵 170 ページ)
 オレンジ色 (点灯)	 (熄灭)	 (熄灭)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」で、ネットワークが有効状態) (🔵 170 ページ)
 オレンジ色 (長い点滅 <sup>*3</sup> )	 (熄灭)	 (熄灭)	プログラムタイマー オン時刻有効状態 (スタンバイ状態)
 緑色 (点灯)	 (熄灭)	 (熄灭)	スリープ状態
 青色 (点灯)	 (熄灭)	 緑色 (点灯)	電源オン状態 (エコモードオフ時)
 青色 (点灯)	 (熄灭)	 緑色 (長い点滅 <sup>*3</sup> )	電源オン状態 (エコモードオン時)
 青色 (長い点滅 <sup>*3</sup> )	 (熄灭)	(各状態)	オフタイマー有効状態、プログラムタイマー オフ時刻有効状態 (電源オン状態)
 青色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	 (熄灭)	 (熄灭)	電源オン準備中
















\*1 1.5 秒点灯 / 1.5 秒消灯 のくり返し

\*2 1.5 秒点灯 / 7.5 秒消灯 のくり返し

\*3 2.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

\*4 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

## ●異常時のインジケータ表示

電源	ステータス	ランプ	本機の状態	行ってください
 青色 (点灯)	 オレンジ色 (点灯)	(各状態)	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔵 95 ページ)
			プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	コントロール ID を確認してください。(🔵 96 ページ)
(各状態)	 (消灯)	 オレンジ色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が 0% になり、ランプ交換の猶予時間 (100 時間) 中です。すみやかに新しいランプと交換してください。(🔵 137 ページ)
(各状態)	 (消灯)	 赤色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	ランプ交換時期超過	ランプ交換時期を超過しています。ただちに新しいランプと交換してください。(🔵 137 ページ)
 青色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	 (消灯)	 緑色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中、プリクル中	しばらくお待ちください。
 青色 (点灯)	 (消灯)	 オレンジ色 (点灯)	周囲高温 (強制エコモード中)	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。
 赤色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	 (消灯)	 (消灯)	温度エラー	室温が、本機の動作温度 (5 ~ 40℃) を超えています。適切な室温に調節してください。また、排気口がふさがれていないか、吸気口の近くに他のプロジェクターの排気口がないか確認してください。
 赤色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	 緑色 (点灯)	 赤色 (点灯)	ランプ不点灯	1 分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
 赤色 (短い点滅 <sup>*4</sup> )	 赤色 (点灯)	 緑色 (点灯)	ランプカバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(🔵 140 ページ)
 赤色 (点灯)	(各状態)	(各状態)	修理が必要な異常発生中	NEC カスタマーサポートセンターへ修理を依頼してください。その際に、インジケータの点灯状態をお知らせください。

\*3 2.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

\*4 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し



## ●温度プロテクターが働いたときは

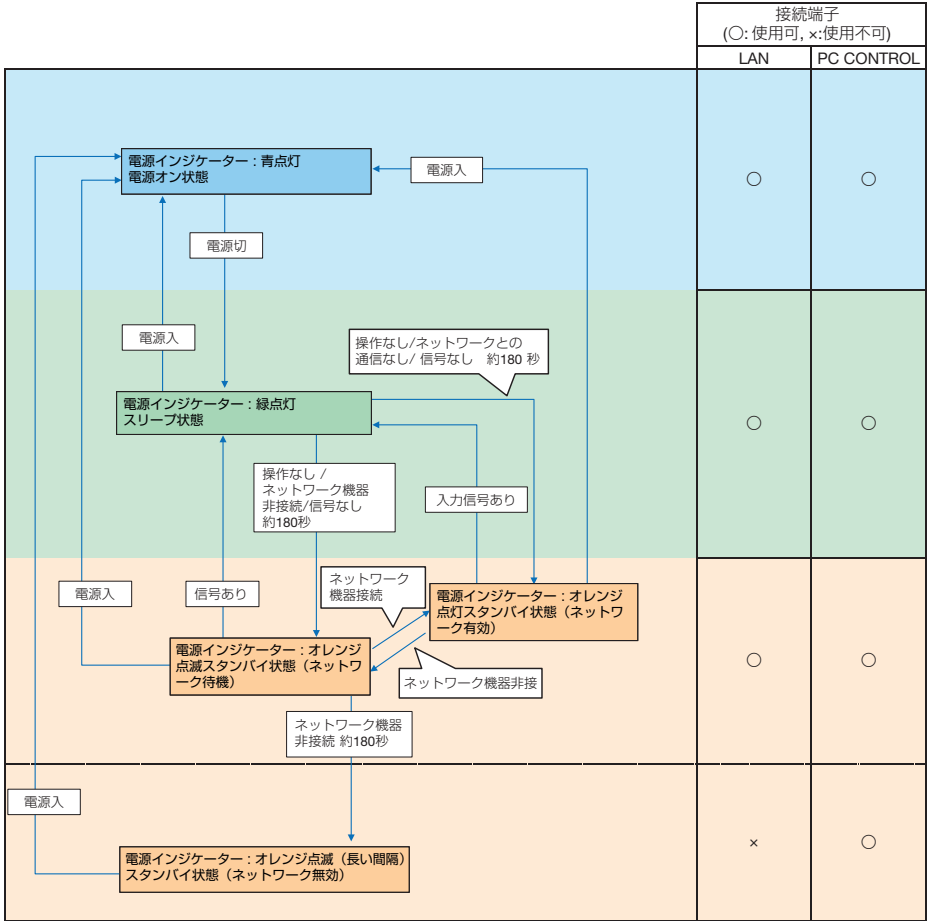
本機内部の温度が異常に高くなると、電源インジケーターが赤色で短く点滅します。その後、本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・ 通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 [132, 136 ページ](#))
- ・ 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

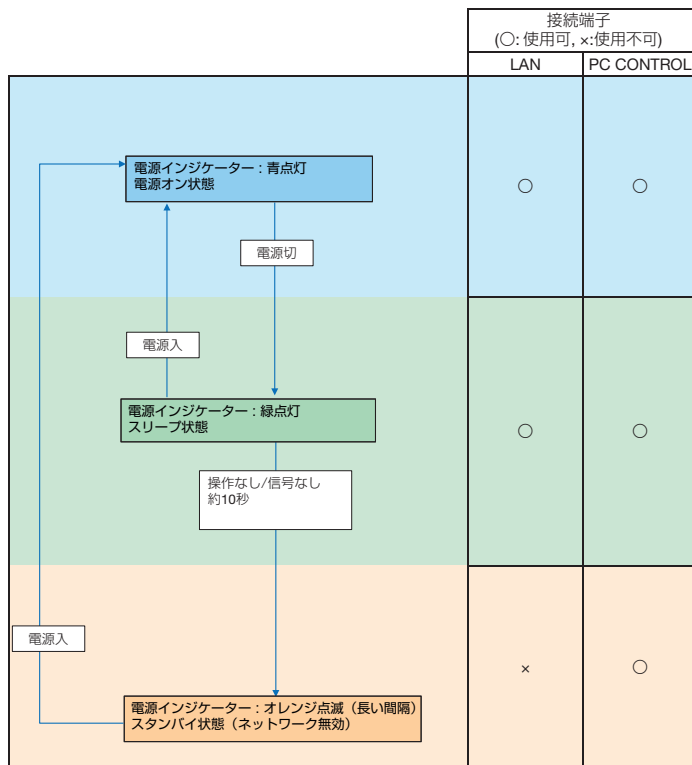
## ● 電源インジケータ表示とスタンバイ状態について

### スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のとき

接続機器の状態などによって、本機のスタンバイ状態が下図のように変わります。



スタンバイモードが「ノーマル」のとき  
 下図のように動作します。



# トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度  常時  時々 (  回中  回 )  その他 (  )

## 電源関係 .....

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。</li><li><input type="checkbox"/> <b>Ⓧ</b> ボタンを押しても電源が入らない。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。</li><li><input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。</li></ul> |
|---|--|

## 映像・音声関係 .....

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンピュータの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。<br/>Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。</li></ul>   | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。</li></ul>  |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> <b>(自動調整)</b> ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。<br/>( <input type="checkbox"/> )</li><li><input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。</li><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> <b>(自動調整)</b> ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。</li><li><input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。</li><li><input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。</li><li><input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。</li></ul> |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li></ul>  | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> <b>(自動調整)</b> ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。</li><li><input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。</li></ul>   |
|  | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。   |
|  | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。</li></ul>  |

## その他 .....

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。</li><li><input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。</li><li><input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。<br>本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> 本体の <b>(入力切替)</b> ボタンを10秒以上押してもなおらない。</li></ul> |
|---|---|

症状を具体的に記入してください。

### 使用状況・環境

**プロジェクター**

型名:  NP-ME382UJL  NP-ME372WJL  
 NP-ME402XJL  NP-MC332WJL

製造番号:

購入時期:

ランプ使用時間:

エコモード:  オートエコ  エコ1  
 エコ2

入力信号情報:

水平同期周波数 [kHz]  
垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H  (+)  (-)  
V  (+)  (-)

同期形態  セパレート  ミックス  
 Gシンク

ステータスインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)  
点滅 ( 回周期)

### 設置環境

スクリーンサイズ: 型  
タイプ:  ホワイトマット  ビーズ  偏光  
 広視野角  ハイコントラスト

投写距離: m

投写方法:  天吊り  床置き

電源コンセントは?

壁からのコンセントを直接利用している。  
 電源用テーブルタップを利用している。  
(他、接続機器の数: 台)

電源ドラム (ロール式) を利用している。  
(他、接続機器の数: 台)

### コンピューター

メーカー:

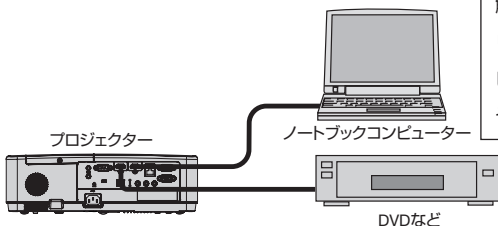
型名:  
ノートブックコンピューター・デスクトップ型

解像度:

リフレッシュレート:

ビデオボード:

その他:



### 信号ケーブル

純正・その他  
(型名: 長さ: m)

分配器  
型名:

スイッチャー  
型名:

アダプター  
型名:

### 接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:

型名:

# 別売品／商標について

## ●別売品

商 品 名		型 名
ランプ	交換用ランプ	NP47LP
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP12CM
無線 LAN ユニット		NP05LM3

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

## ●商標について

- ViewLight、ビューライト、AccuBlend、GeometricCorrection、NaViSet、MultiPresenter、Virtual Remote は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Apple、Mac、MacBook、iMac、Mac OS、OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing Administrator, Inc. の米国その他の国における商標または登録商標です。



- PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access (WPA, WPA2)® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Google Play、Android は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。

## ●本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダー内の readme.pdf をご参照ください。

# 保証と修理サービス（必ずお読みください）

## 保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

### ●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。（ただし添付品は除く）
- ・本体に付属のランプ：お買い上げから6か月間です。

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(▶162 ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(▶172, 173 ページ)で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### ●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
型名	NP-ME382UJL/NP-ME372WJL/ NP-ME402XJL/NP-MC332WJL
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎ ( ) -
-----------	-------------	---------

## 修理料金の仕組み

- ・ **技術料**  
故障した製品を正常に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- +
- ・ **部品代**  
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- +
- ・ **引取費用**  
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの  
トータルサポート窓口

## NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)  
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <https://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

### 輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。